

中小企業景況調査報告書

2024年4月～6月期

高知県商工会連合会

中小企業景況調査

[調査事項]

1. 調査対象

(1)調査対象地区	室戸市	香美市	大豊町	本山町	土佐地区
	いの町	春野	仁淀川町	中土佐町	津野町
	梶原町	四万十町	三原村	大月町	

(2)調査企業数 150企業

(3)回答企業数 130企業 (回答率：86.7%)

2. 調査対象期間

2024年4月～6月期を対象とし、調査時点は2024年6月1日とする。

3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区は市町村人口規模に勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 回答企業数の内訳

業 種	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	31	23.8
建 設 業	21	16.2
小 売 業	37	28.5
サービス業	41	31.5
合 計	130	100.0

注記 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査事項についての増加（上昇、好転、長期化）の企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

Ⅰ. 産業全体の景況概要

○商工会地域における今期（2024年 4月～ 6月期）の状況

[製 造 業]

(D I 値)

期 項目	2024年 1月～ 3月	2024年 4月～ 6月	対 前 期 比
売 上 額	6.9	9.7	2.8ポイント上昇
採 算	0.0	△ 3.2	3.2ポイント下降
資 金 繰 り	0.0	3.3	3.3ポイント上昇

[建 設 業]

(D I 値)

期 項目	2024年 1月～ 3月	2024年 4月～ 6月	対 前 期 比
完 成 工 事 額	△ 10.5	0.0	10.5ポイント上昇
採 算	△ 10.6	△ 28.6	18.0ポイント下降
資 金 繰 り	0.0	0.0	±0.0ポイント

[小 売 業]

(D I 値)

期 項目	2024年 1月～ 3月	2024年 4月～ 6月	対 前 期 比
売 上 額	△ 35.0	△ 37.9	2.9ポイント下降
採 算	△ 45.0	△ 32.4	12.6ポイント上昇
資 金 繰 り	△ 15.0	△ 16.2	1.2ポイント下降

[サービス業]

(D I 値)

期 項目	2024年 1月～ 3月	2024年 4月～ 6月	対 前 期 比
売 上 額	△ 6.2	9.7	15.9ポイント上昇
採 算	△ 16.7	2.4	19.1ポイント上昇
資 金 繰 り	△ 8.4	0.0	8.4ポイント上昇

○来期見通し(2024年 7月～ 9月期)

(D I 値)

区分 業種	売 上 額 完 成 工 事 額	採 算	資 金 繰 り
製 造 業	9.6	△ 9.7	0.0
建 設 業	△ 33.4	△ 23.8	0.0
小 売 業	△ 29.7	△ 21.6	△ 16.2
サ ー ビ ス 業	△ 4.9	△ 9.8	△ 2.5

2. 産 業 別 景 況

製造業の動向

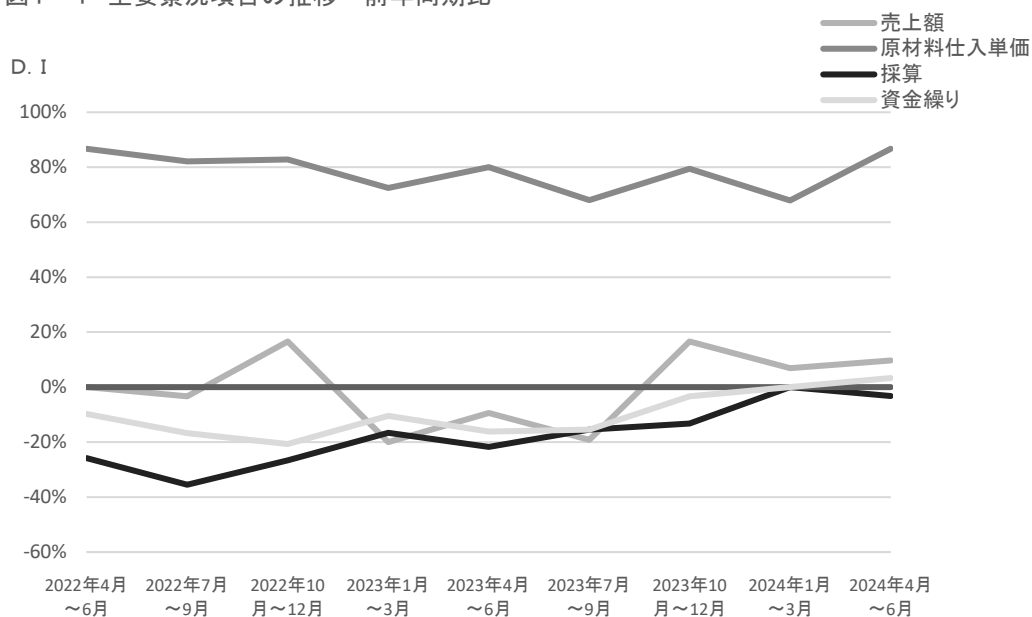
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、6.9→9.7と2.8ポイント上昇
(同全国値は、△11.6→△11.4と0.2ポイント上昇)
- ・採算DI値は、0.0→△3.2と3.2ポイント下降
(同全国値は、△22.0→△23.4と1.4ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、0.0→3.3と3.3ポイント上昇
(同全国値は、△15.2→△13.2と2.0ポイント上昇)

今期は、売上DIのプラス幅が拡大し、採算DIがマイナスに悪化し、資金繰りDIがプラスに好転した。

来期は、売上額DIでプラス幅が縮小し、採算DIでマイナス幅が拡大し、資金繰りDIはプラスの悪化が見込まれる。

図1-1 主要景況項目の推移—前年同期比—



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	0.0	0.0	△ 3.3	16.6	△ 20.0
原材料仕入単価	70.0	86.7	82.1	82.8	72.4
採算	△ 29.0	△ 25.8	△ 35.5	△ 26.6	△ 16.6
資金繰り	△ 6.6	△ 9.7	△ 16.7	△ 20.7	△ 10.4

図 1 - 2 売上額推移（月別指数）

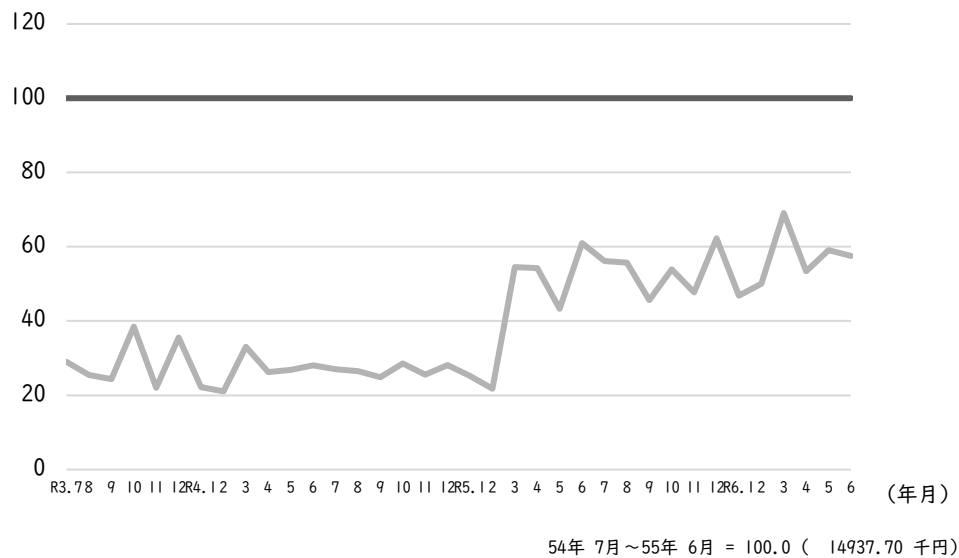


図 1 - 3 売上額の状況－前年同期比－

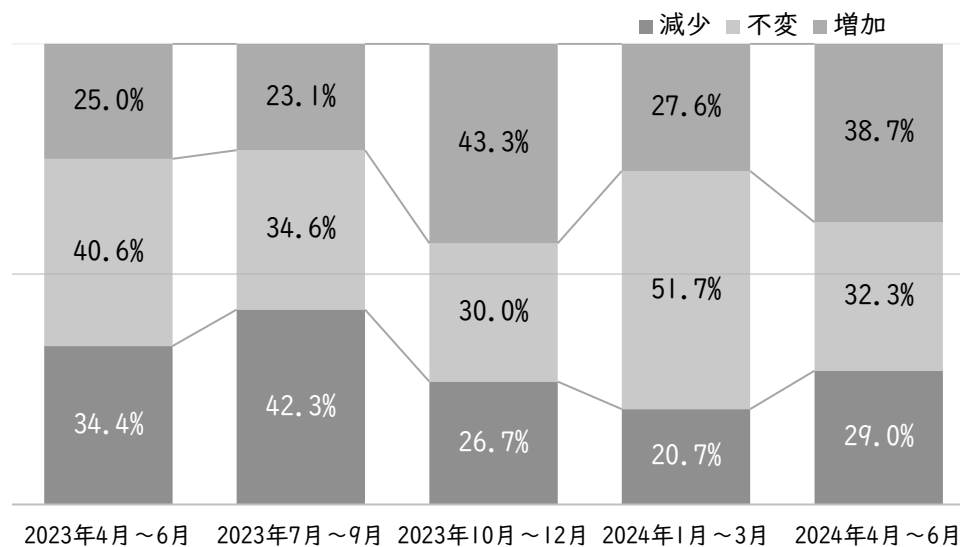


図 1 - 4 採算の状況－前年同期比－

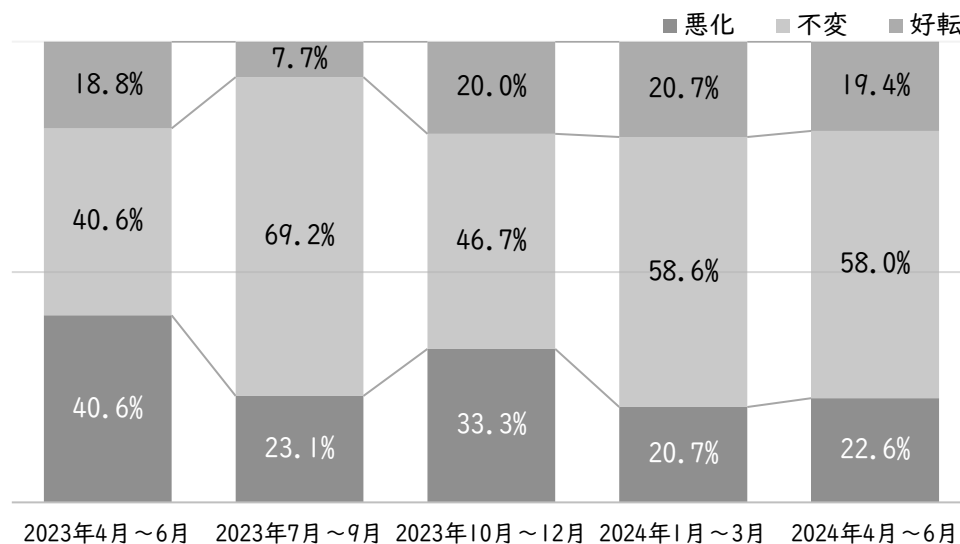


図 Ⅰ－５ 設備投資の状況

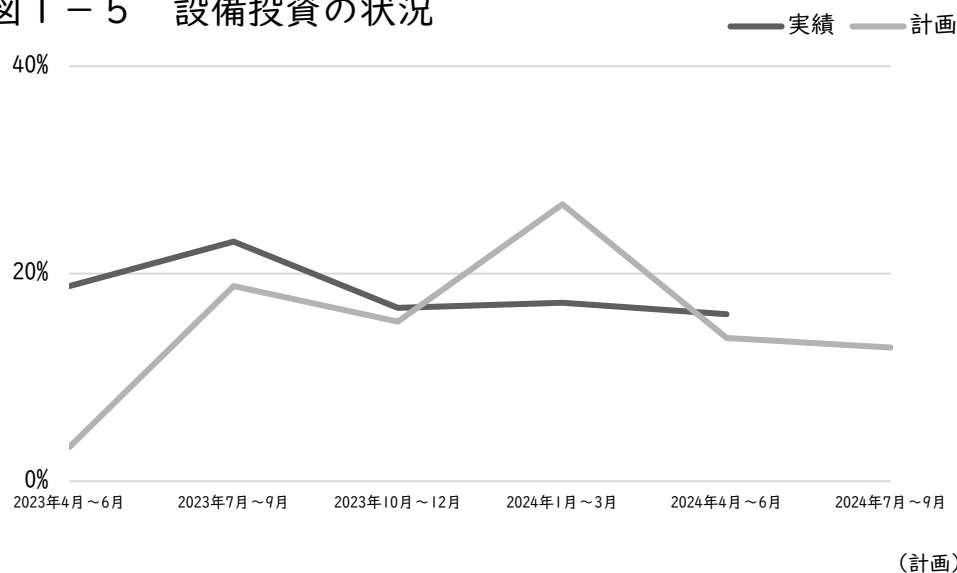


図 Ⅰ－６ 経営上の問題点の状況（１位と１位～３位）

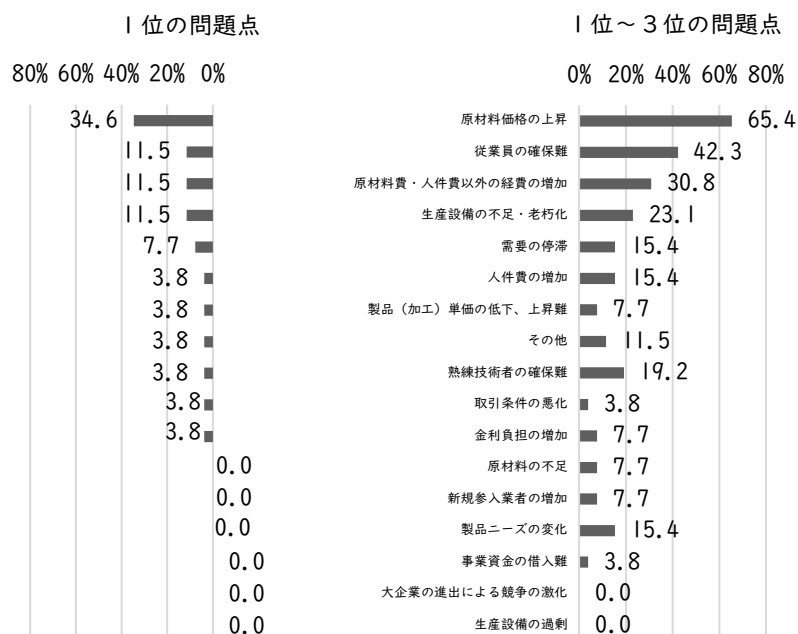


図 Ⅰ－７ 経営上の問題点の推移
（１位の問題点・上位５つ）

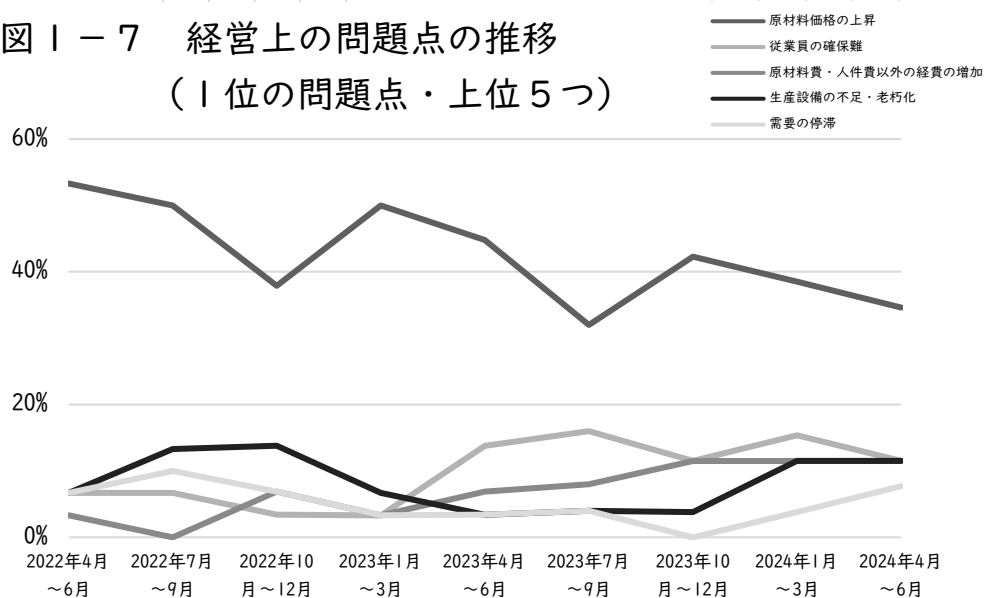


図 Ⅰ－ 8 売上額の状況－前年同期比－

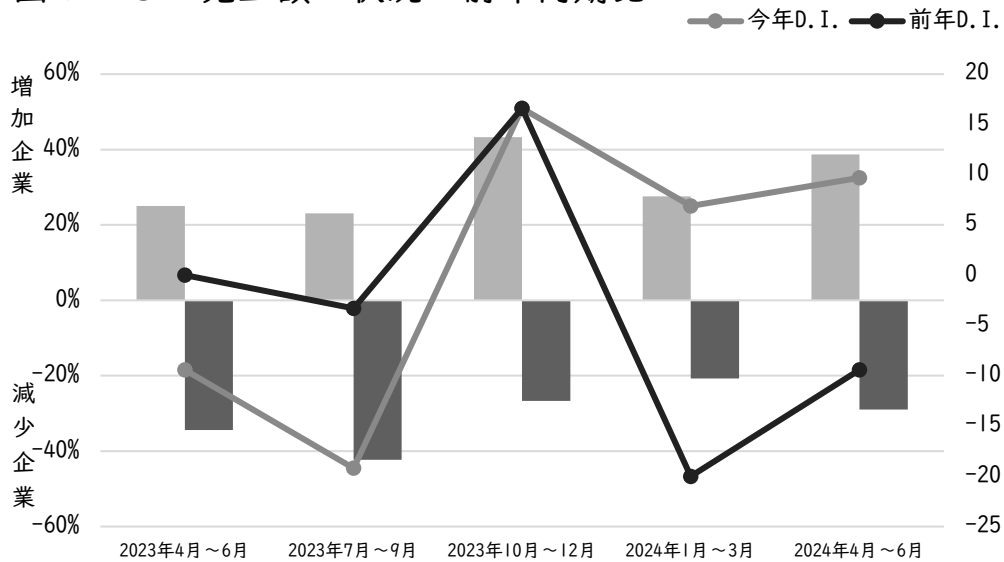
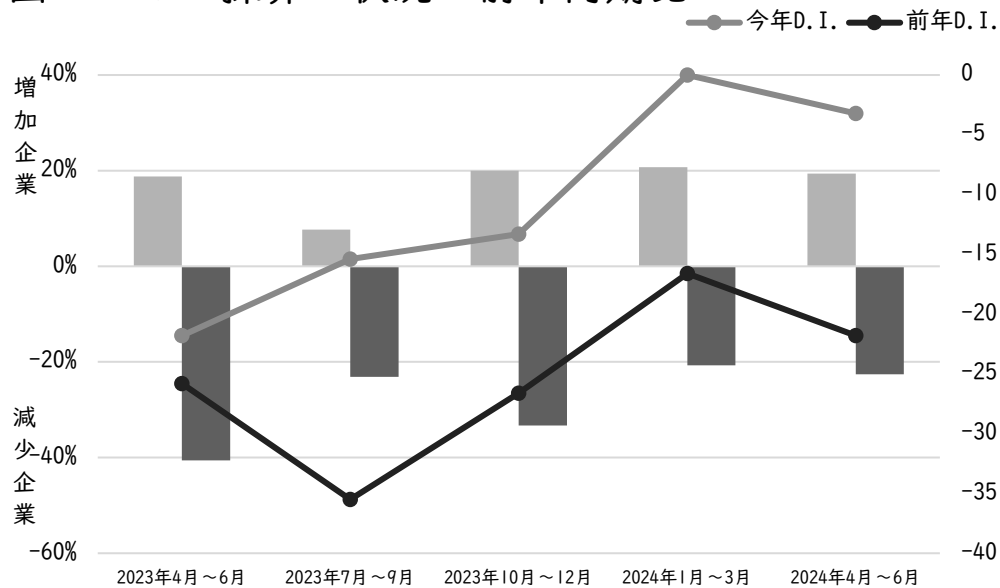


図 Ⅰ－ 9 採算の状況－前年同期比－



建設業の動向

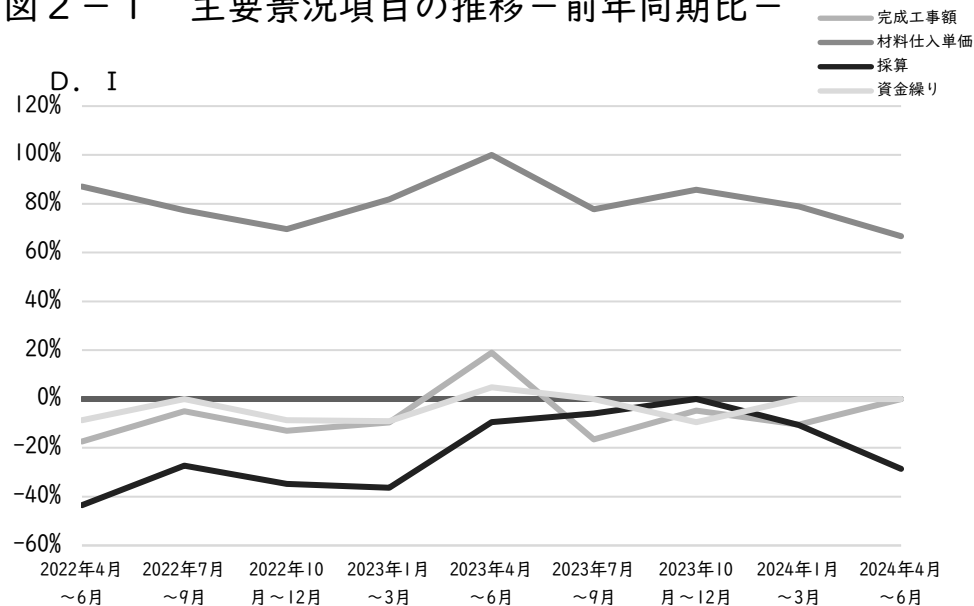
○主要景況項目から見た概要

- ・ 完成工事額DI値は、 $\Delta 10.5 \rightarrow 0.0$ と10.5ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 15.9 \rightarrow \Delta 9.3$ と6.6ポイント上昇)
- ・ 採算DI値は、 $\Delta 10.6 \rightarrow \Delta 28.6$ と18.0ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 27.3 \rightarrow \Delta 23.9$ と3.4ポイント上昇)
- ・ 資金繰りDI値は、 $0.0 \rightarrow 0.0$ と ± 0.0 ポイント
(同全国値は、 $\Delta 13.5 \rightarrow \Delta 7.6$ と5.9ポイント上昇)

今期は、完成工事額DIでマイナスが改善し、採算DIでマイナス幅が拡大し、資金繰りDIは変動なしだった。

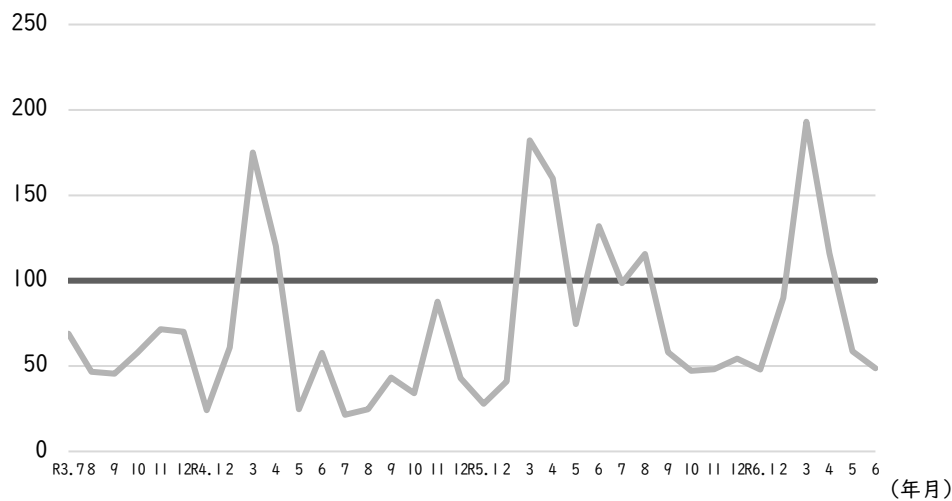
来期は、完成工事額DIがマイナスに悪化し、採算DIのマイナス幅が縮小し、資金繰りDIは変動なしが見込まれる。

図 2 - 1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	$\Delta 45.4$	$\Delta 17.4$	$\Delta 5.0$	$\Delta 13.0$	$\Delta 9.6$
原材料仕入単価	73.9	87.0	77.3	69.6	81.8
採算	$\Delta 47.8$	$\Delta 43.5$	$\Delta 27.3$	$\Delta 34.8$	$\Delta 36.4$
資金繰り	$\Delta 8.7$	$\Delta 8.7$	0.0	$\Delta 8.7$	$\Delta 9.1$

図 2 - 2 完成工事額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (14128.40 千円) 全国完成工事額月平均

図 2 - 3 完成工事額の状況－前年同期比－

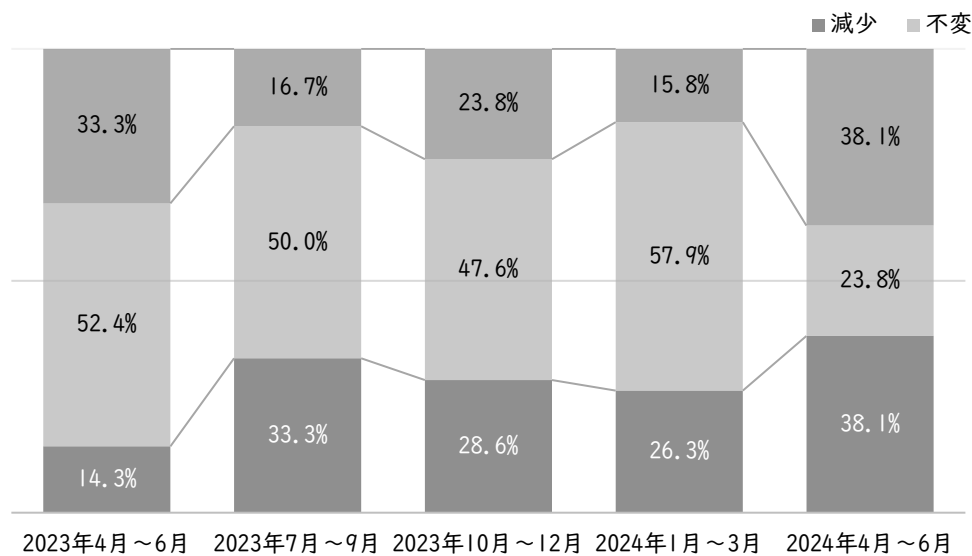


図 2 - 4 採算の状況－前年同期比－

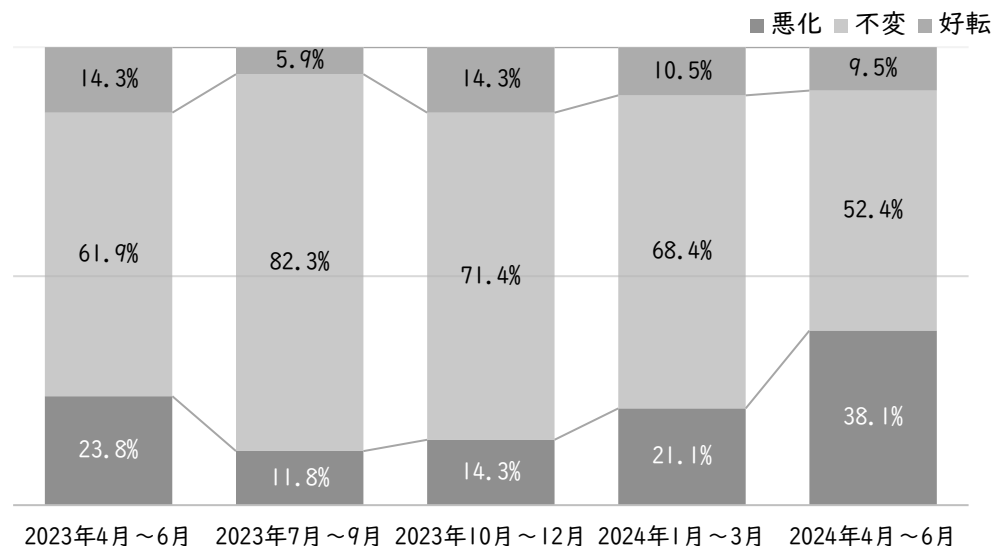


図 2 - 5 設備投資の状況

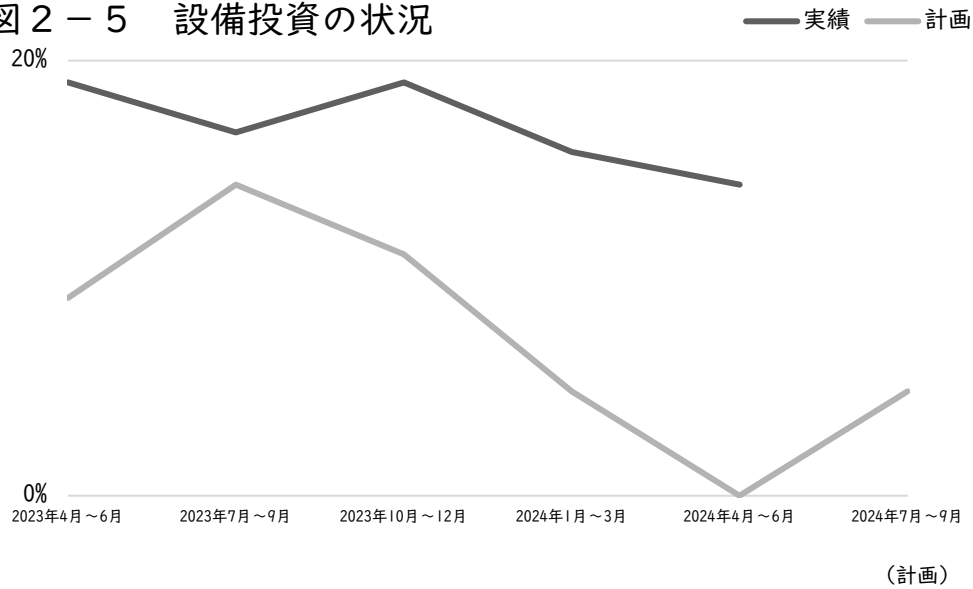


図 2 - 6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

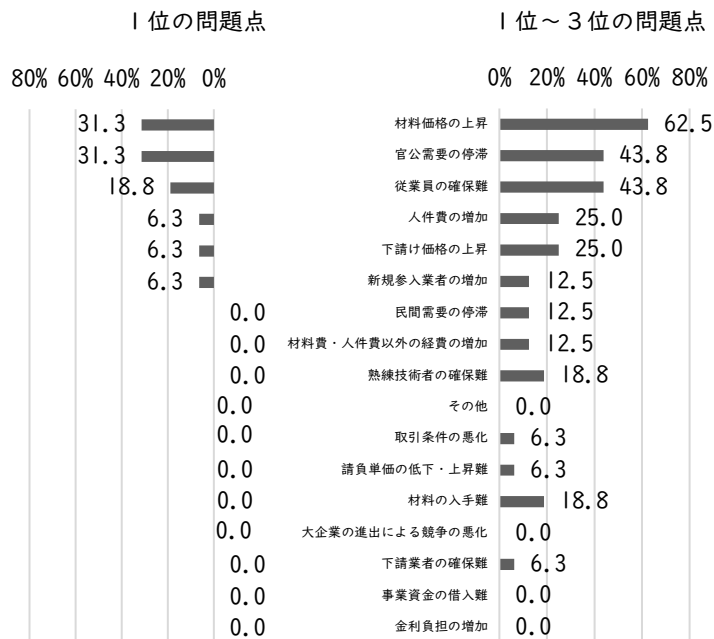


図 2 - 7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

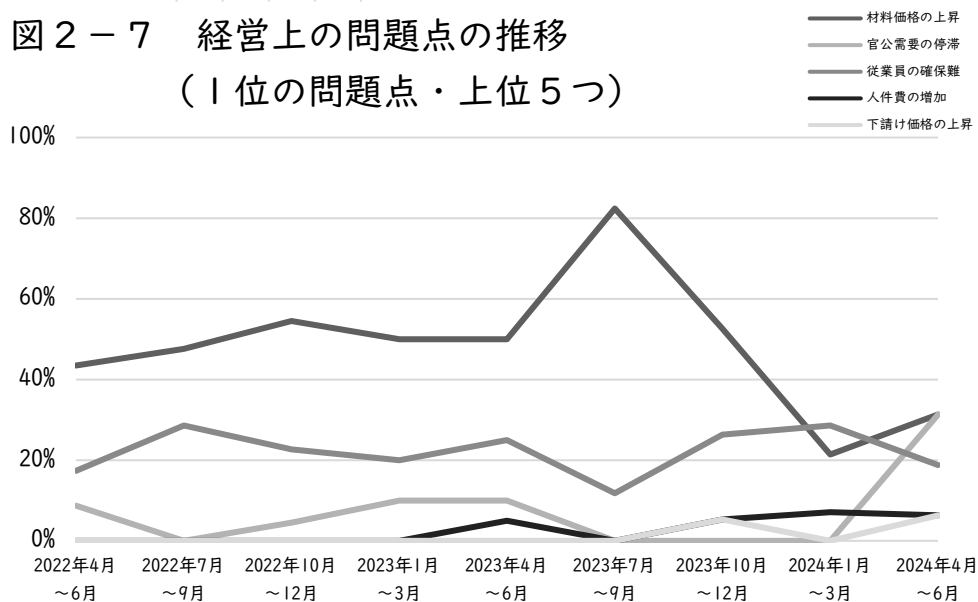


図 2－8 完成工事額の状況－前年同期比－

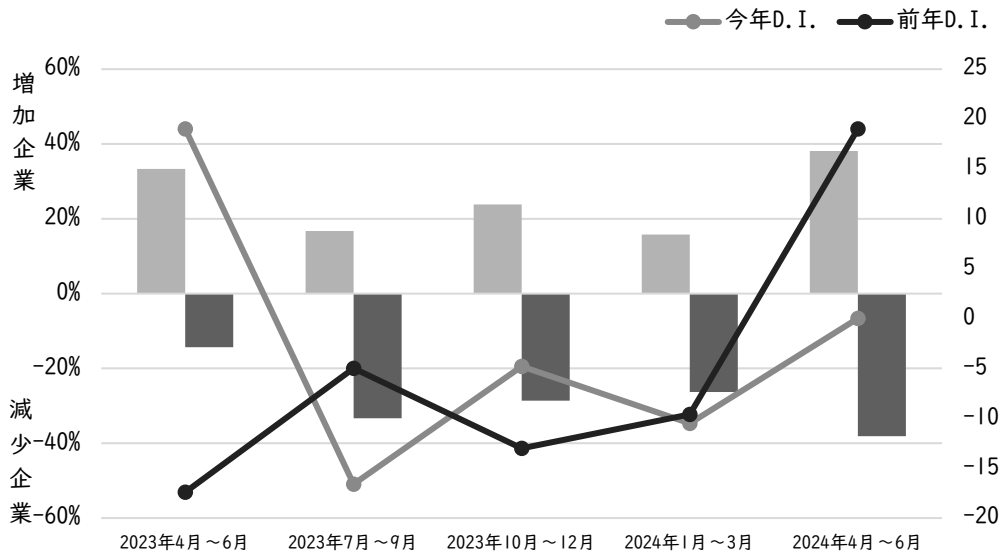
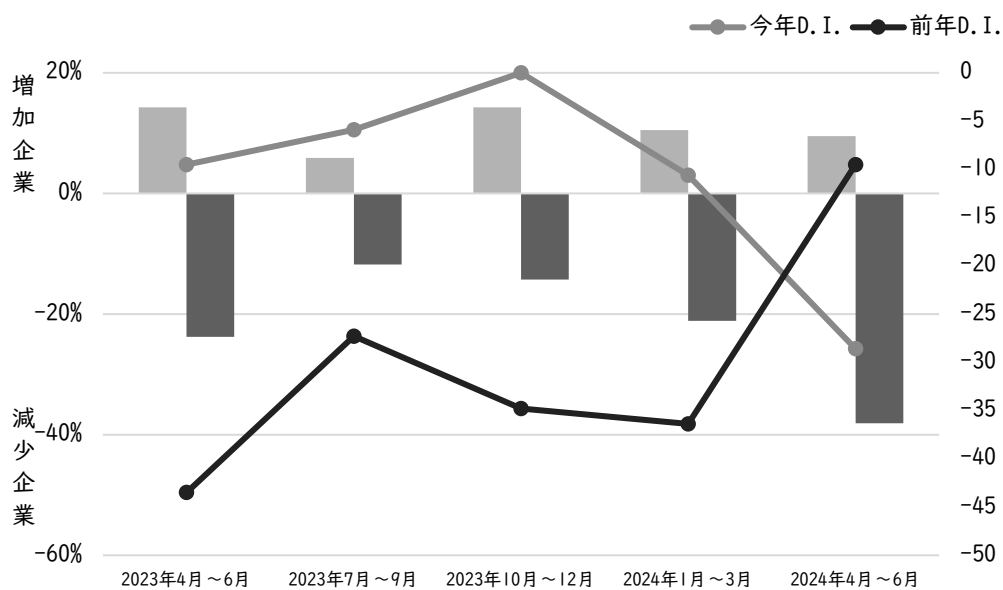


図 2－9 採算の状況－前年同期比－



小売業の動向

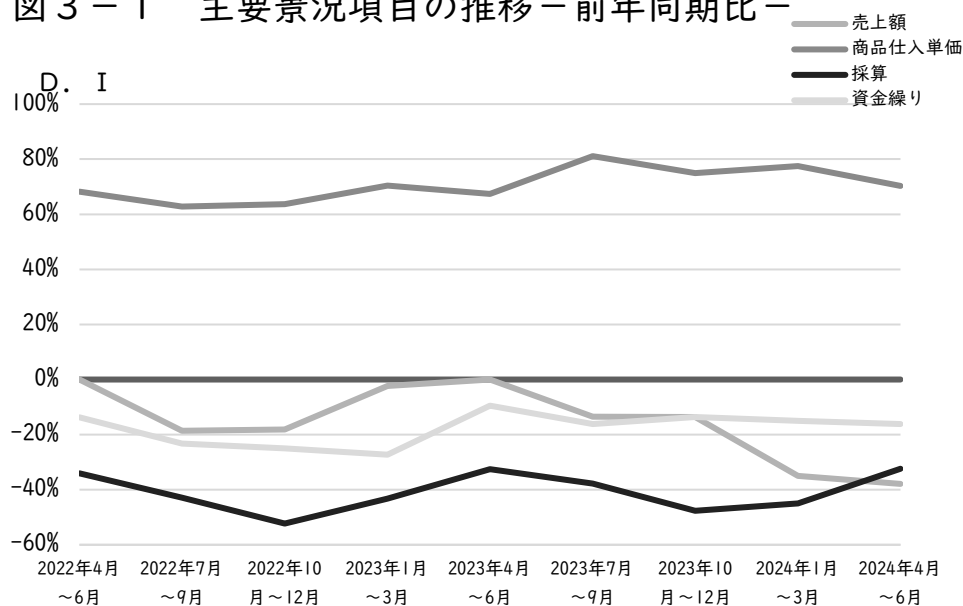
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 35.0 \rightarrow \Delta 37.9$ と2.9ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 23.2 \rightarrow \Delta 20.1$ と3.1ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 45.0 \rightarrow \Delta 32.4$ と12.6ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 34.6 \rightarrow \Delta 32.1$ と2.5ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 15.0 \rightarrow \Delta 16.2$ と1.2ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 22.7 \rightarrow \Delta 20.2$ と2.5ポイント上昇)

今期は、売上額DI・資金繰りDIでマイナス幅が拡大し、採算DIでマイナス幅が縮小した。

来期は、売上額DIと採算DIでマイナス幅が縮小し、資金繰りDIは変動なしが見込まれる。

図3－1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	$\Delta 20.9$	0.0	$\Delta 18.6$	$\Delta 18.2$	$\Delta 2.3$
原材料仕入単価	48.9	68.2	62.8	63.7	70.4
採算	$\Delta 32.6$	$\Delta 34.1$	$\Delta 42.9$	$\Delta 52.3$	$\Delta 43.2$
資金繰り	$\Delta 25.6$	$\Delta 13.7$	$\Delta 23.3$	$\Delta 25.0$	$\Delta 27.3$

図 3－2 売上額推移（月別指数）

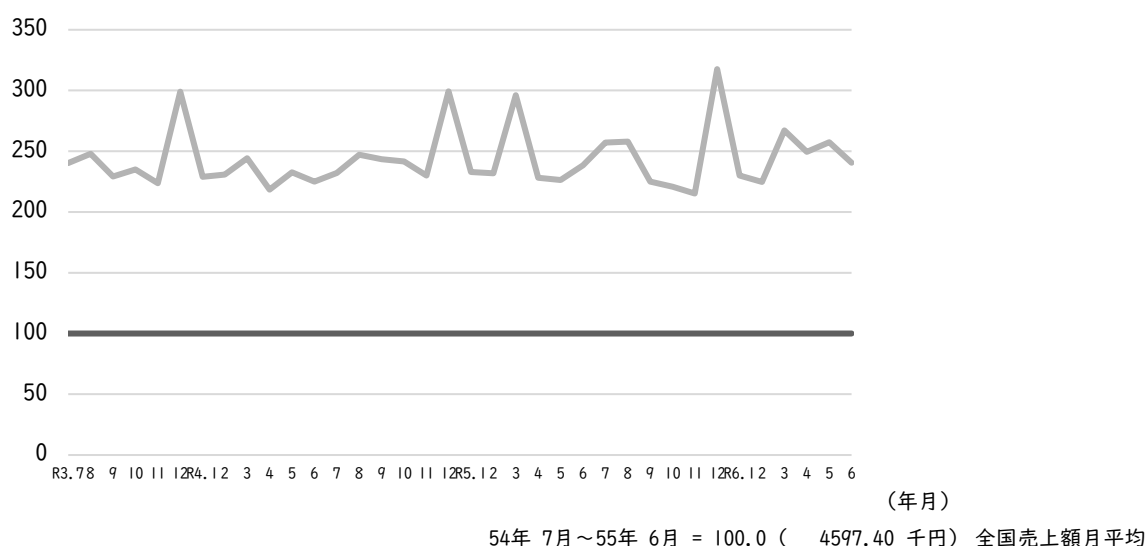


図 3－3 売上額の状況－前年同期比－

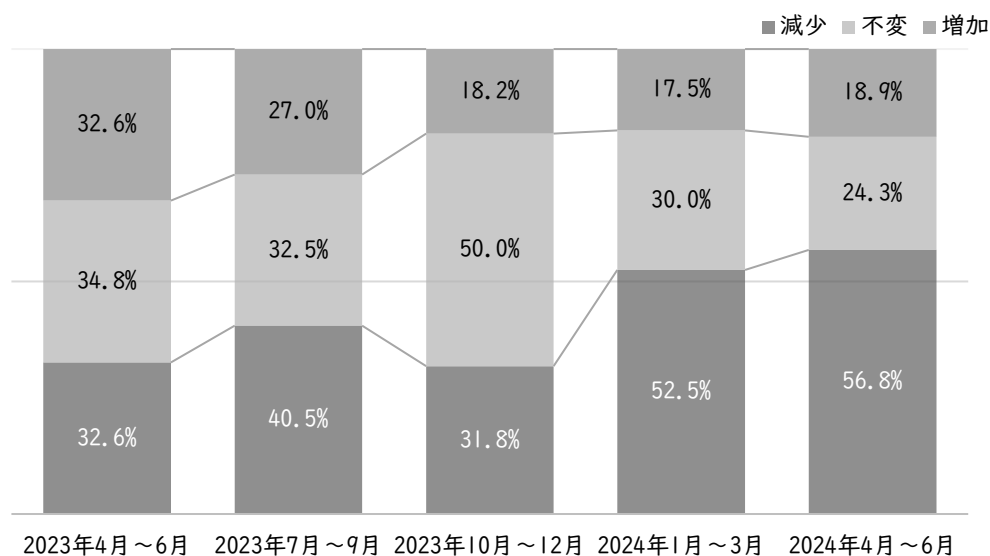


図 3－4 採算の状況－前年同期比－

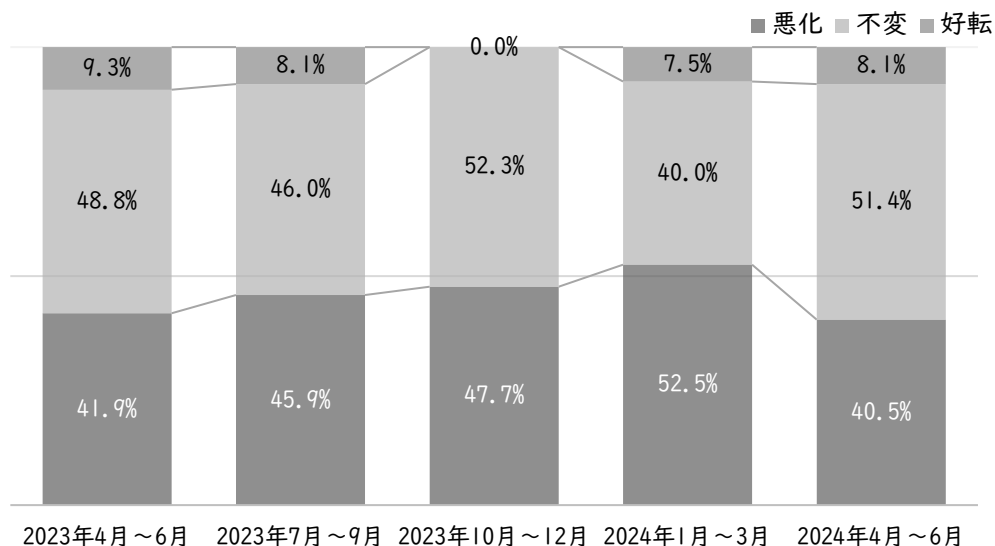


図3-5 設備投資の状況

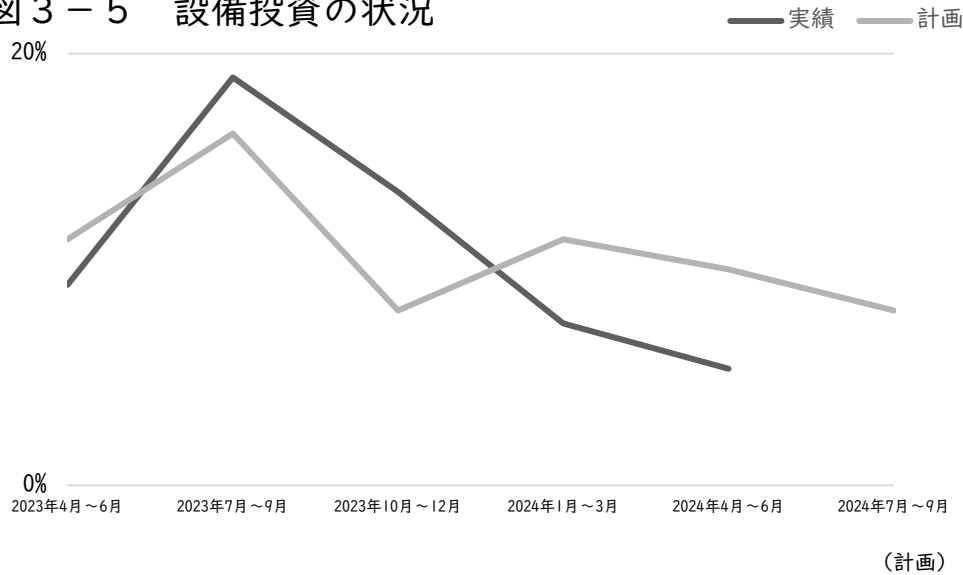


図3-6 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

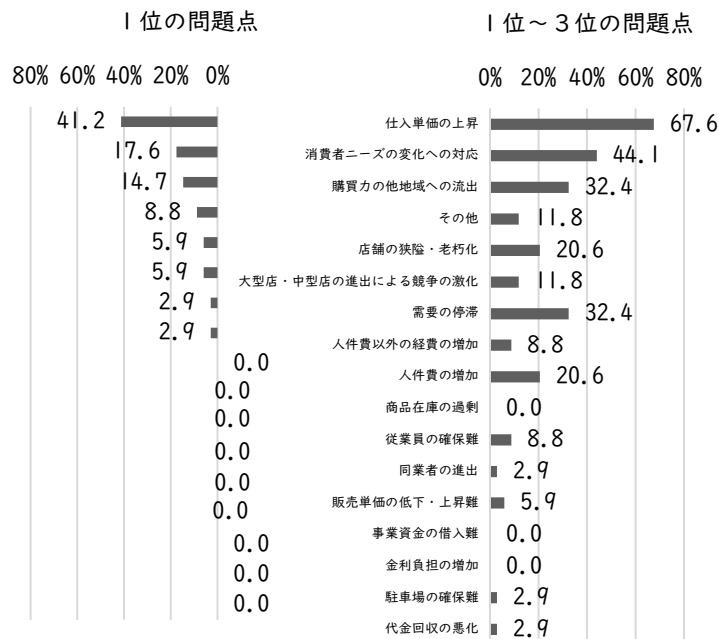


図3-7 経営上の問題点の推移
（1位の問題点・上位5つ）

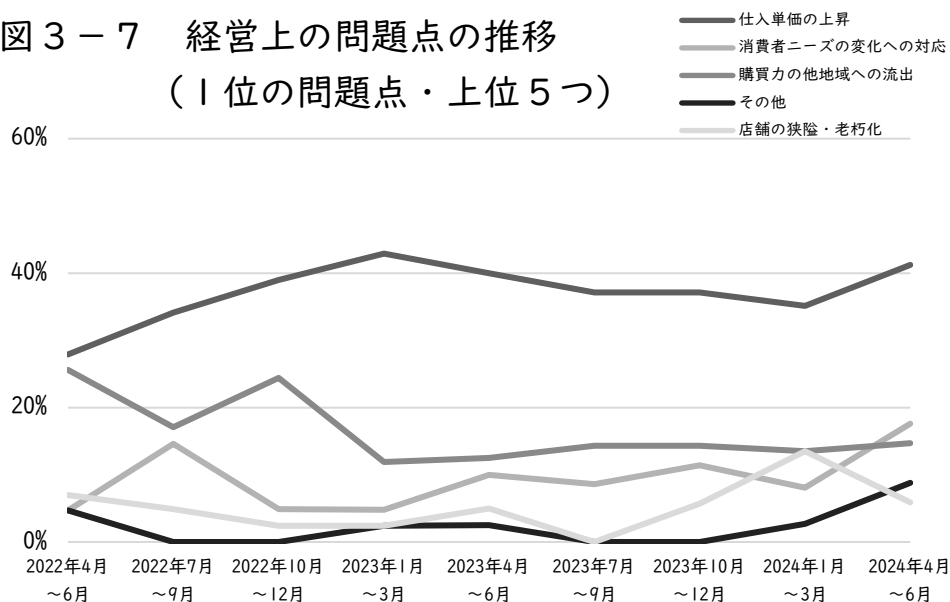


図3-8 売上額の状況－前年同期比－

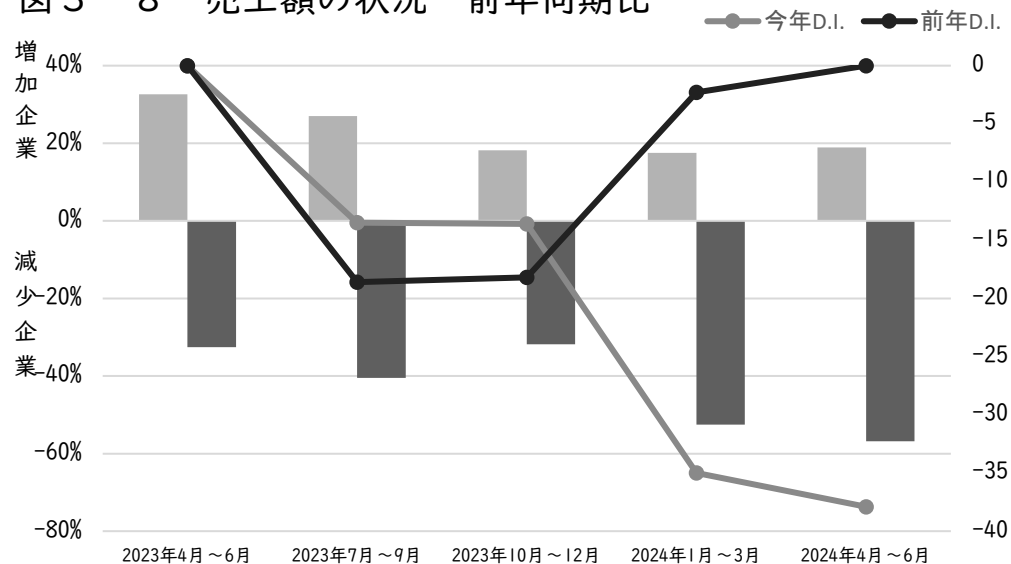
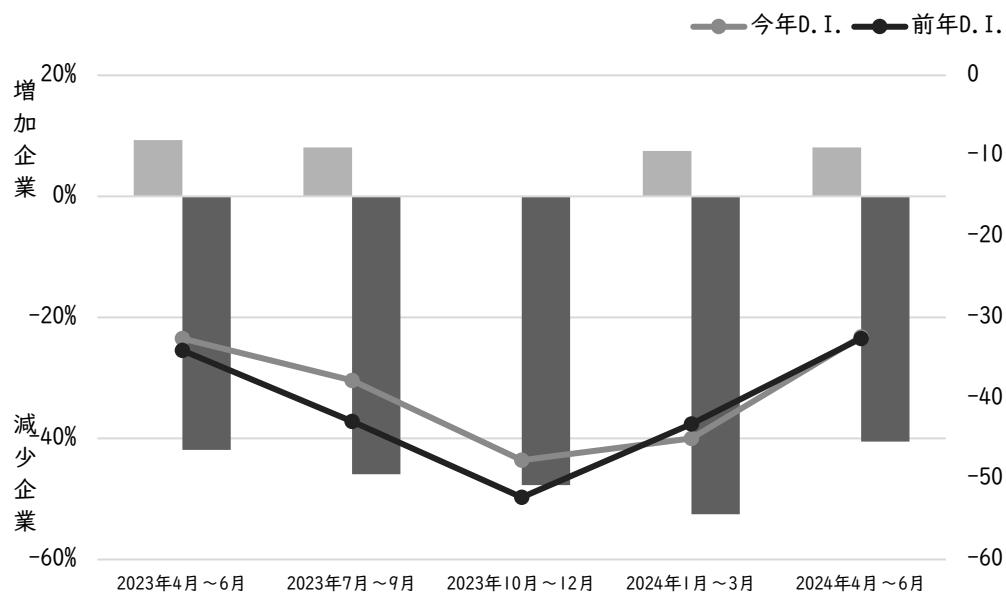


図3-9 採算の状況－前年同期比－



サービス業の動向

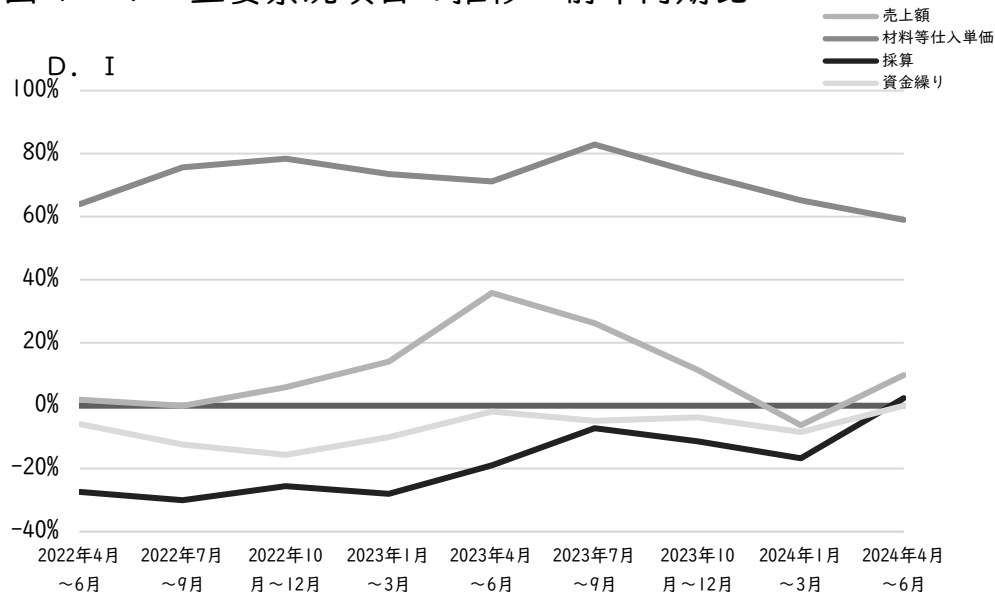
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 6.2 \rightarrow 9.7$ と15.9ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 3.7 \rightarrow \Delta .9$ と2.8ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 16.7 \rightarrow 2.4$ と19.1ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 26.5 \rightarrow \Delta 24.1$ と2.4ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 8.4 \rightarrow .0$ と8.4ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 15.9 \rightarrow \Delta 10.9$ と5.0ポイント上昇)

今期は、売上額DIと採算DIがプラスに好転し、資金繰りDIでマイナスが改善した。

来期は、売上額DI・採算DI・資金繰りDIでマイナスに悪化が見込まれる。

図４－Ⅰ 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	$\Delta 43.1$	1.9	0.0	5.9	14.0
原材料仕入単価	38.8	64.0	75.6	78.4	73.5
採算	$\Delta 46.0$	$\Delta 27.4$	$\Delta 30.0$	$\Delta 25.5$	$\Delta 28.0$
資金繰り	$\Delta 24.0$	$\Delta 5.8$	$\Delta 12.3$	$\Delta 15.6$	$\Delta 10.0$

図 4 - 2 売上額推移（月別指数）

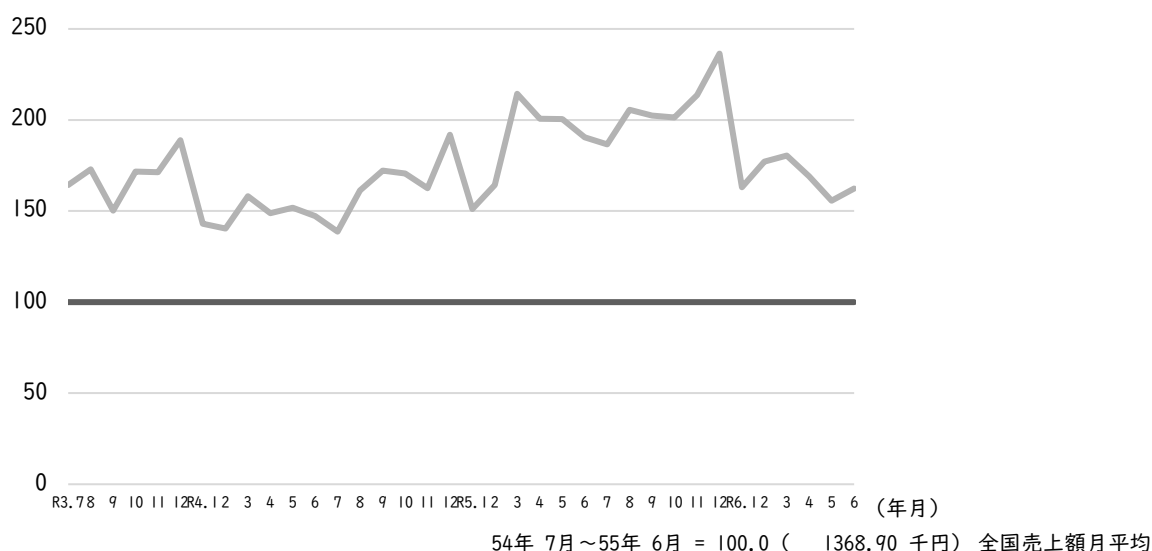


図 4 - 3 売上額の状況－前年同期比－

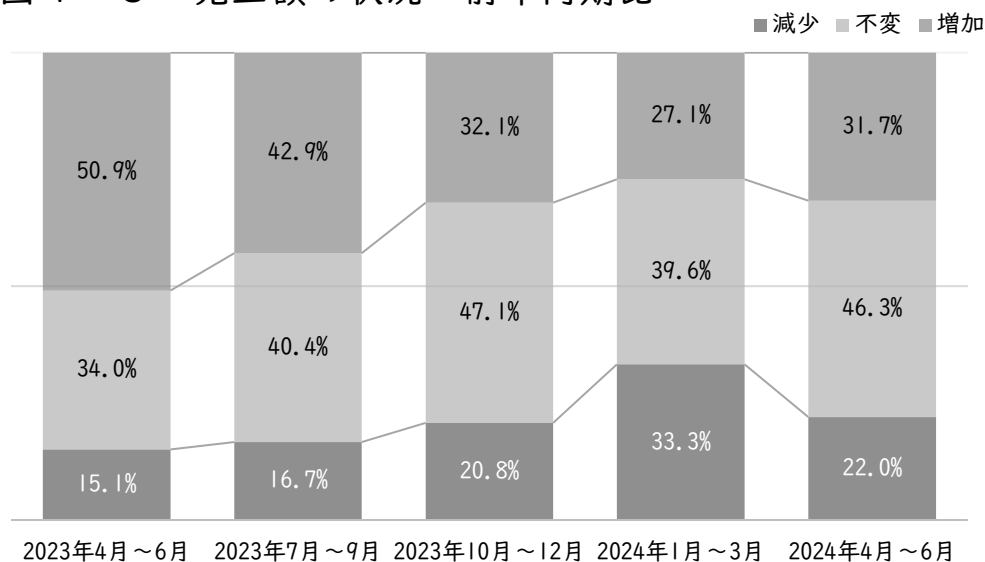


図 4 - 4 採算の状況－前年同期比－

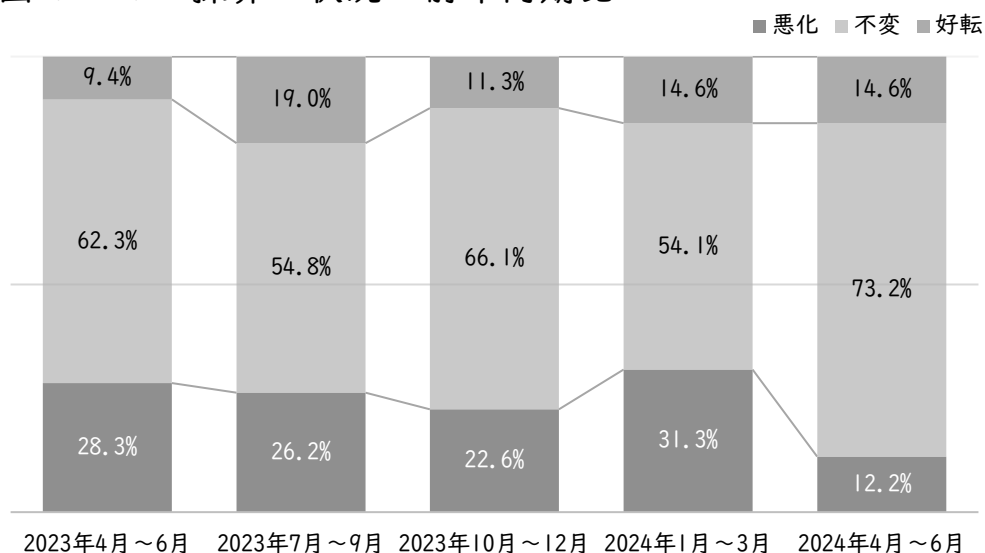


図4-5 設備投資の状況

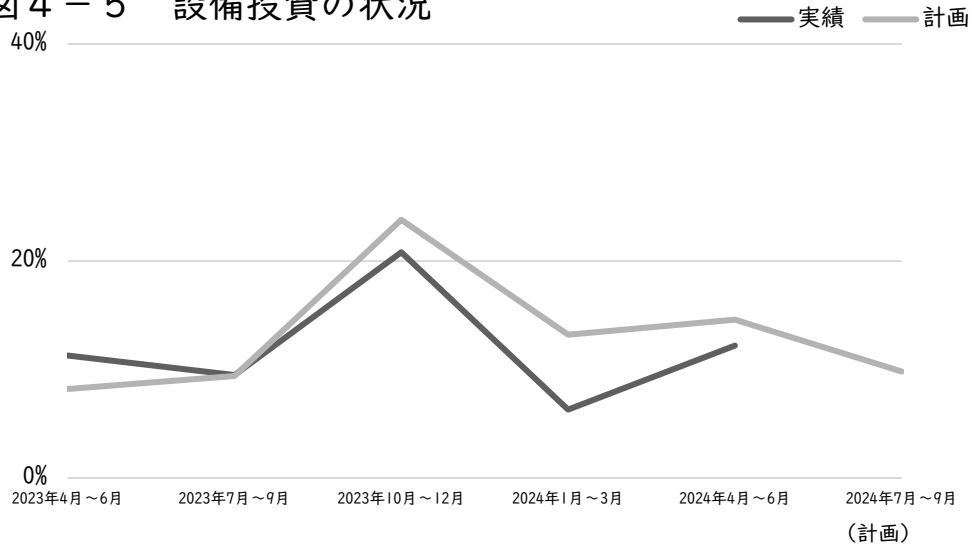


図4-6 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

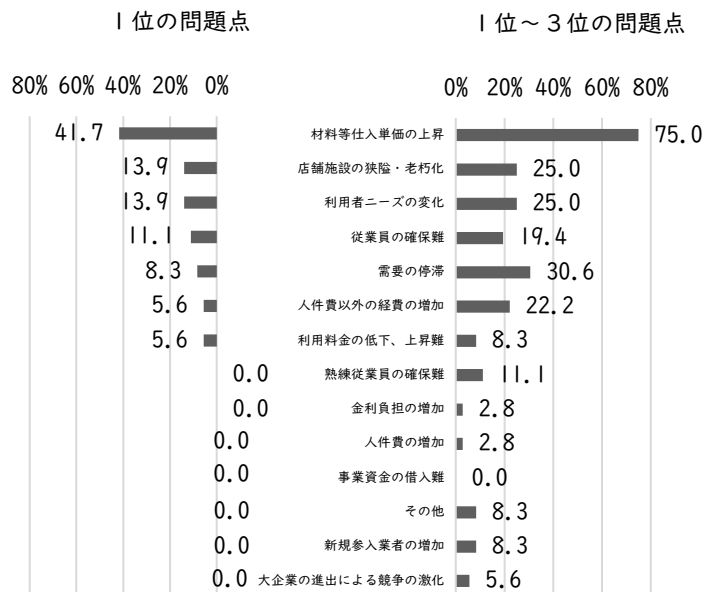


図4-7 経営上の問題点の推移
（1位の問題点・上位5つ）

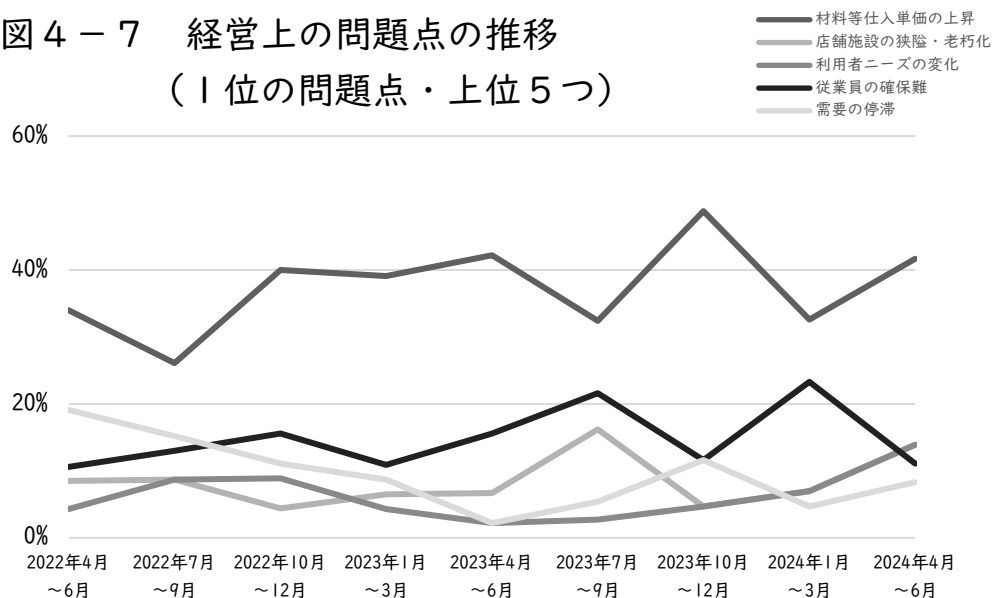


図4-8 売上額の状況－前年同期比－

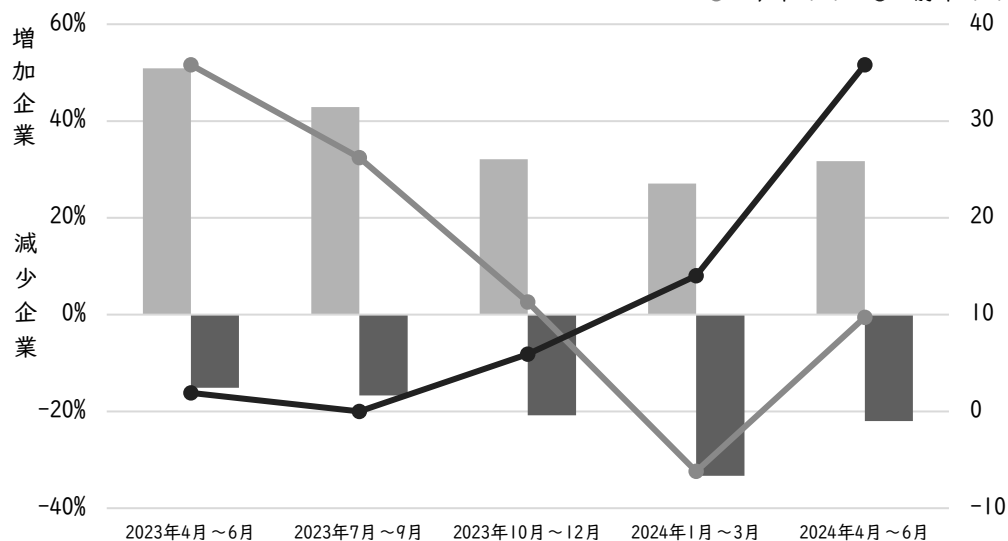
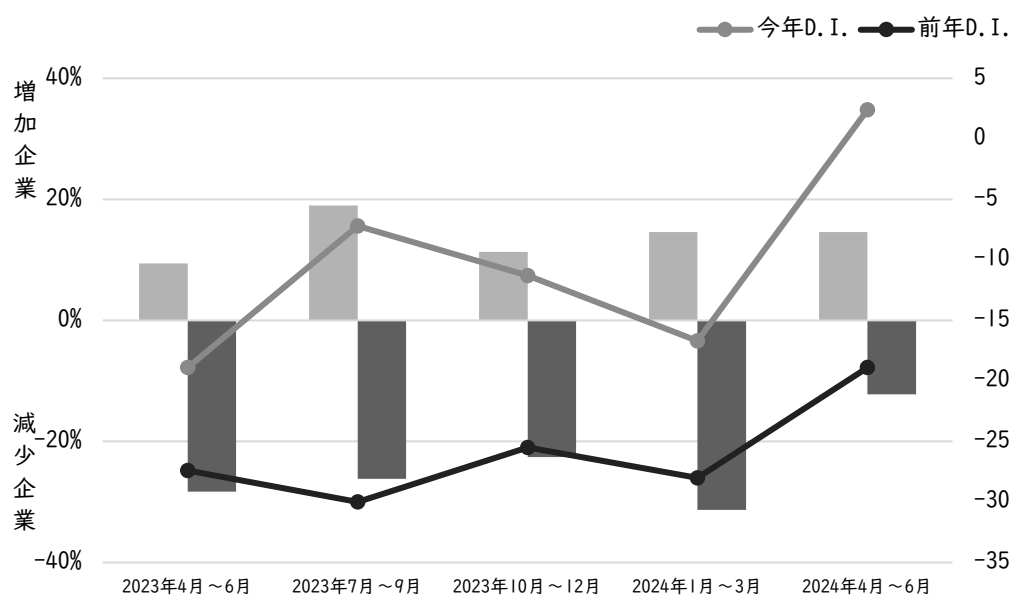
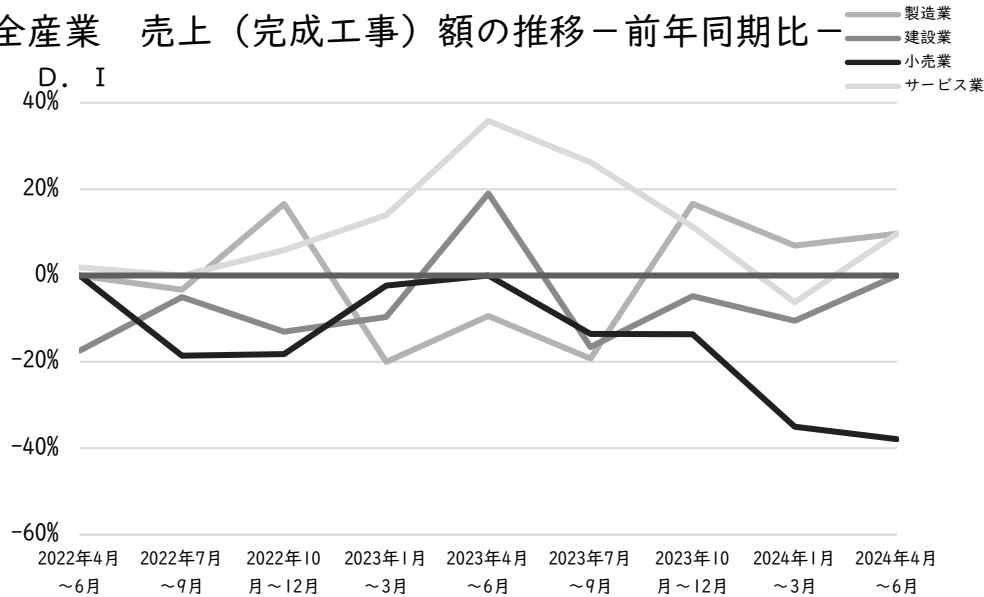


図4-9 採算の状況－前年同期比－

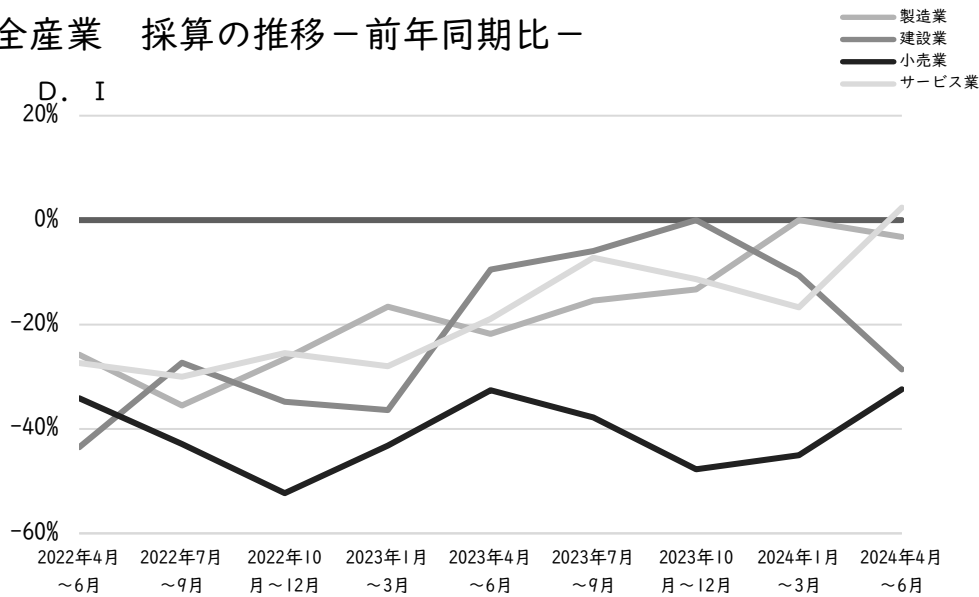


全産業の動向

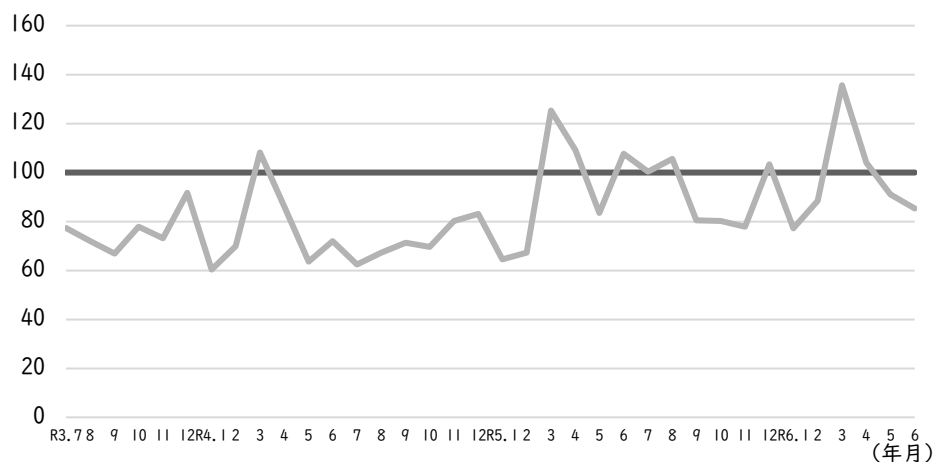
全産業 売上（完成工事）額の推移－前年同期比－



全産業 採算の推移－前年同期比－



全産業 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (8213.00 千円) 全国全産業売上額月平均

中小企業景況調査報告書

2024年7月～9月期

高知県商工会連合会

中小企業景況調査

[調査事項]

1. 調査対象

(1)調査対象地区	室戸市	香美市	大豊町	本山町	土佐地区
	いの町	春野	仁淀川町	中土佐町	津野町
	梶原町	四万十町	三原村	大月町	

(2)調査企業数 150企業

(3)回答企業数 149企業 (回答率：99.3%)

2. 調査対象期間

2024年7月～9月期を対象とし、調査時点は2024年9月1日とする。

3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区は市町村人口規模に勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 回答企業数の内訳

業 種	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	34	22.8
建 設 業	23	15.4
小 売 業	42	28.2
サービス業	50	33.6
合 計	149	100.0

注記 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査事項についての増加（上昇、好転、長期化）の企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

Ⅰ. 産業全体の景況概要

○商工会地域における今期（2024年 7月～ 9月期）の状況

[製 造 業]

(D I 値)

期 項目	2024年 4月～ 6月	2024年 7月～ 9月	対 前 期 比
売 上 額	9.7	△ 3.0	12.7ポイント下降
採 算	△ 3.2	△ 8.8	5.6ポイント下降
資 金 繰 り	3.3	△ 9.1	12.4ポイント下降

[建 設 業]

(D I 値)

期 項目	2024年 4月～ 6月	2024年 7月～ 9月	対 前 期 比
完 成 工 事 額	0.0	△ 17.4	17.4ポイント下降
採 算	△ 28.6	△ 21.7	6.9ポイント上昇
資 金 繰 り	0.0	△ 13.1	13.1ポイント下降

[小 売 業]

(D I 値)

期 項目	2024年 4月～ 6月	2024年 7月～ 9月	対 前 期 比
売 上 額	△ 37.9	△ 31.0	6.9ポイント上昇
採 算	△ 32.4	△ 38.1	5.7ポイント下降
資 金 繰 り	△ 16.2	△ 2.4	13.8ポイント上昇

[サービス業]

(D I 値)

期 項目	2024年 4月～ 6月	2024年 7月～ 9月	対 前 期 比
売 上 額	9.7	10.0	0.3ポイント上昇
採 算	2.4	△ 20.0	22.4ポイント下降
資 金 繰 り	0.0	△ 10.0	10.0ポイント下降

○来期見通し(2024年10月～12月期)

(D I 値)

区分 業種	売 上 額 完 成 工 事 額	採 算	資 金 繰 り
製 造 業	5.9	△ 8.8	△ 6.1
建 設 業	△ 43.5	△ 30.5	△ 17.4
小 売 業	△ 42.8	△ 33.3	△ 16.6
サ ー ビ ス 業	△ 16.0	△ 32.0	△ 12.0

2. 産 業 別 景 況

製造業の動向

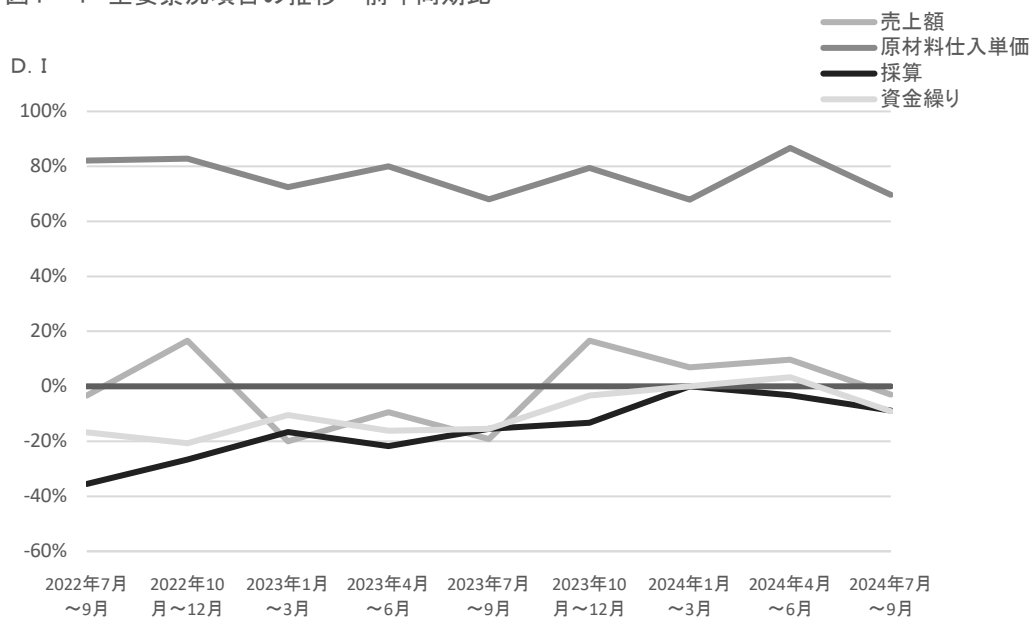
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、9.7→△3.0と12.7ポイント下降
(同全国値は、△11.4→△13.9と2.5ポイント下降)
- ・採算DI値は、△3.2→△8.8と5.6ポイント下降
(同全国値は、△23.4→△25.0と1.6ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、3.3→△9.1と12.4ポイント下降
(同全国値は、△13.2→△14.7と1.5ポイント下降)

今期は、売上DIと資金繰りDIがマイナスに悪化、採算DIのマイナス幅が拡大した。

来期は、売上額DIがプラスに良化し、採算DIは変動なし、資金繰りDIはマイナス幅の減少が見込まれる。

図1-1 主要景況項目の推移—前年同期比—



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売 上 額	0.0	0.0	△ 3.3	16.6	△ 20.0
原材料仕入単価	70.0	86.7	82.1	82.8	72.4
採 算	△ 29.0	△ 25.8	△ 35.5	△ 26.6	△ 16.6
資 金 繰 り	△ 6.6	△ 9.7	△ 16.7	△ 20.7	△ 10.4

図 1 - 2 売上額推移（月別指数）

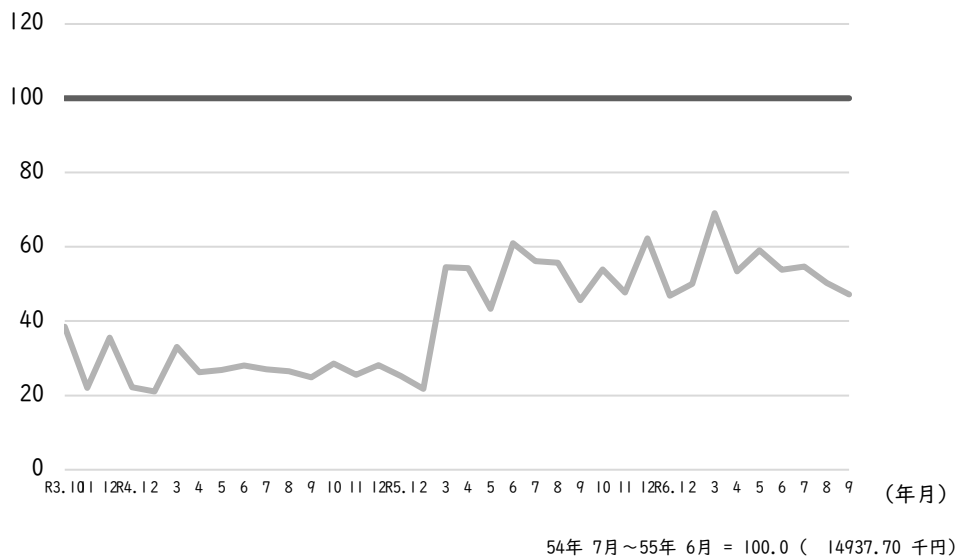


図 1 - 3 売上額の状況－前年同期比－

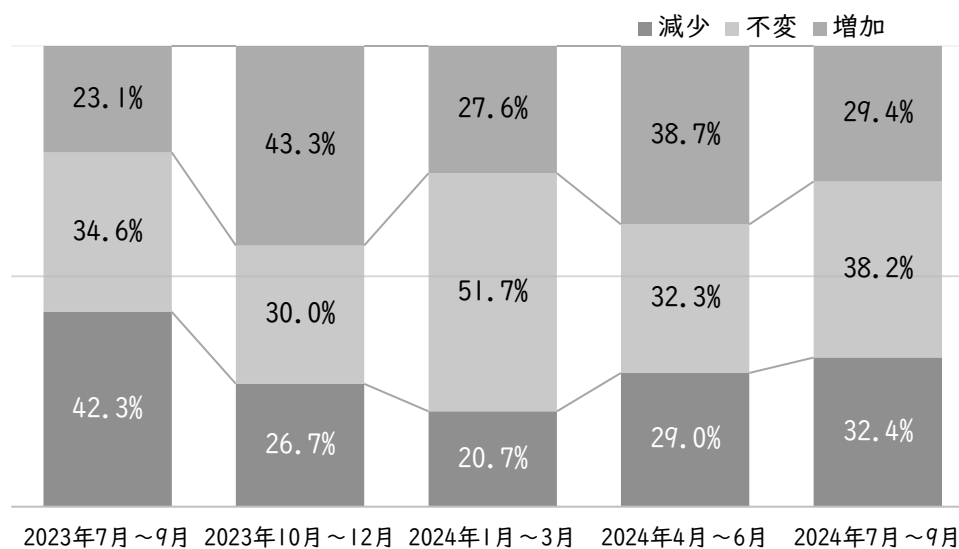


図 1 - 4 採算の状況－前年同期比－

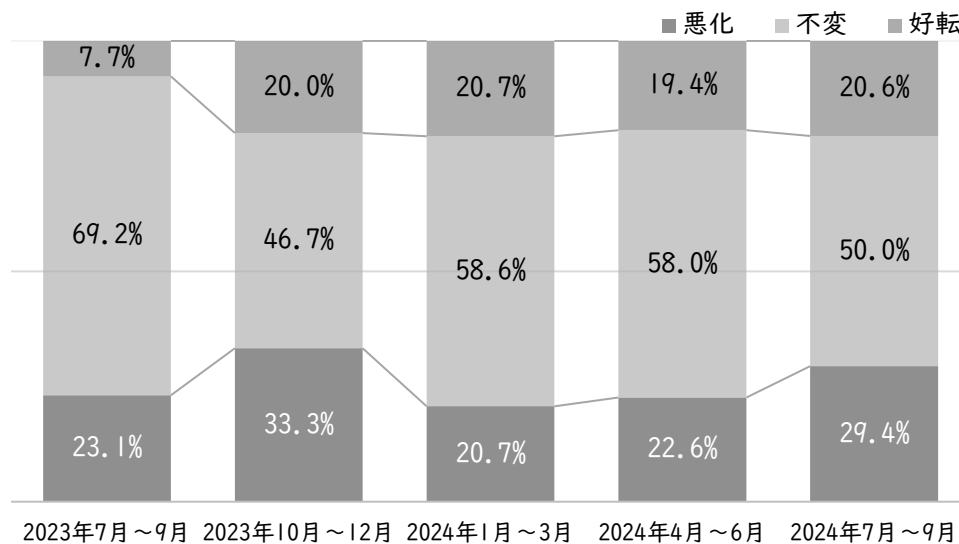


図 Ⅰ－５ 設備投資の状況

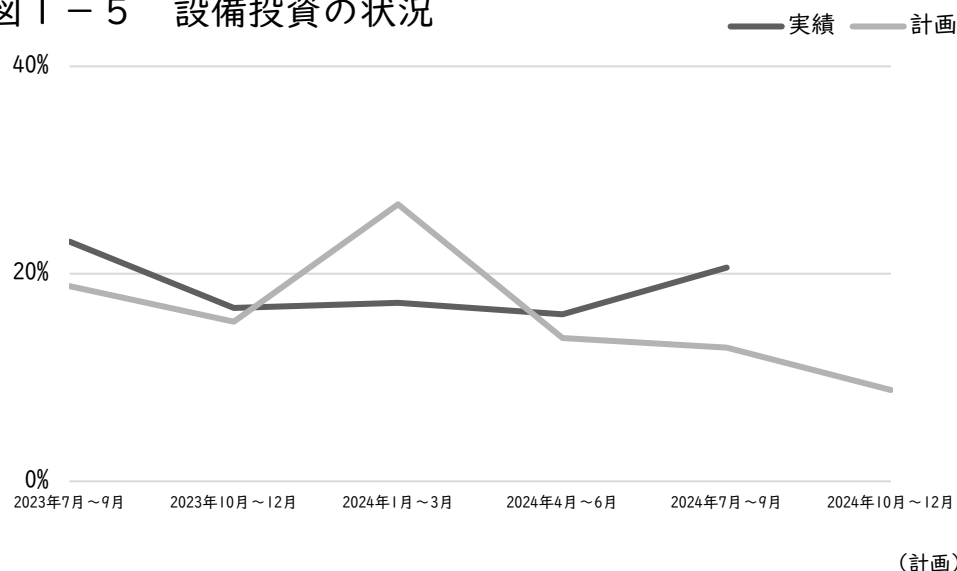


図 Ⅰ－６ 経営上の問題点の状況（１位と１位～３位）

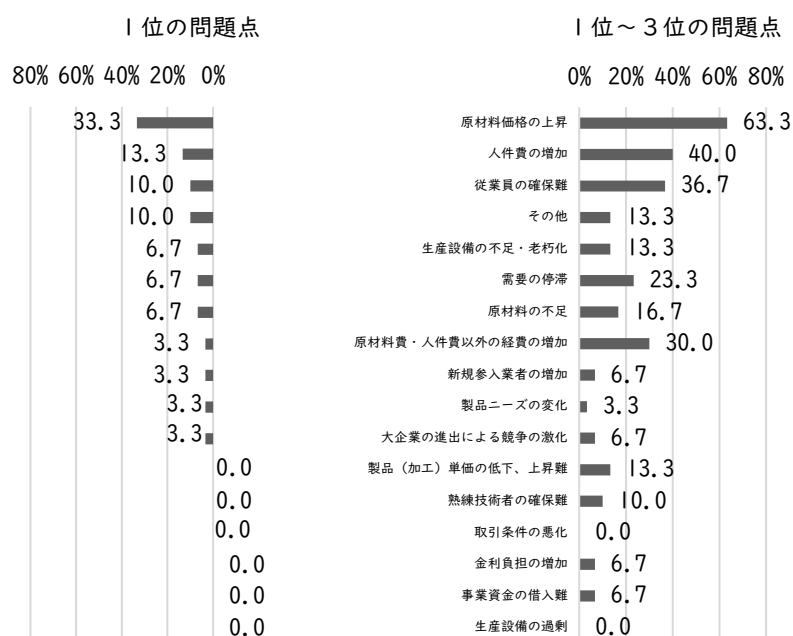


図 Ⅰ－７ 経営上の問題点の推移
（１位の問題点・上位５つ）

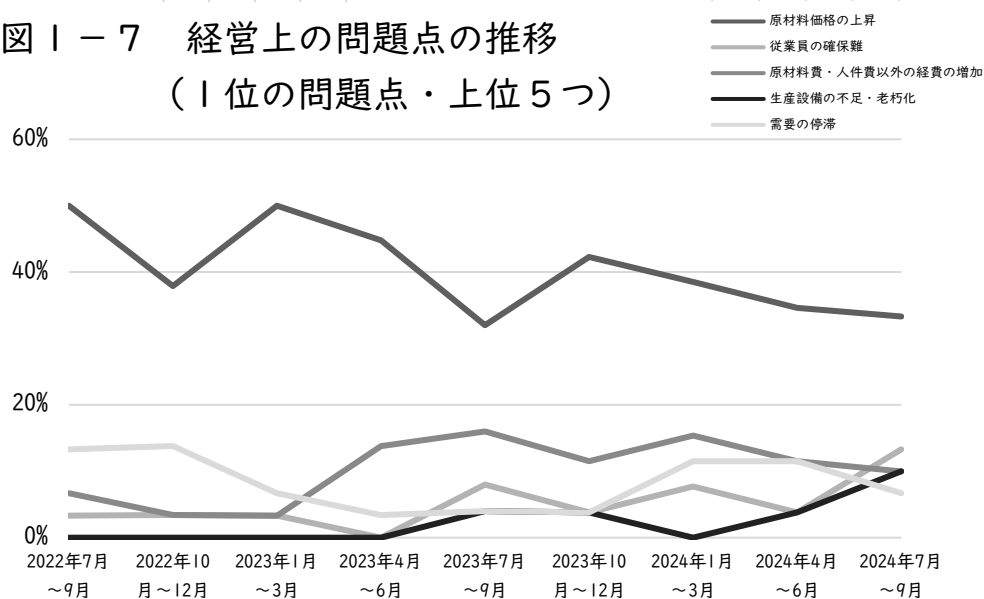


図 Ⅰ－ 8 売上額の状況－前年同期比－

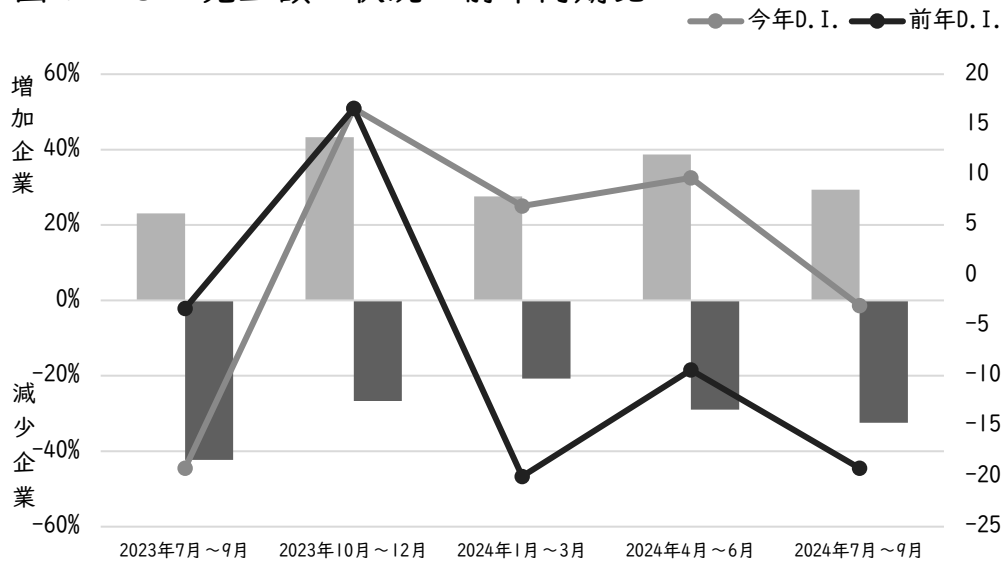
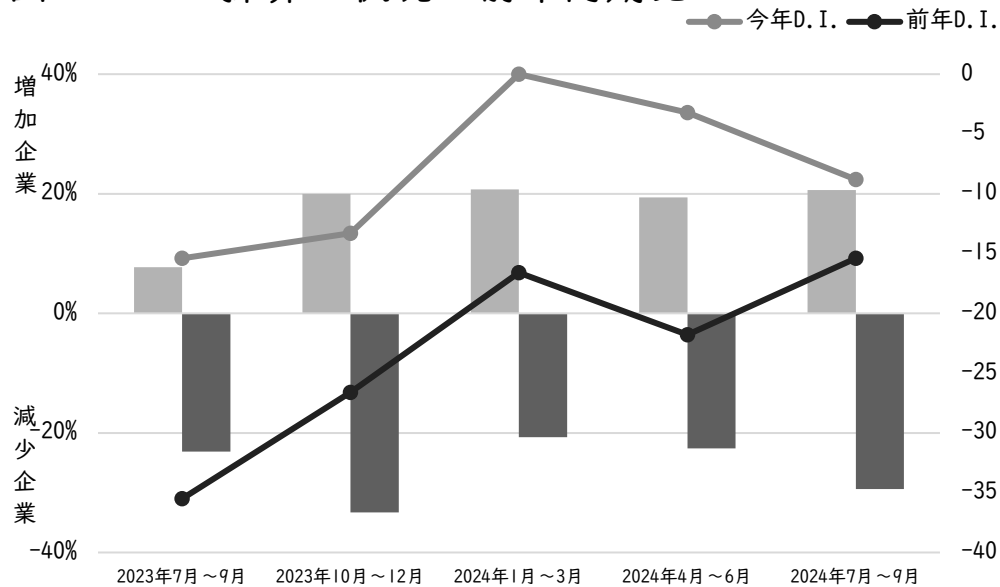


図 Ⅰ－ 9 採算の状況－前年同期比－



建設業の動向

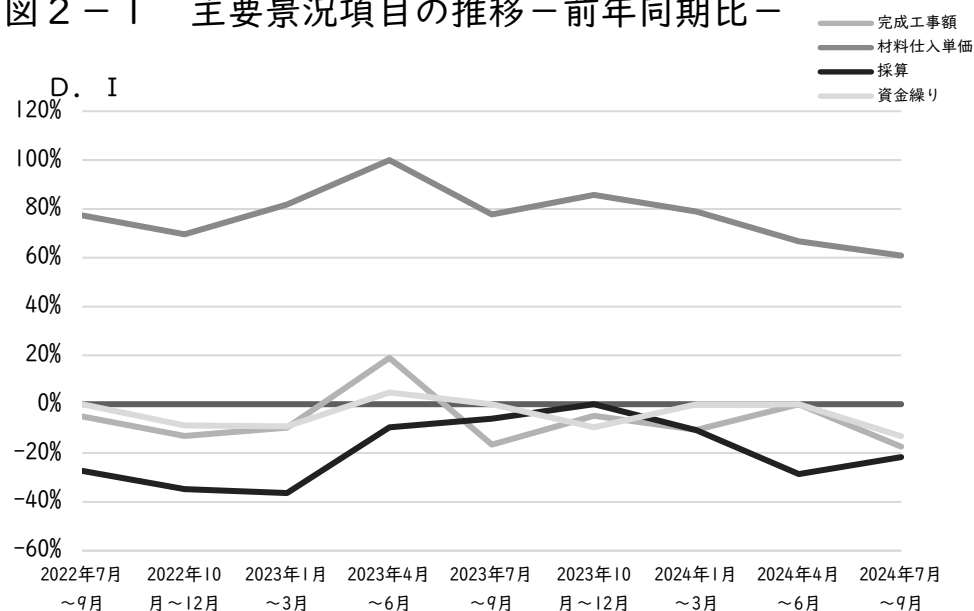
○主要景況項目から見た概要

- ・ 完成工事額DI値は、0.0→△17.4と17.4ポイント下降
(同全国値は、△9.3→△15.2と5.9ポイント下降)
- ・ 採算DI値は、△28.6→△21.7と6.9ポイント上昇
(同全国値は、△23.9→△23.7と0.2ポイント上昇)
- ・ 資金繰りDI値は、0.0→△13.1と13.1ポイント下降
(同全国値は、△7.6→△10.2と2.6ポイント下降)

今期は、完成工事額DIと資金繰りDIがマイナスに悪化し、採算DIのマイナス幅が縮小した。

来期は、完成工事額DIと採算DIと資金繰りDIでマイナス幅の拡大が見込まれる。

図 2 - 1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	△ 45.4	△ 17.4	△ 5.0	△ 13.0	△ 9.6
原材料仕入単価	73.9	87.0	77.3	69.6	81.8
採算	△ 47.8	△ 43.5	△ 27.3	△ 34.8	△ 36.4
資金繰り	△ 8.7	△ 8.7	0.0	△ 8.7	△ 9.1

図 2 - 2 完成工事額推移（月別指数）

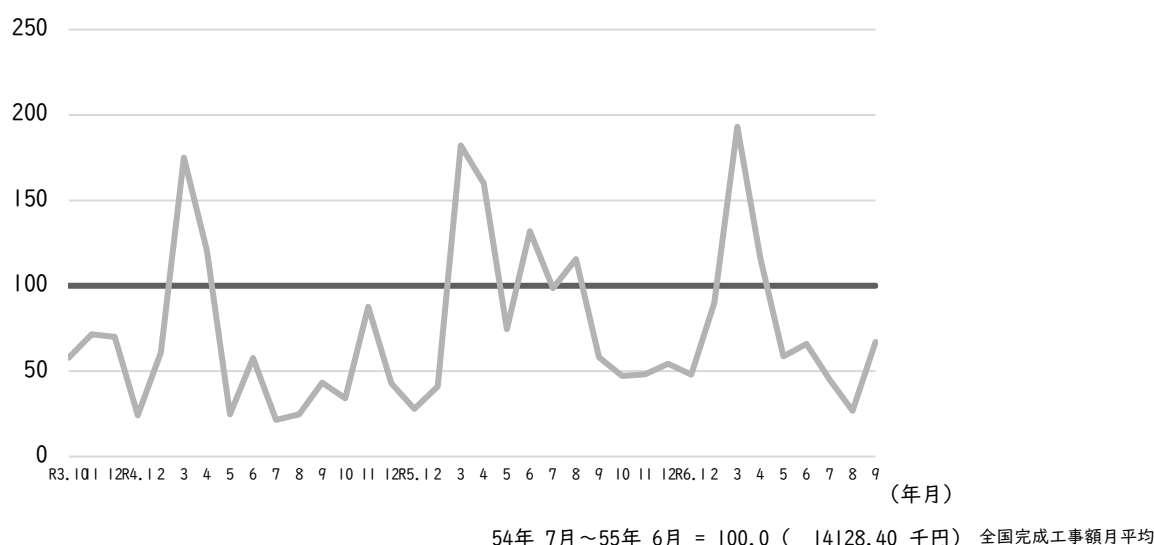


図 2 - 3 完成工事額の状況－前年同期比－

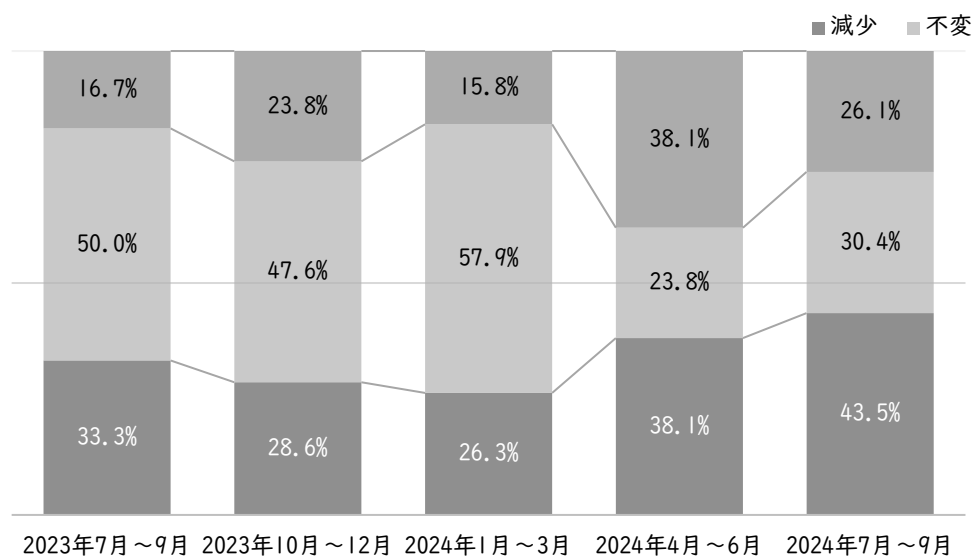


図 2 - 4 採算の状況－前年同期比－

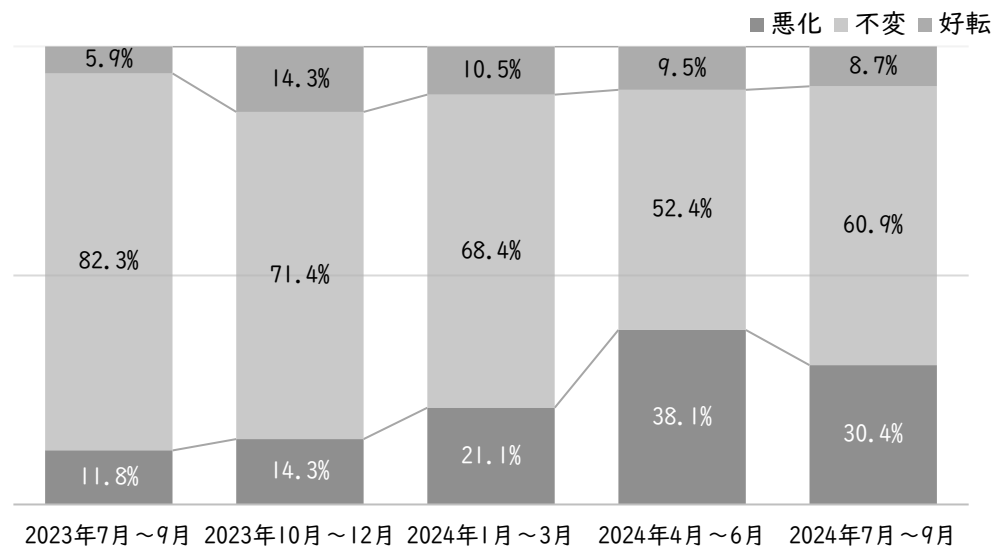
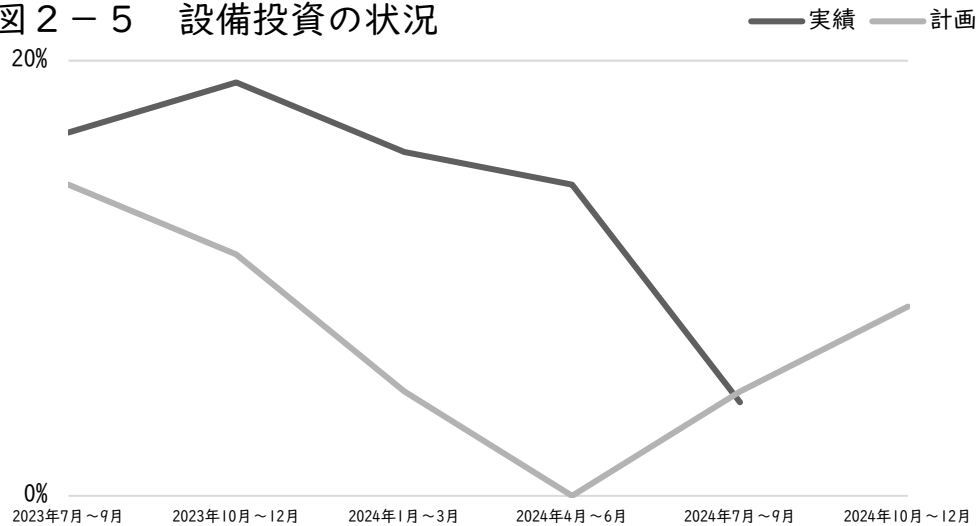


図 2 - 5 設備投資の状況



(計画)

図 2 - 6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

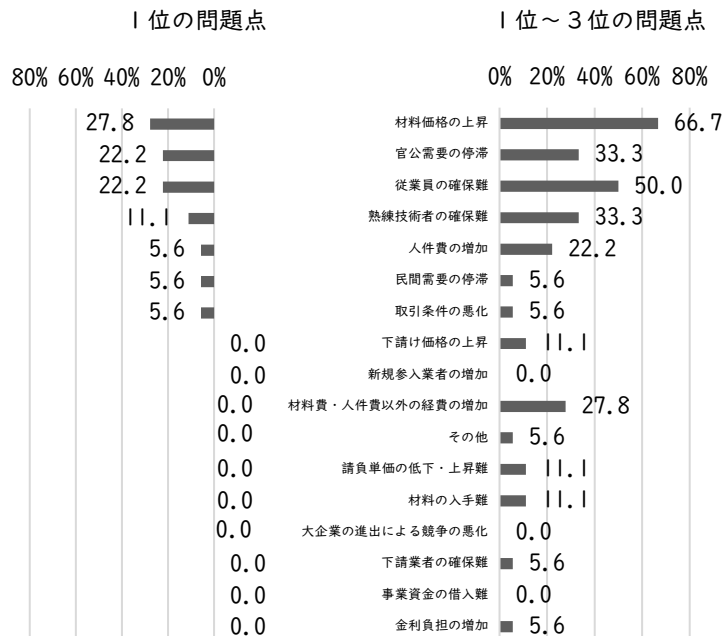


図 2 - 7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

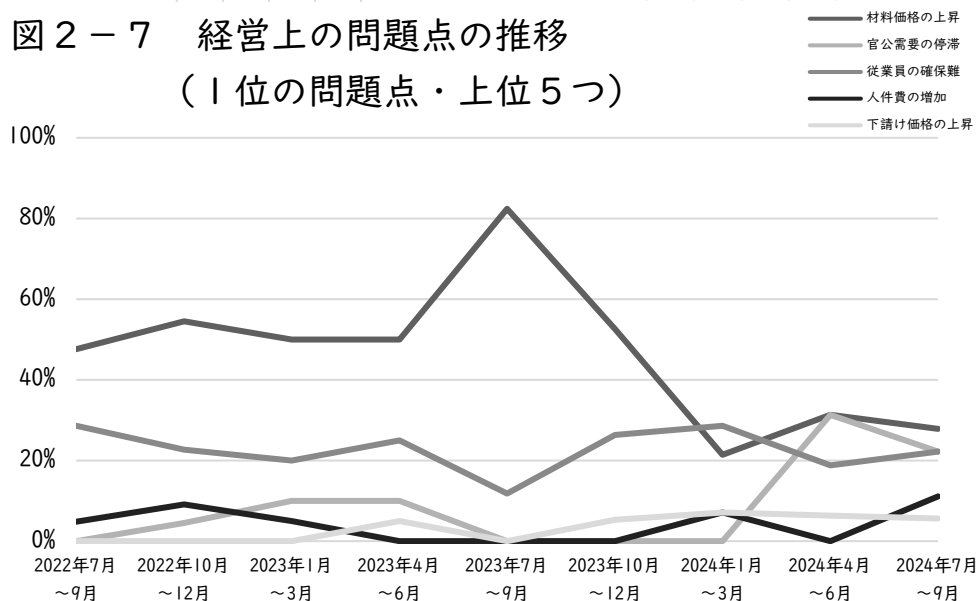


図 2－8 完成工事額の状況－前年同期比－

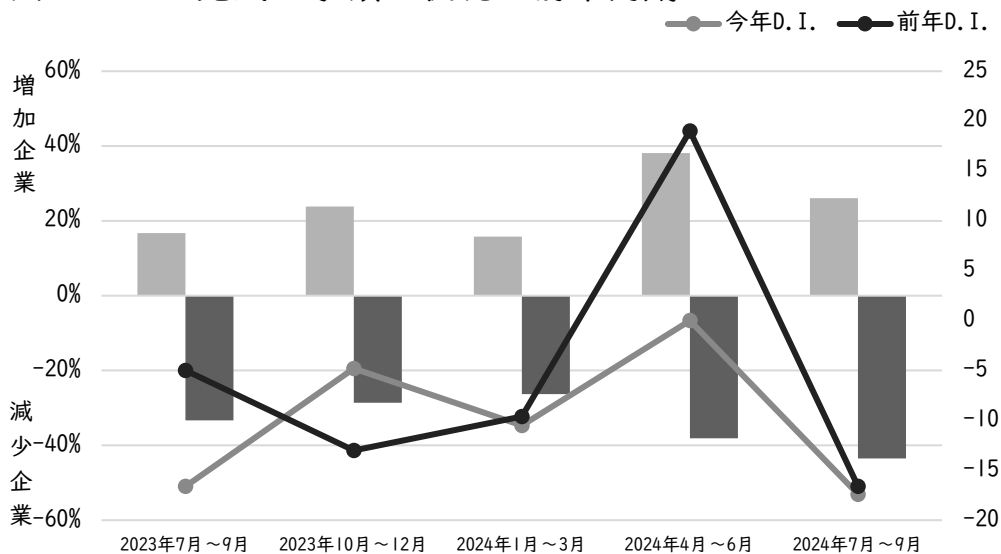
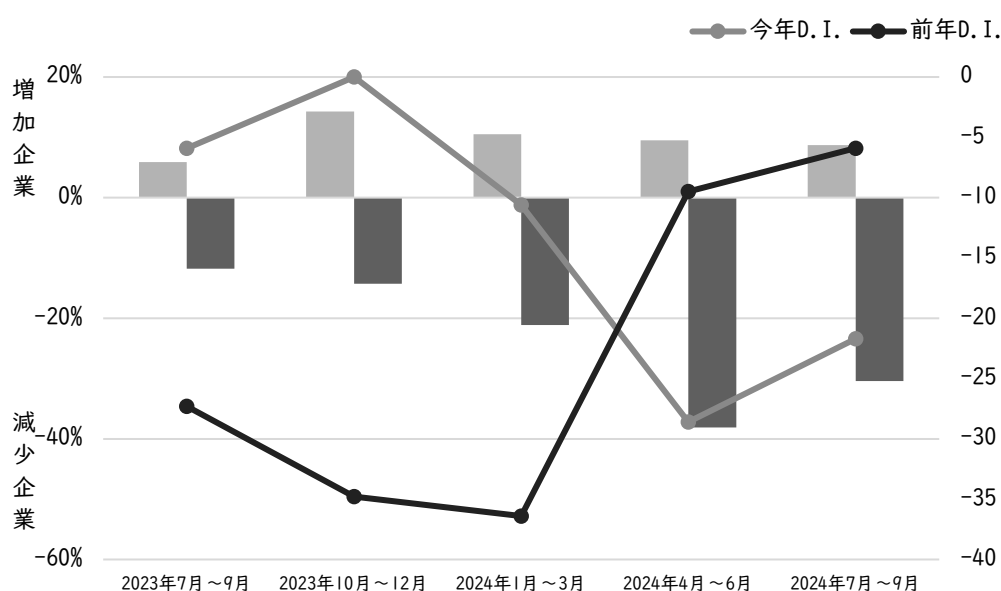


図 2－9 採算の状況－前年同期比－



小売業の動向

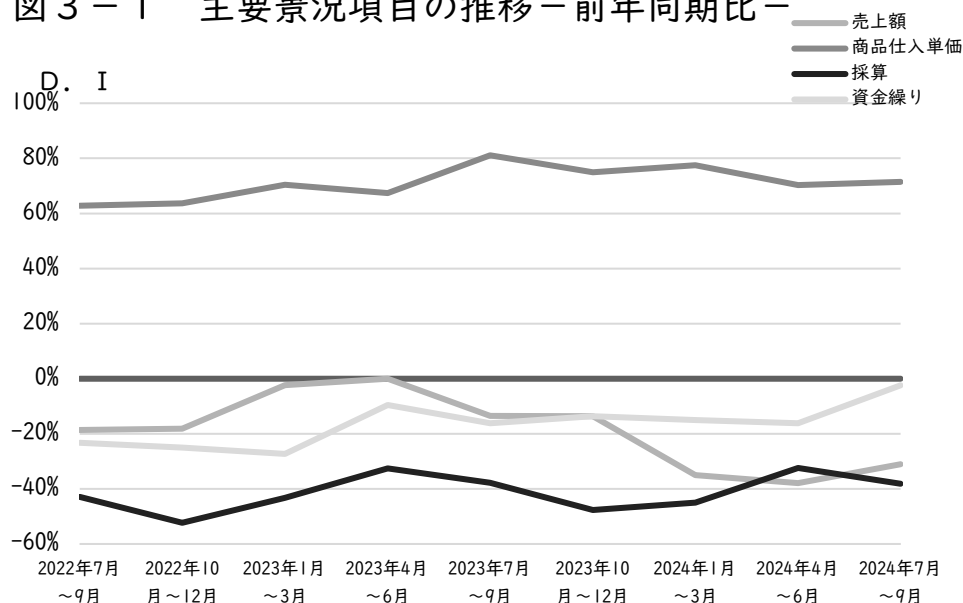
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 37.9 \rightarrow \Delta 31.0$ と6.9ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 20.1 \rightarrow \Delta 21.5$ と1.4ポイント下降)
- ・採算DI値は、 $\Delta 32.4 \rightarrow \Delta 38.1$ と5.7ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 32.1 \rightarrow \Delta 30.3$ と1.8ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 16.2 \rightarrow \Delta 2.4$ と13.8ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 20.2 \rightarrow \Delta 19.0$ と1.2ポイント上昇)

今期は、売上額DI・資金繰りDIでマイナス幅が縮小し、採算DIでマイナス幅が拡大した。

来期は、売上額DIと資金繰りDIでマイナス幅が拡大し、採算DIはマイナス幅の縮小が見込まれる。

図3－1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	$\Delta 20.9$	0.0	$\Delta 18.6$	$\Delta 18.2$	$\Delta 2.3$
原材料仕入単価	48.9	68.2	62.8	63.7	70.4
採算	$\Delta 32.6$	$\Delta 34.1$	$\Delta 42.9$	$\Delta 52.3$	$\Delta 43.2$
資金繰り	$\Delta 25.6$	$\Delta 13.7$	$\Delta 23.3$	$\Delta 25.0$	$\Delta 27.3$

図 3 - 2 売上額推移（月別指数）

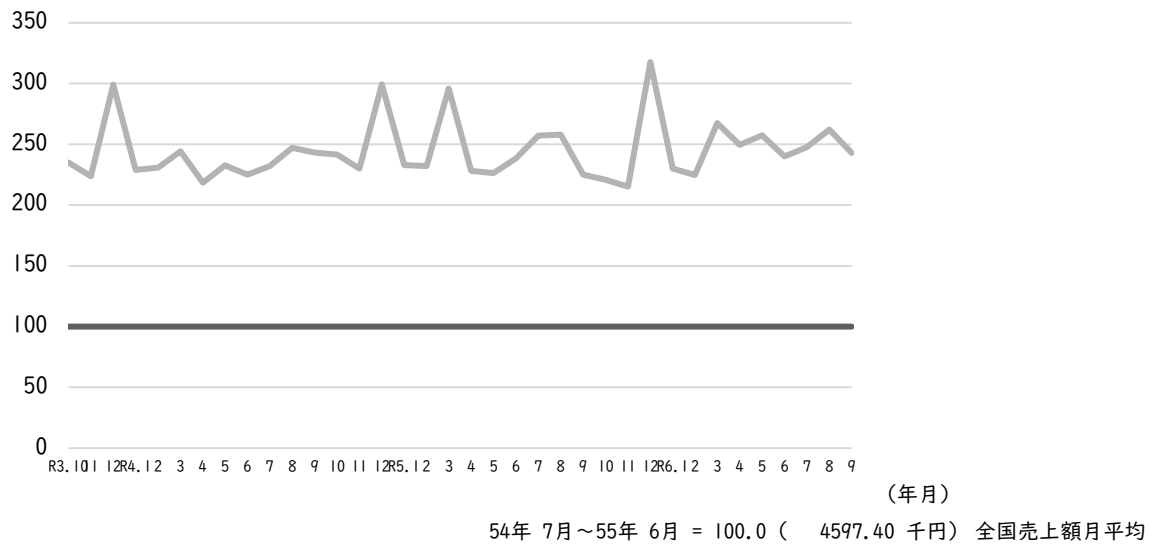


図 3 - 3 売上額の状況－前年同期比－

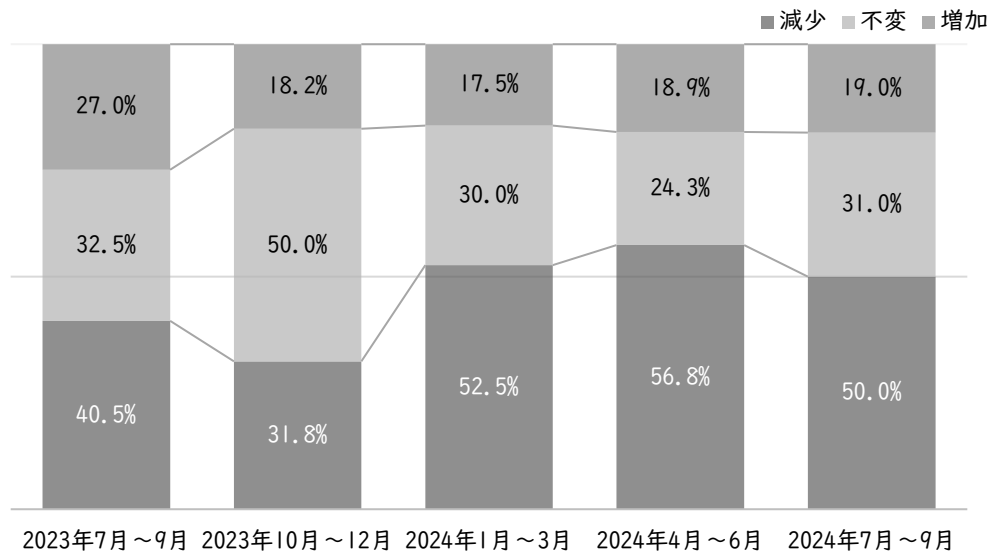


図 3 - 4 採算の状況－前年同期比－

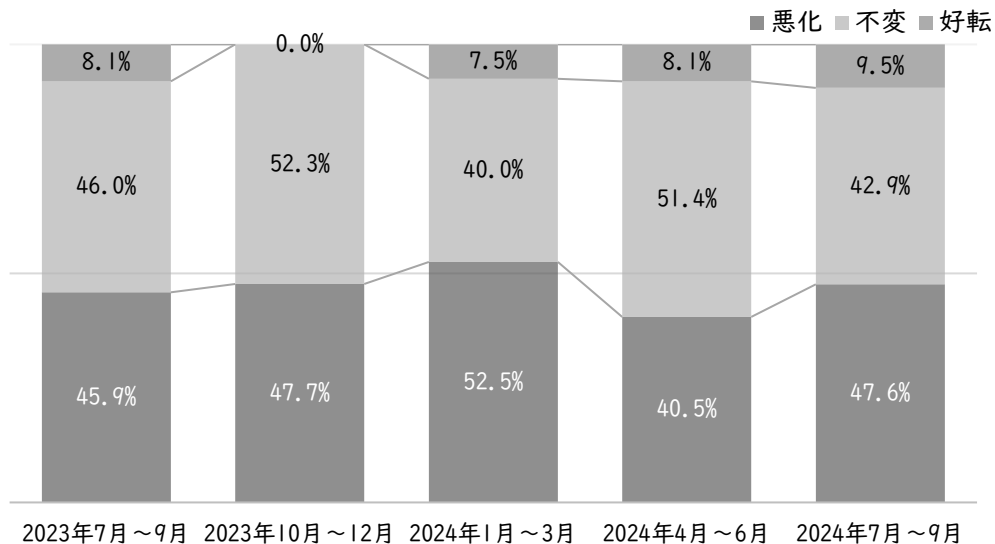


図3-5 設備投資の状況

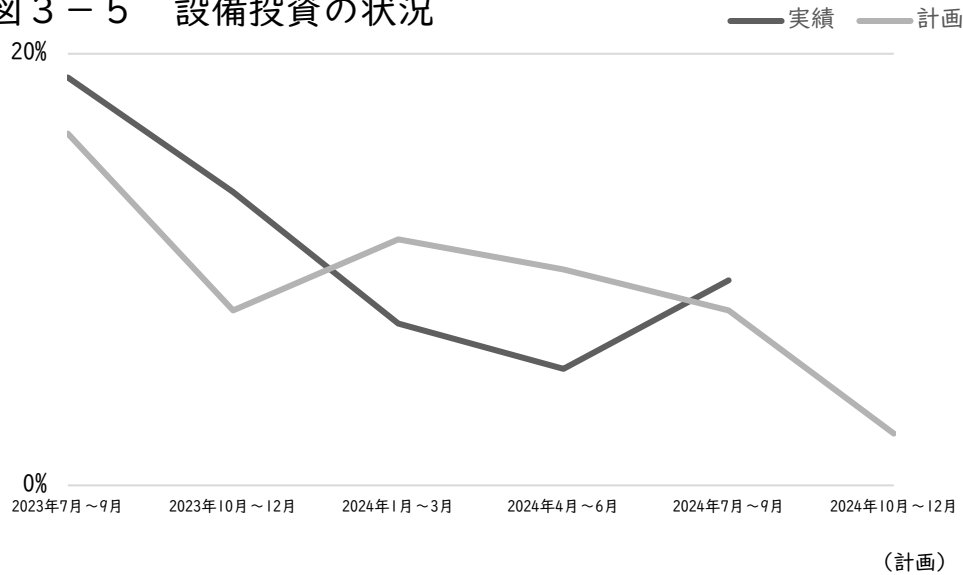


図3-6 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

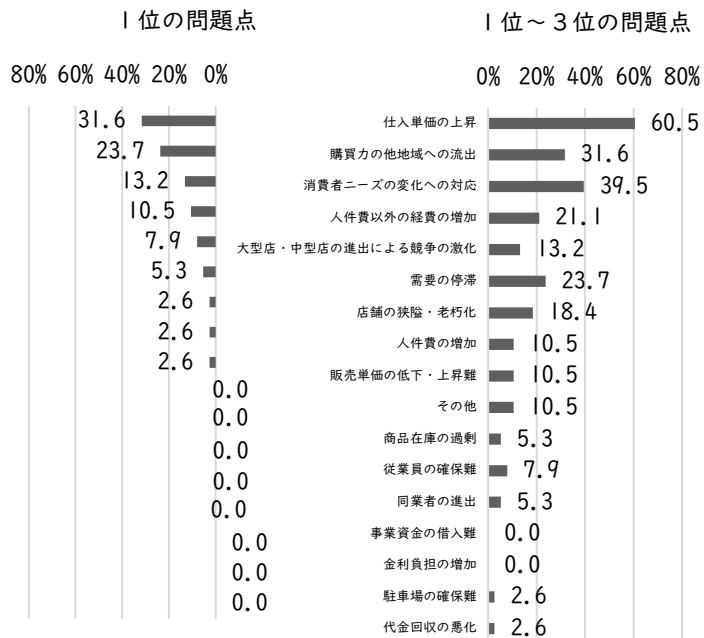


図3-7 経営上の問題点の推移
（1位の問題点・上位5つ）

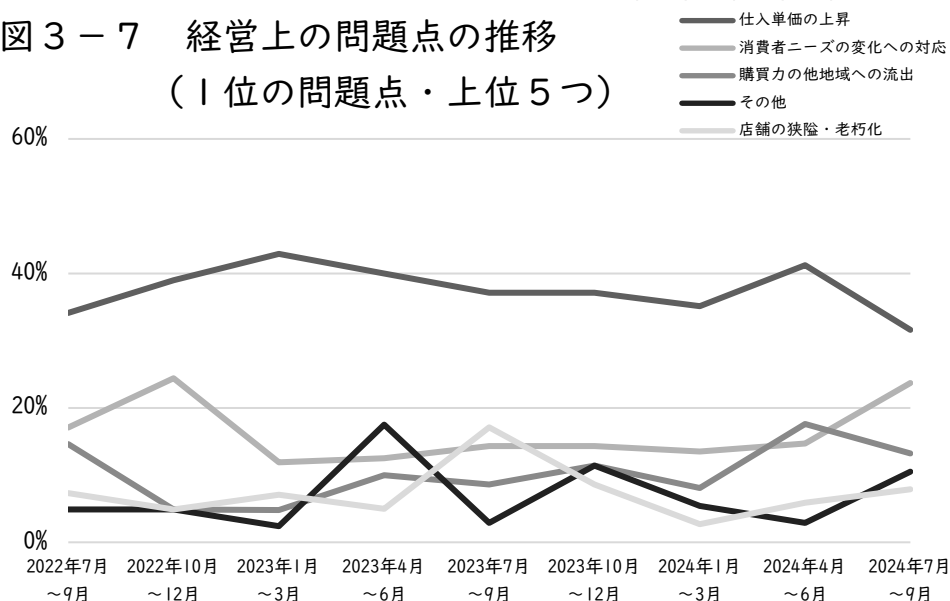


図3-8 売上額の状況－前年同期比－

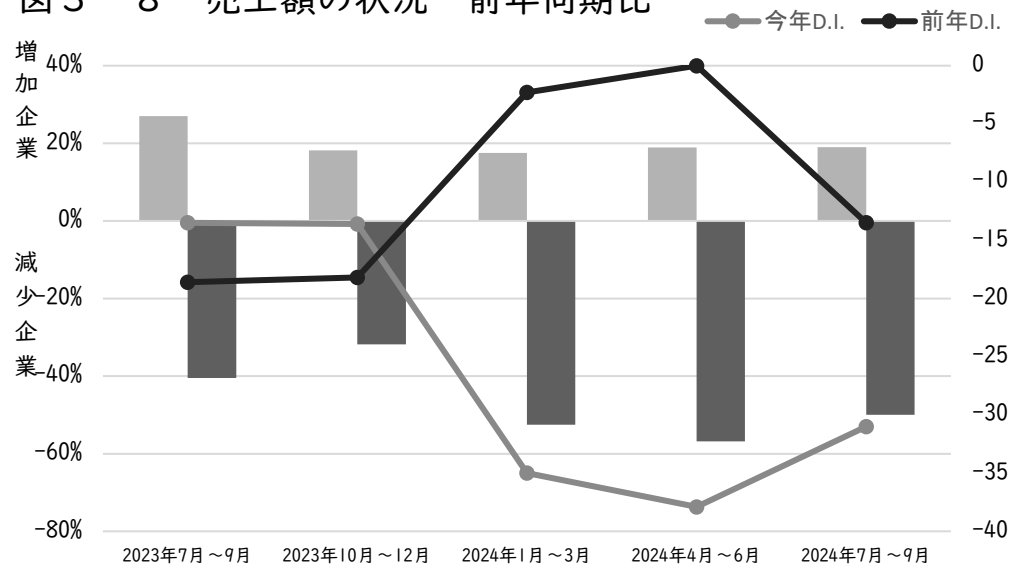
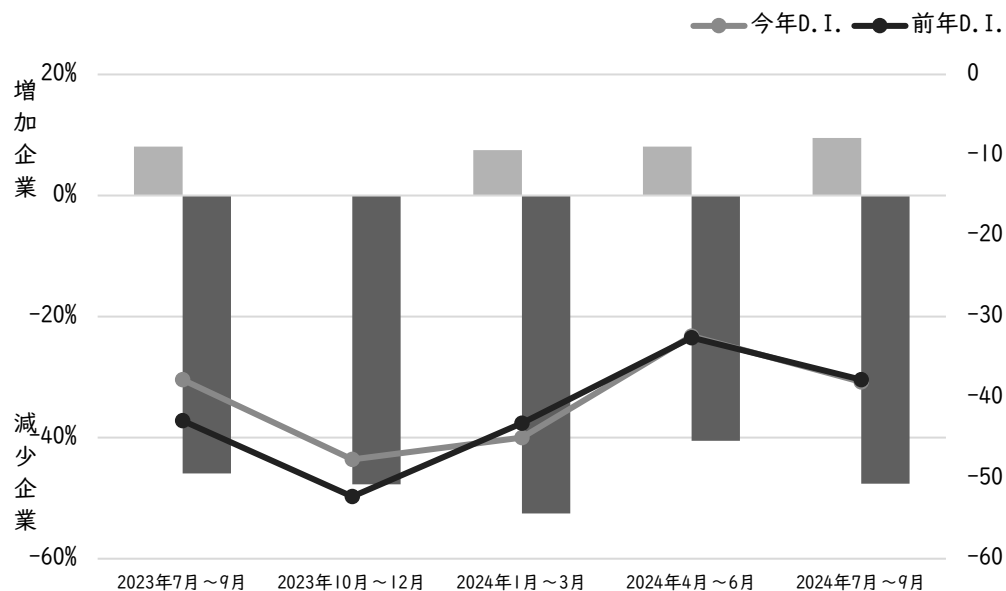


図3-9 採算の状況－前年同期比－



サービス業の動向

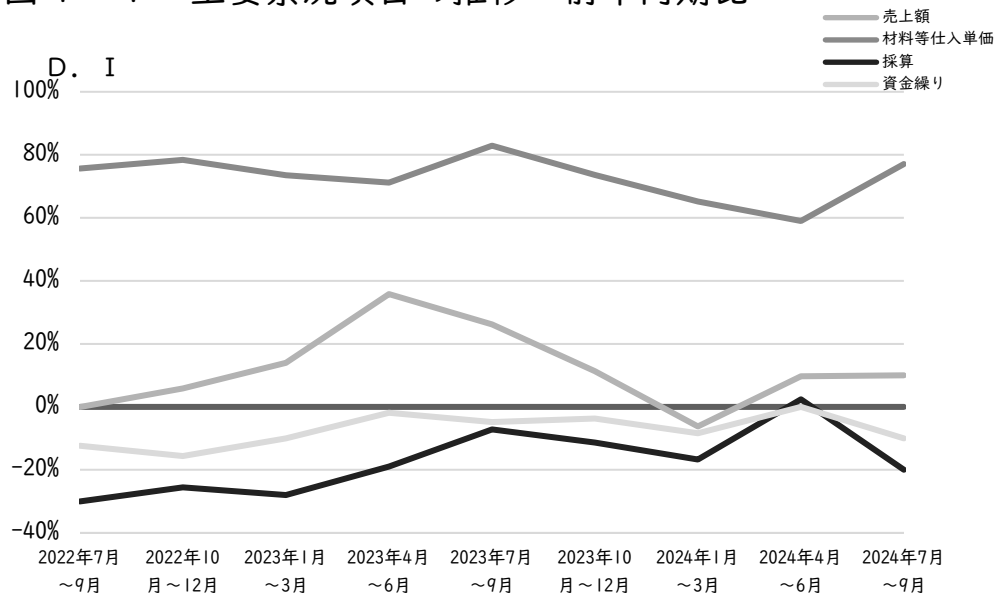
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、9.7→10.0と0.3ポイント上昇
(同全国値は、△.9→△1.0と0.1ポイント下降)
- ・採算DI値は、2.4→△20.0と22.4ポイント下降
(同全国値は、△24.1→△22.1と2.0ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、.0→△10.0と10.0ポイント下降
(同全国値は、△10.9→△11.3と0.4ポイント下降)

今期は、売上額DIのプラス幅が拡大し、採算DIと資金繰りDIがマイナスに悪化した。

来期は、売上額DIがマイナスに悪化し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅の拡大が見込まれる。

図４－Ⅰ 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	△ 43.1	1.9	0.0	5.9	14.0
原材料仕入単価	38.8	64.0	75.6	78.4	73.5
採算	△ 46.0	△ 27.4	△ 30.0	△ 25.5	△ 28.0
資金繰り	△ 24.0	△ 5.8	△ 12.3	△ 15.6	△ 10.0

図 4 - 2 売上額推移（月別指数）

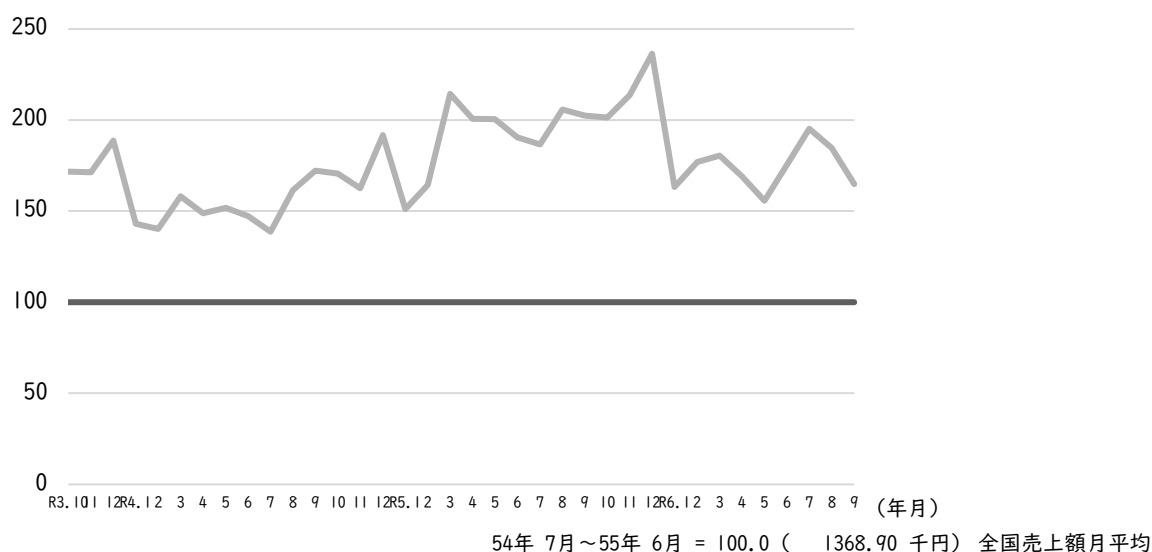


図 4 - 3 売上額の状況－前年同期比－

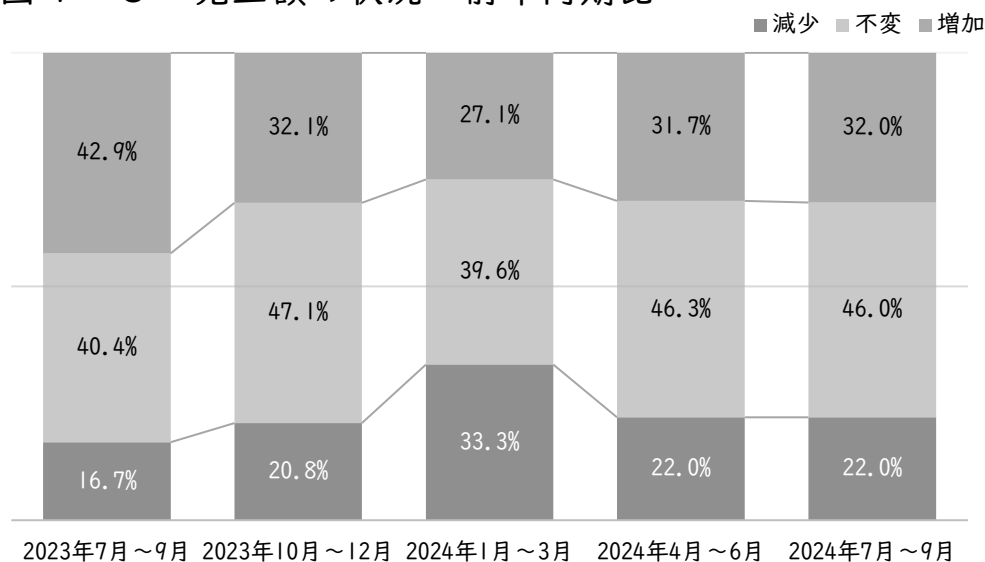


図 4 - 4 採算の状況－前年同期比－

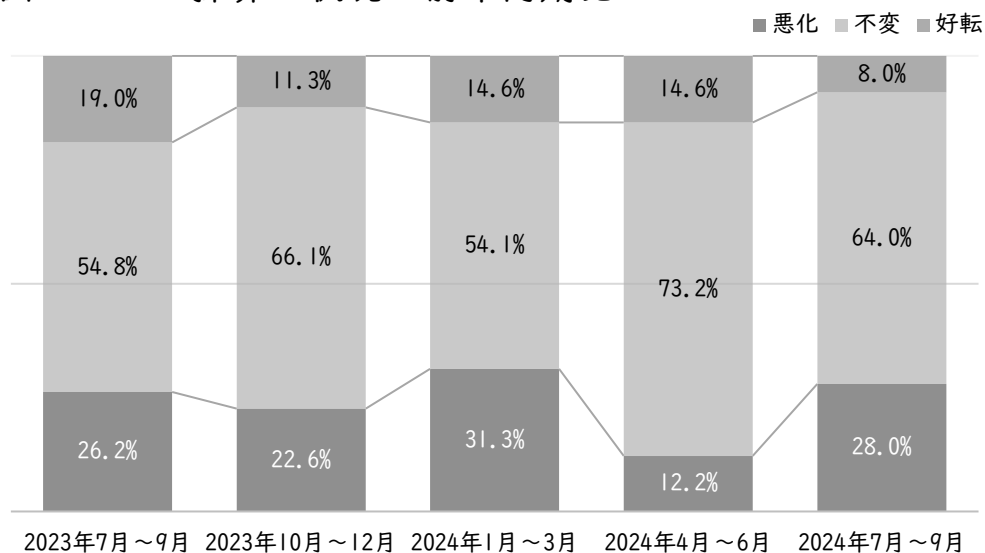


図 4 - 5 設備投資の状況

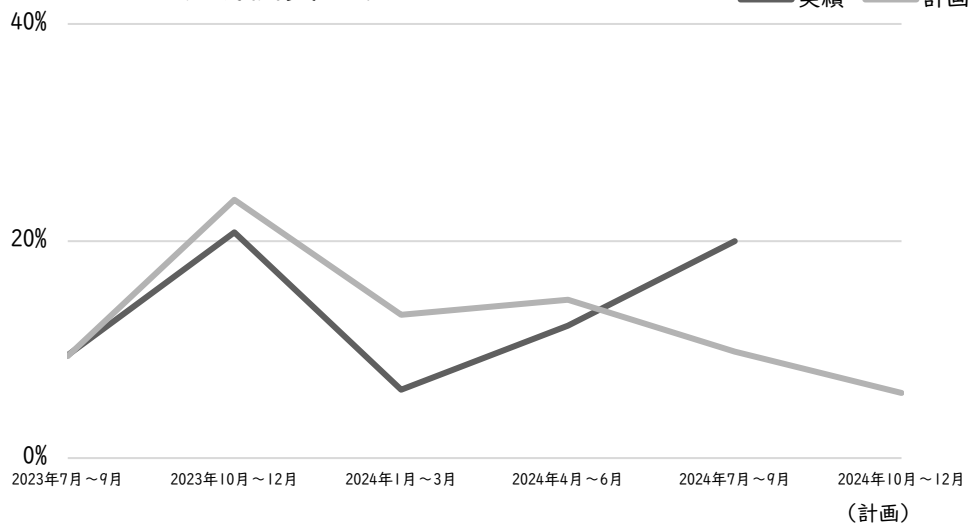


図 4 - 6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

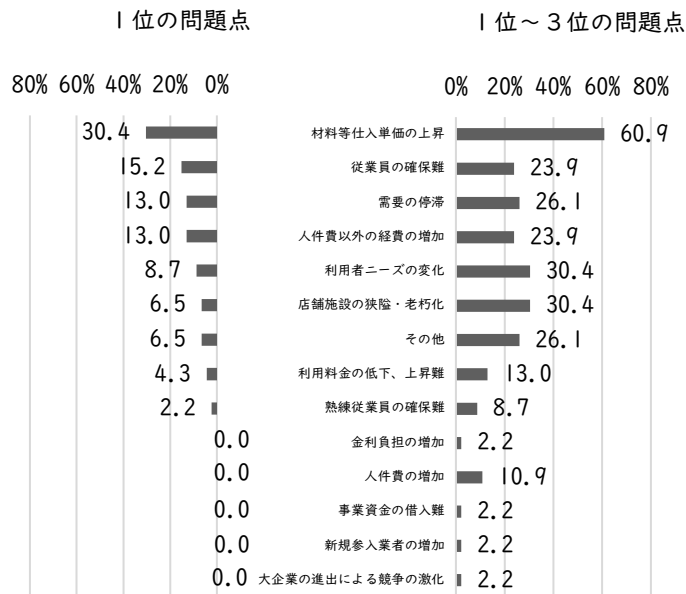


図 4 - 7 経営上の問題点の推移
(1位の問題点・上位5つ)

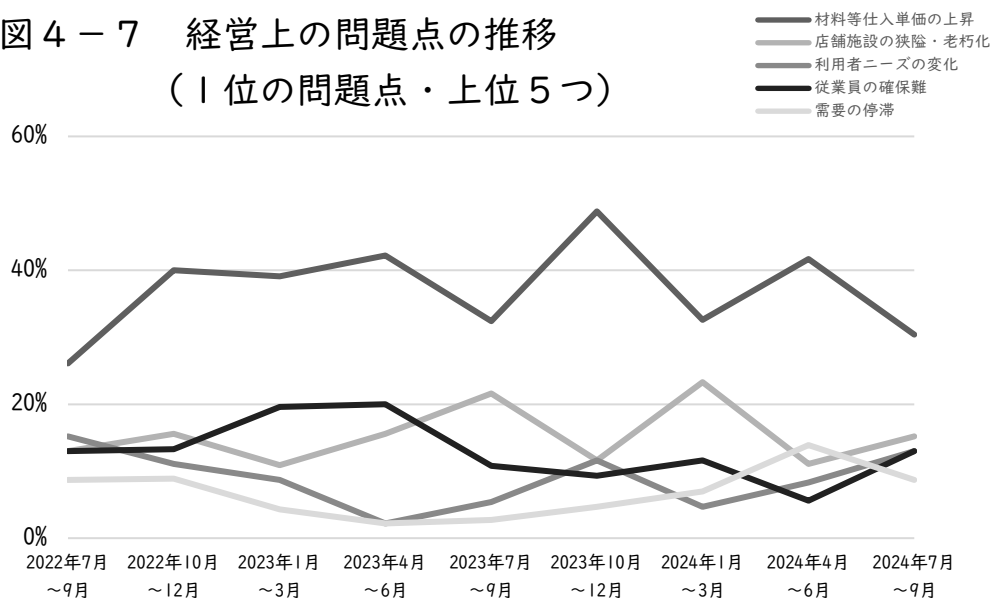


図 4 - 8 売上額の状況－前年同期比－

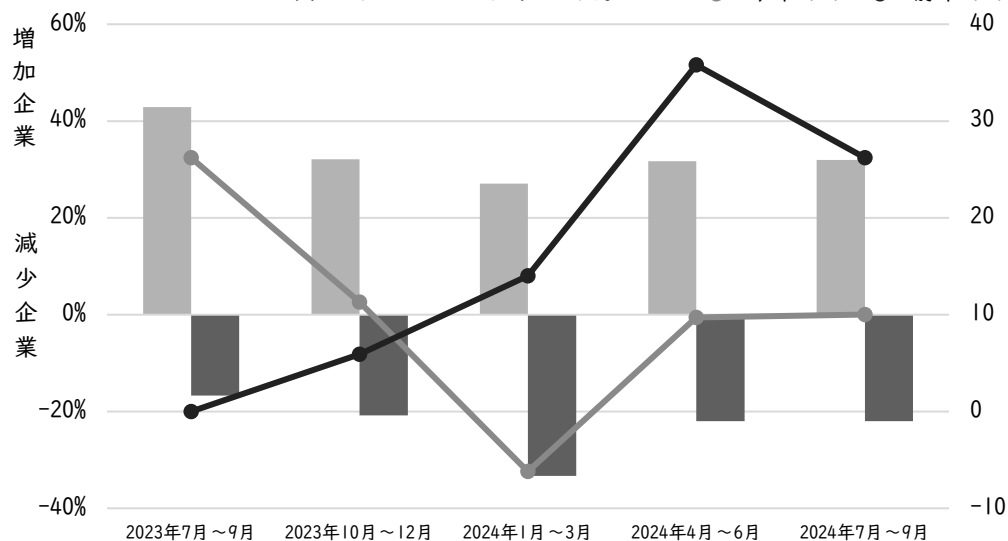
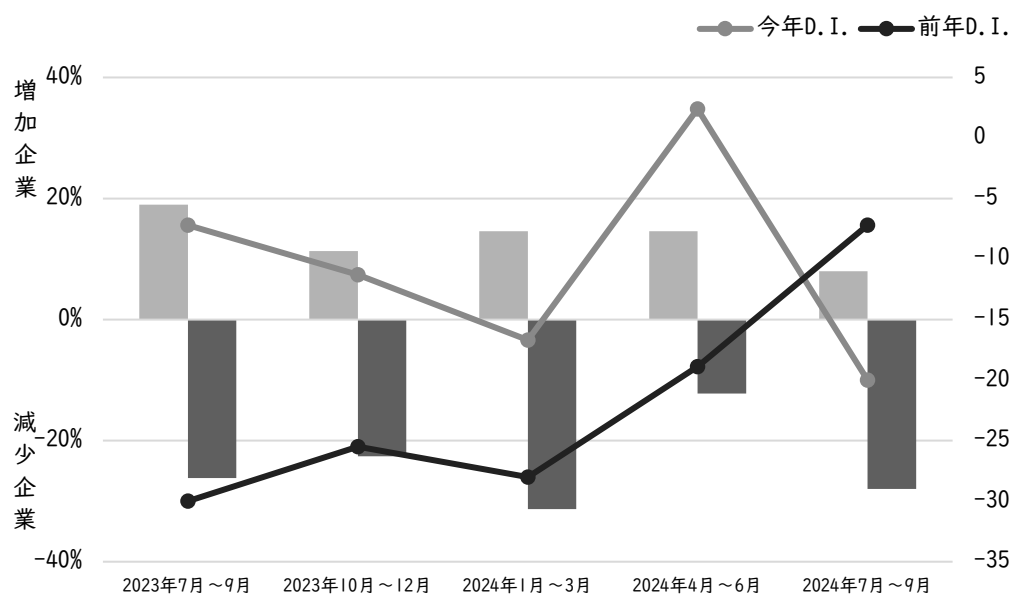
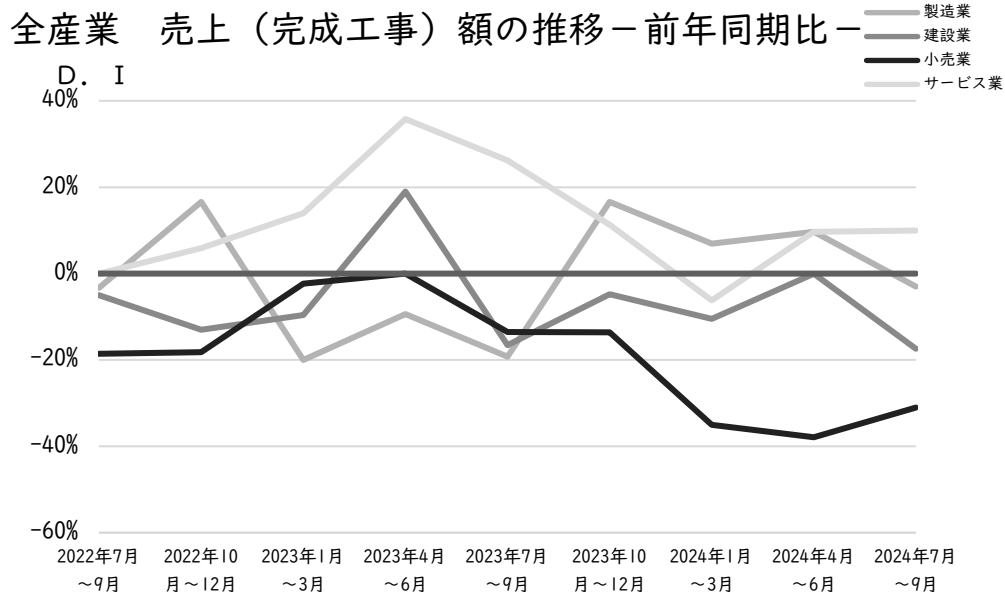


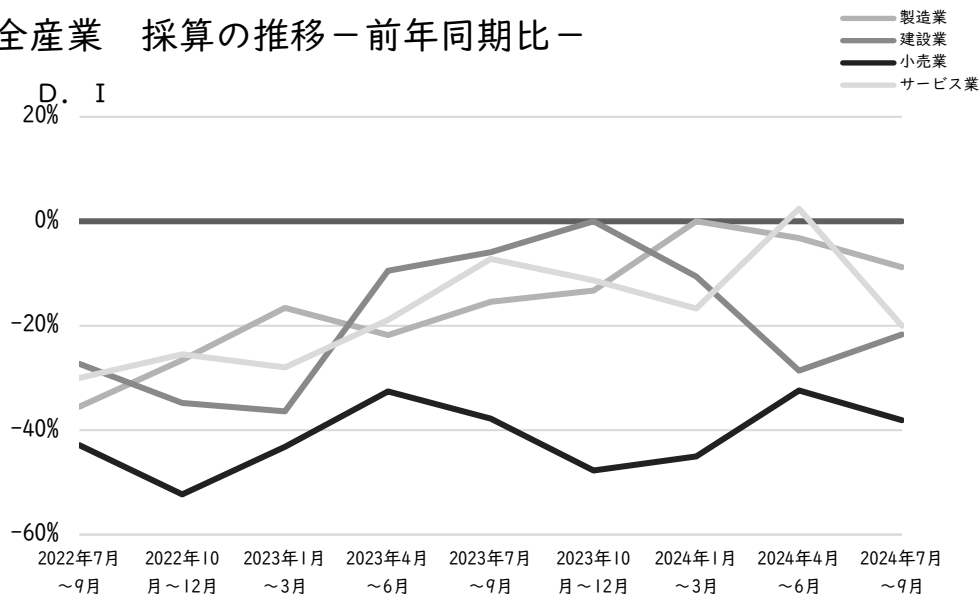
図 4 - 9 採算の状況－前年同期比－



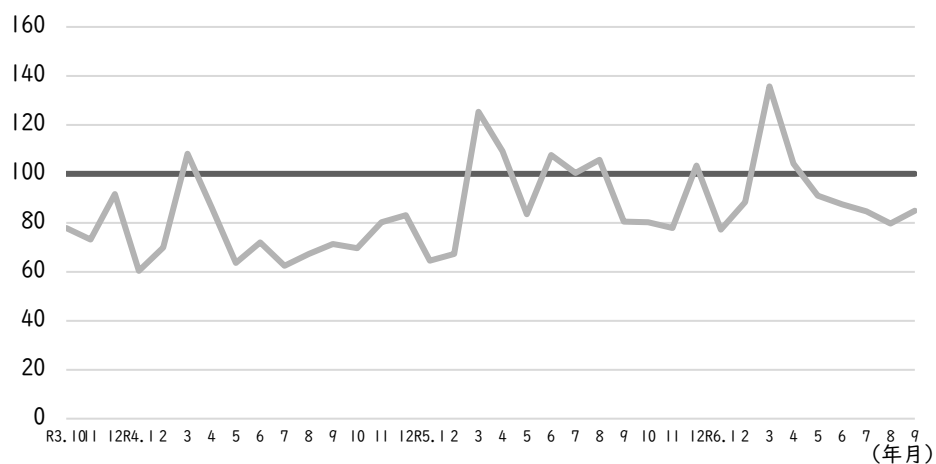
全産業の動向



全産業 採算の推移－前年同期比－



全産業 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (8213.00 千円) 全国全産業売上額月平均

中小企業景況調査報告書

2024年10月～12月期

高知県商工会連合会

中小企業景況調査

[調査事項]

1. 調査対象

(1)調査対象地区	室戸市	香美市	大豊町	本山町	土佐地区
	いの町	春野	仁淀川町	中土佐町	津野町
	梶原町	四万十町	三原村	大月町	

(2)調査企業数 150企業

(3)回答企業数 148企業 (回答率：98.7%)

2. 調査対象期間

2024年10月～12月期を対象とし、調査時点は2024年11月15日とする。

3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区は市町村人口規模に勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 回答企業数の内訳

業 種	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	34	23
建 設 業	22	14.9
小 売 業	42	28.4
サービス業	50	33.8
合 計	148	100.0

注記 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査事項についての増加（上昇、好転、長期化）の企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

Ⅰ. 産業全体の景況概要

○商工会地域における今期（2024年10月～12月期）の状況

[製 造 業]

(D I 値)

期 項目	2024年 7月～ 9月	2024年10月～12月	対 前 期 比
売 上 額	△ 3.0	△ 26.5	23.5ポイント下降
採 算	△ 8.8	△ 26.4	17.6ポイント下降
資 金 繰 り	△ 9.1	△ 17.6	8.5ポイント下降

[建 設 業]

(D I 値)

期 項目	2024年 7月～ 9月	2024年10月～12月	対 前 期 比
完 成 工 事 額	△ 17.4	△ 22.8	5.4ポイント下降
採 算	△ 21.7	△ 36.4	14.7ポイント下降
資 金 繰 り	△ 13.1	0.0	13.1ポイント上昇

[小 売 業]

(D I 値)

期 項目	2024年 7月～ 9月	2024年10月～12月	対 前 期 比
売 上 額	△ 31.0	△ 57.2	26.2ポイント下降
採 算	△ 38.1	△ 47.6	9.5ポイント下降
資 金 繰 り	△ 2.4	△ 28.6	26.2ポイント下降

[サービス業]

(D I 値)

期 項目	2024年 7月～ 9月	2024年10月～12月	対 前 期 比
売 上 額	10.0	0.0	10.0ポイント下降
採 算	△ 20.0	△ 10.0	10.0ポイント上昇
資 金 繰 り	△ 10.0	0.0	10.0ポイント上昇

○来期見通し(2025年 1月～ 3月期)

(D I 値)

区分 業種	売 上 額 完 成 工 事 額	採 算	資 金 繰 り
製 造 業	△ 23.5	△ 17.6	△ 14.7
建 設 業	△ 50.0	△ 31.9	△ 27.3
小 売 業	△ 31.0	△ 45.2	△ 26.2
サ ー ビ ス 業	△ 2.0	△ 24.0	△ 8.0

2. 産 業 別 景 況

製造業の動向

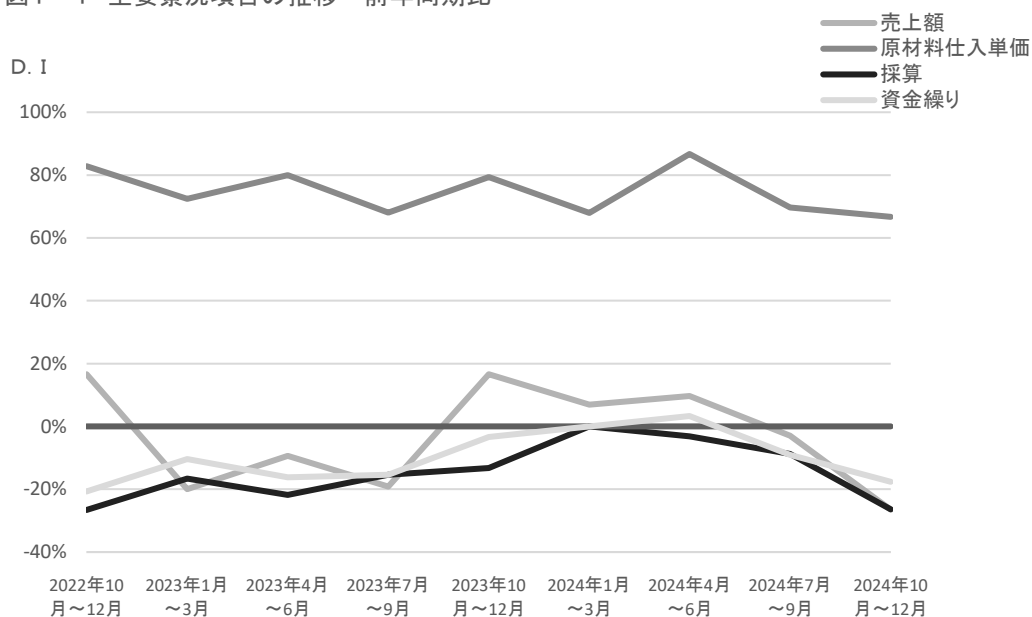
○主要景況項目から見た概要

- ・売上高DI値は、 $\Delta 3.0 \rightarrow \Delta 26.5$ と23.5ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 13.9 \rightarrow \Delta 15.7$ と1.8ポイント下降)
- ・採算DI値は、 $\Delta 8.8 \rightarrow \Delta 26.4$ と17.6ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 25.0 \rightarrow \Delta 24.7$ と0.3ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 9.1 \rightarrow \Delta 17.6$ と8.5ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 14.7 \rightarrow \Delta 17.0$ と2.3ポイント下降)

今期は、売上高DI・採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

来期は、売上高DI・採算DI・資金繰りDIでマイナス幅に縮小が見込まれる。

図1-1 主要景況項目の推移—前年同期比—



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	0.0	0.0	$\Delta 3.3$	16.6	$\Delta 20.0$
原材料仕入単価	70.0	86.7	82.1	82.8	72.4
採算	$\Delta 29.0$	$\Delta 25.8$	$\Delta 35.5$	$\Delta 26.6$	$\Delta 16.6$
資金繰り	$\Delta 6.6$	$\Delta 9.7$	$\Delta 16.7$	$\Delta 20.7$	$\Delta 10.4$

図 1 - 2 売上額推移（月別指数）

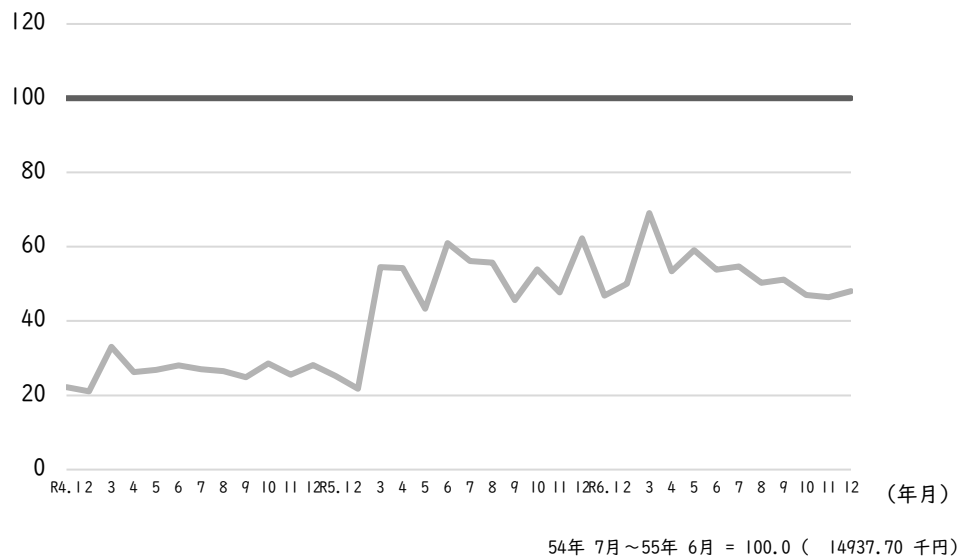


図 1 - 3 売上額の状況－前年同期比－

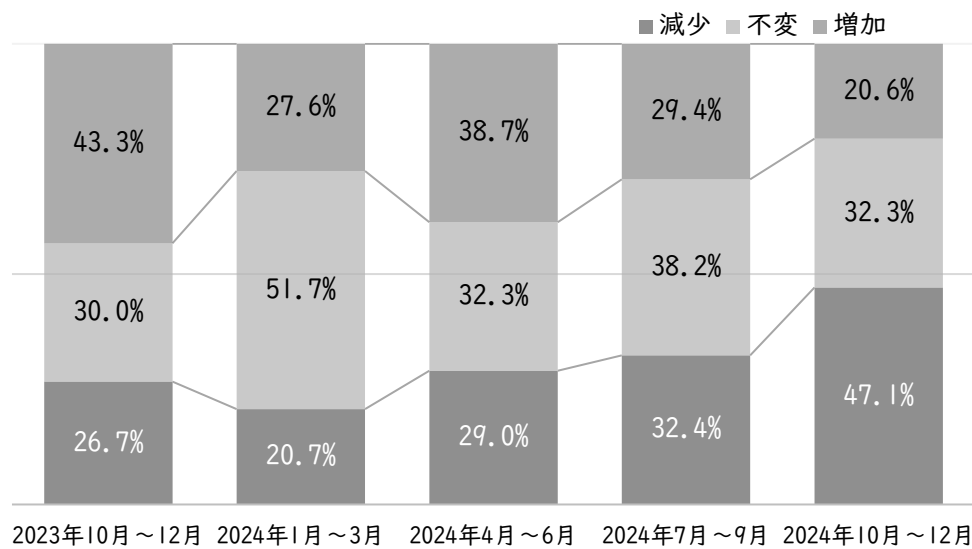


図 1 - 4 採算の状況－前年同期比－

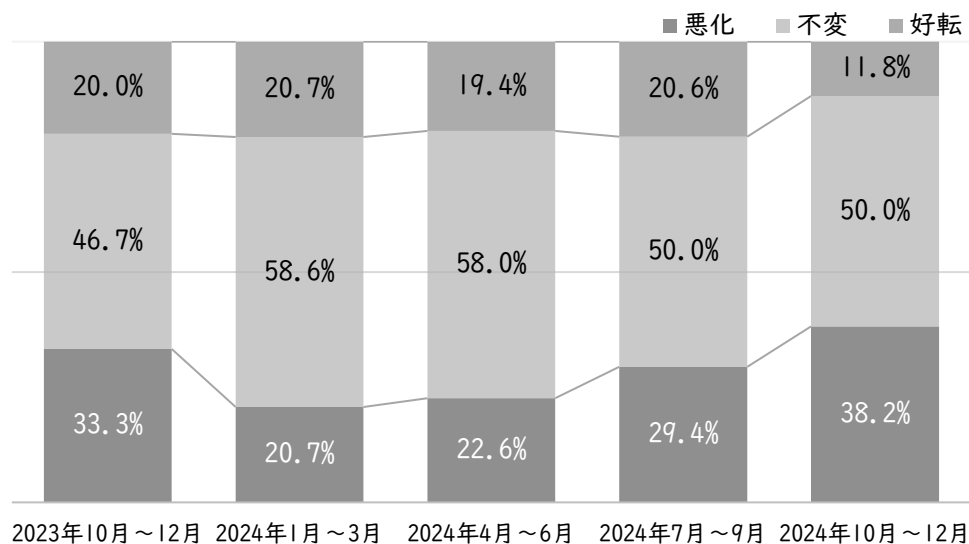


図 Ⅰ－５ 設備投資の状況

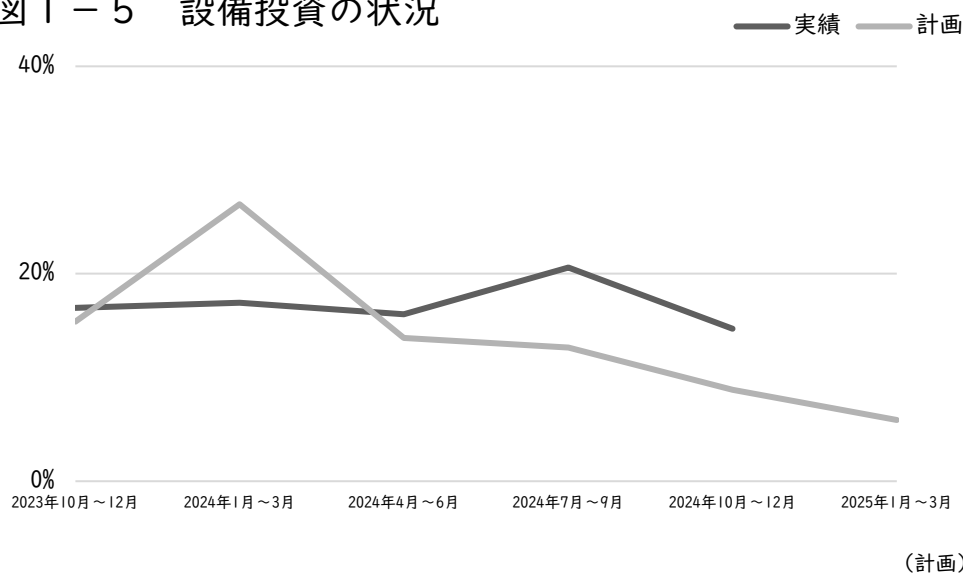


図 Ⅰ－６ 経営上の問題点の状況（１位と１位～３位）

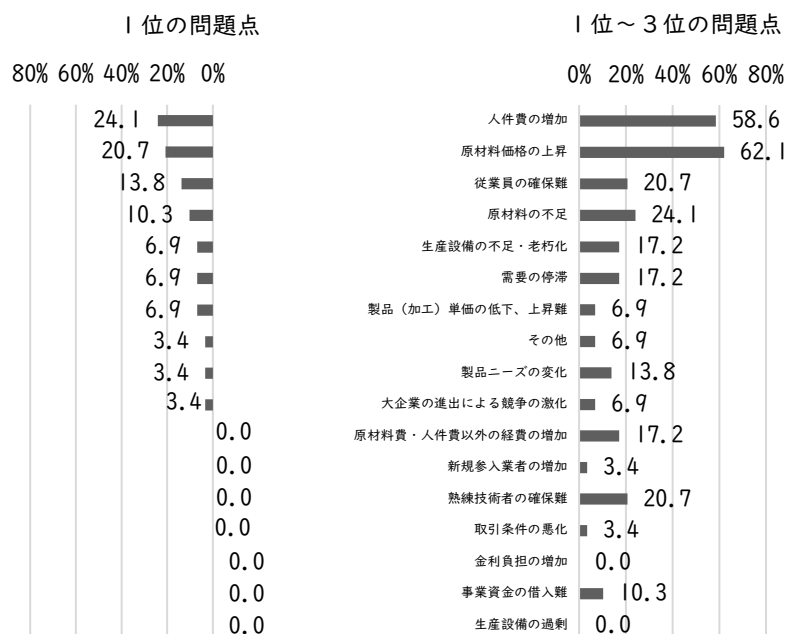


図 Ⅰ－７ 経営上の問題点の推移
（１位の問題点・上位５つ）

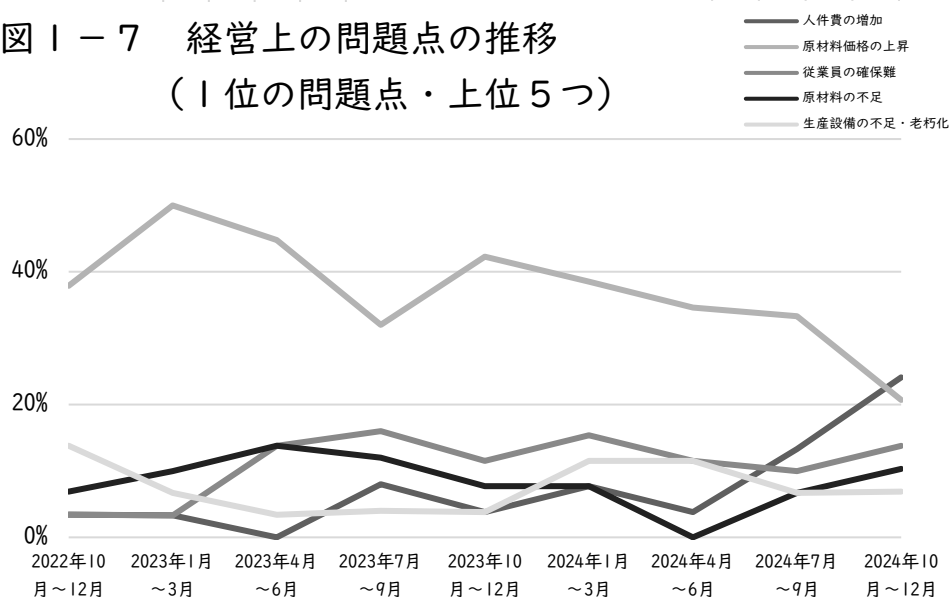


図 Ⅰ－ 8 売上額の状況－前年同期比－

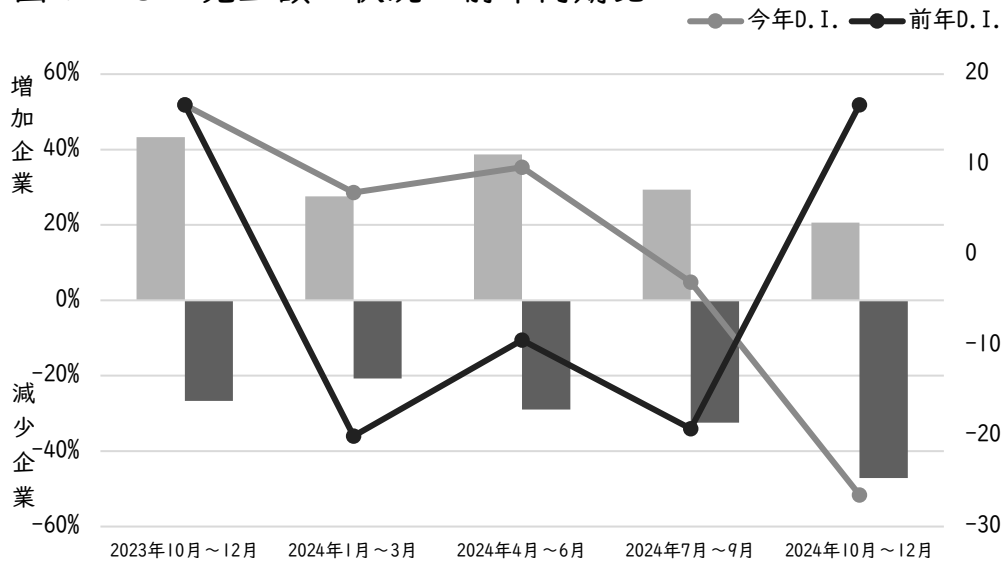
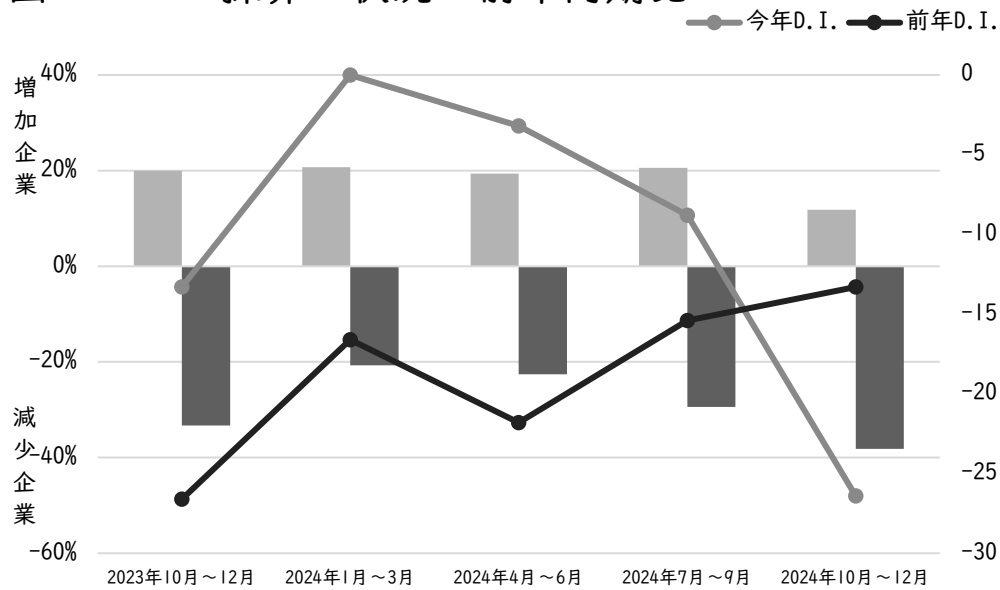


図 Ⅰ－ 9 採算の状況－前年同期比－



建設業の動向

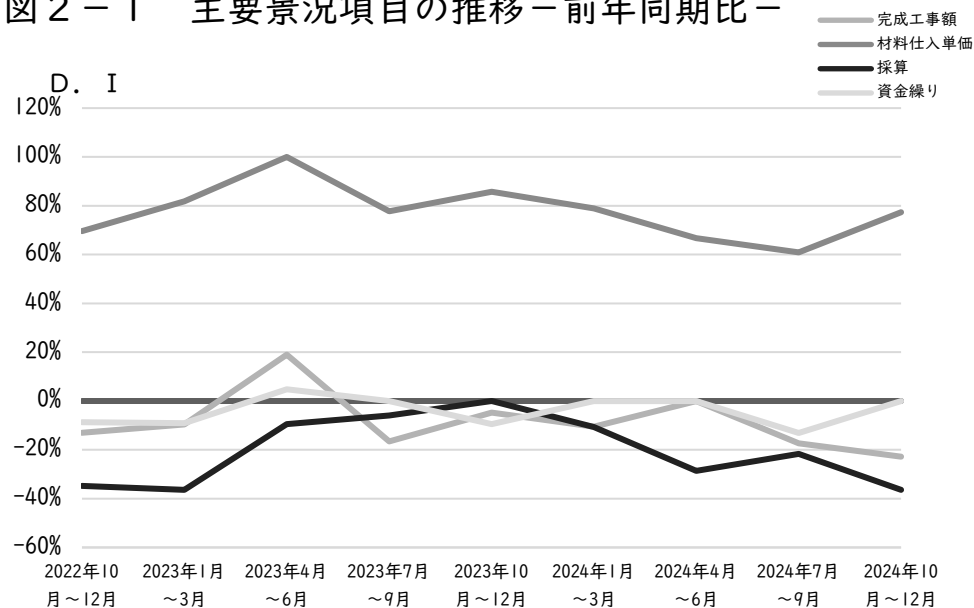
○主要景況項目から見た概要

- ・ 完成工事額DI値は、 $\Delta 17.4 \rightarrow \Delta 22.8$ と5.4ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 15.2 \rightarrow \Delta 12.6$ と2.6ポイント上昇)
- ・ 採算DI値は、 $\Delta 21.7 \rightarrow \Delta 36.4$ と14.7ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 23.7 \rightarrow \Delta 21.4$ と2.3ポイント上昇)
- ・ 資金繰りDI値は、 $\Delta 13.1 \rightarrow 0.0$ と13.1ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 10.2 \rightarrow \Delta 9.2$ と1.0ポイント上昇)

今期は、完成工事高と採算DIでマイナス幅が拡大し、資金繰りDIでマイナスが改善した。

来期は、完成工事高DIでマイナス幅が拡大し、採算DIでマイナス幅が縮小し、資金繰りDIでマイナスに悪化が見込まれる。

図 2 - 1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	$\Delta 45.4$	$\Delta 17.4$	$\Delta 5.0$	$\Delta 13.0$	$\Delta 9.6$
原材料仕入単価	73.9	87.0	77.3	69.6	81.8
採算	$\Delta 47.8$	$\Delta 43.5$	$\Delta 27.3$	$\Delta 34.8$	$\Delta 36.4$
資金繰り	$\Delta 8.7$	$\Delta 8.7$	0.0	$\Delta 8.7$	$\Delta 9.1$

図 2 - 2 完成工事額推移（月別指数）

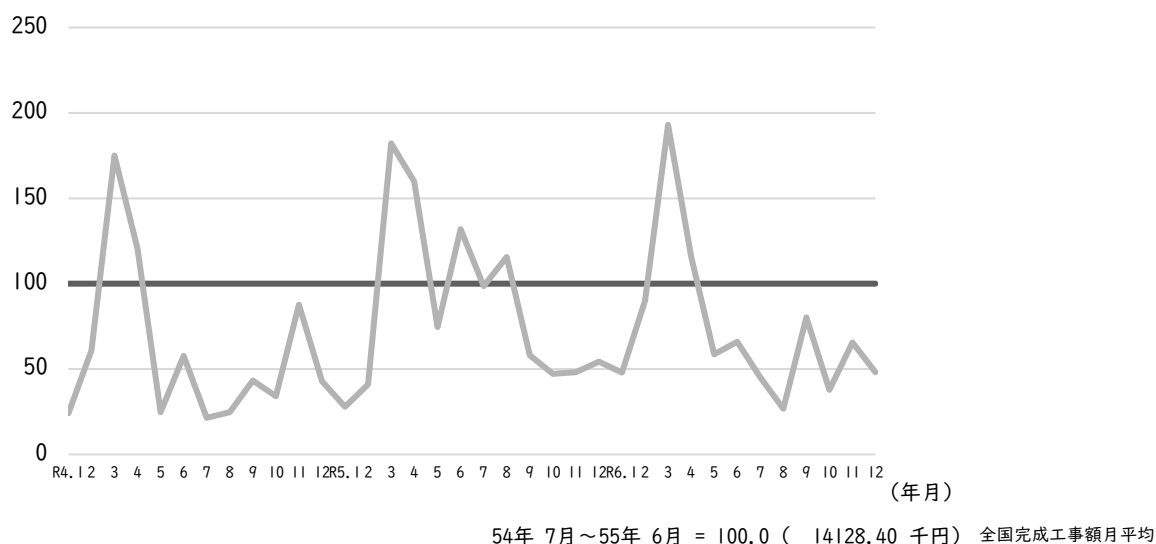


図 2 - 3 完成工事額の状況－前年同期比－

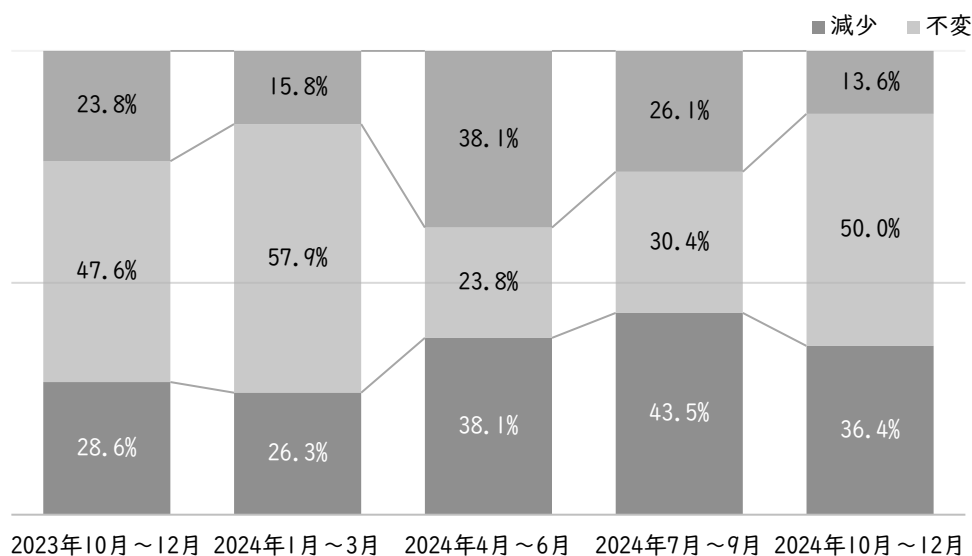


図 2 - 4 採算の状況－前年同期比－

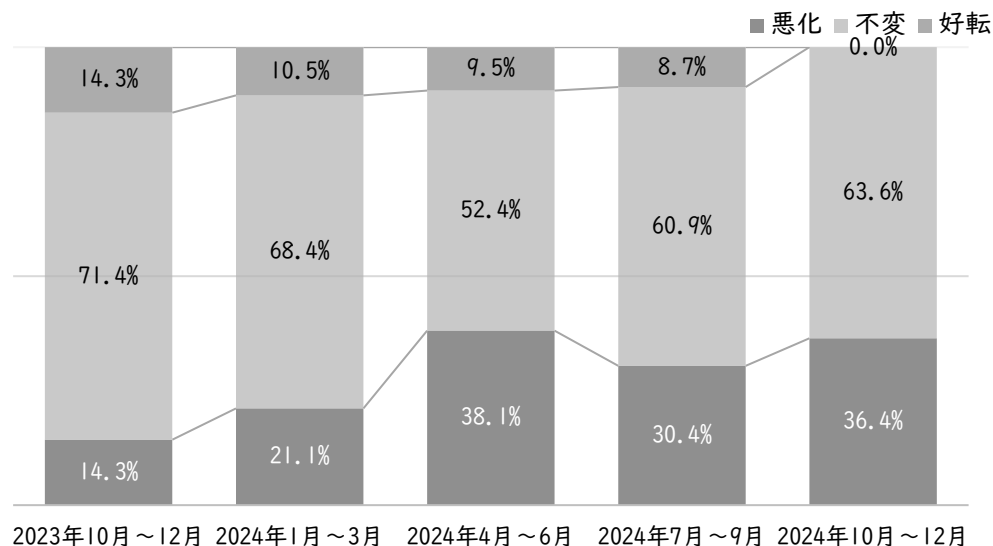


図 2－5 設備投資の状況

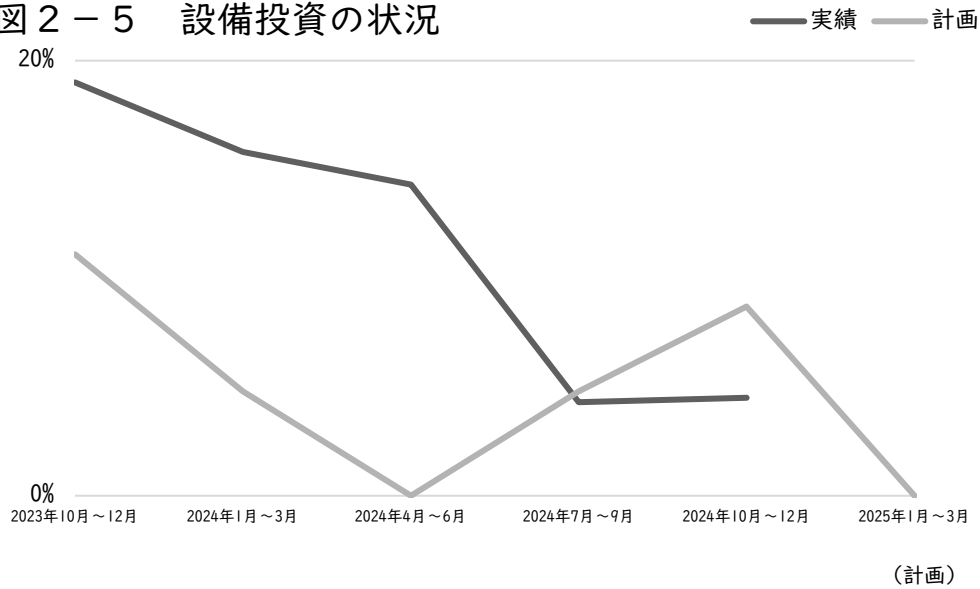


図 2－6 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

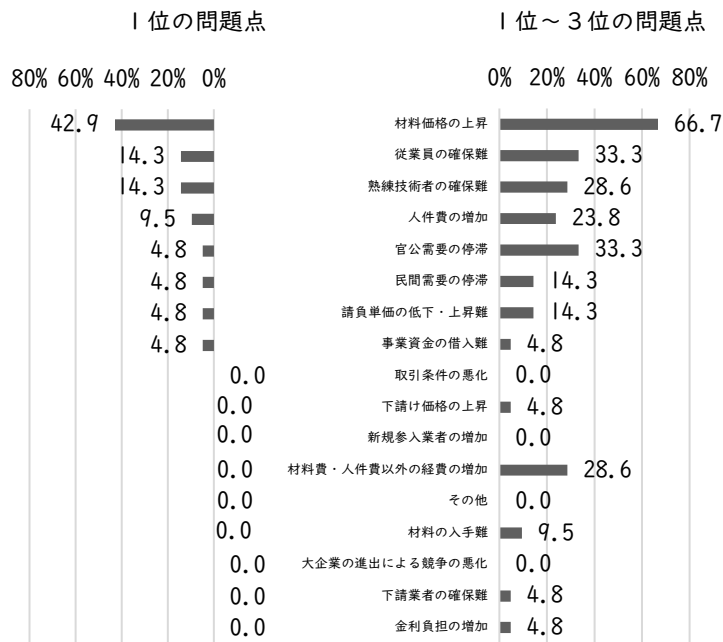


図 2－7 経営上の問題点の推移

（1位の問題点・上位5つ）

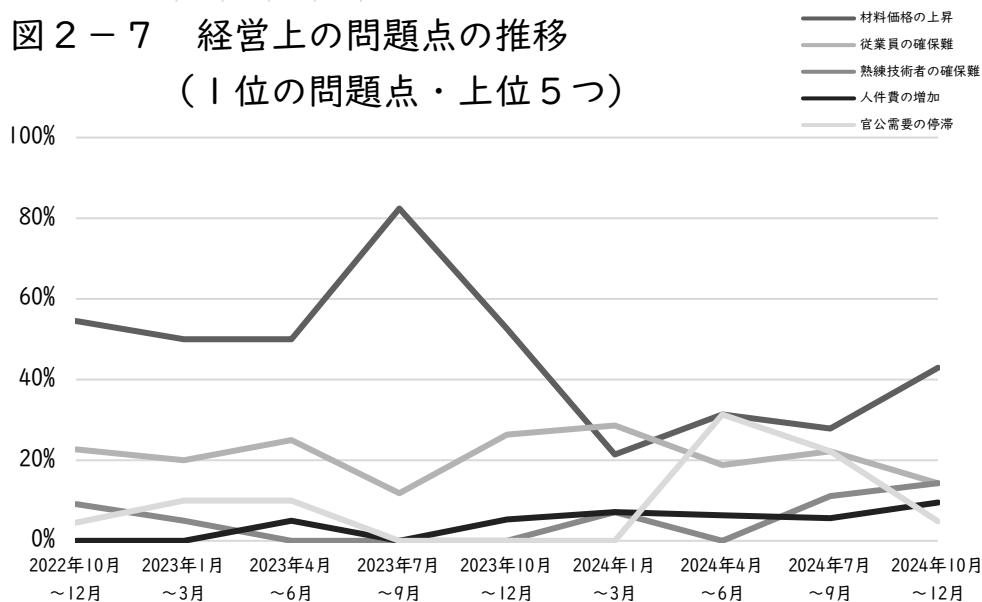


図 2－8 完成工事額の状況－前年同期比－

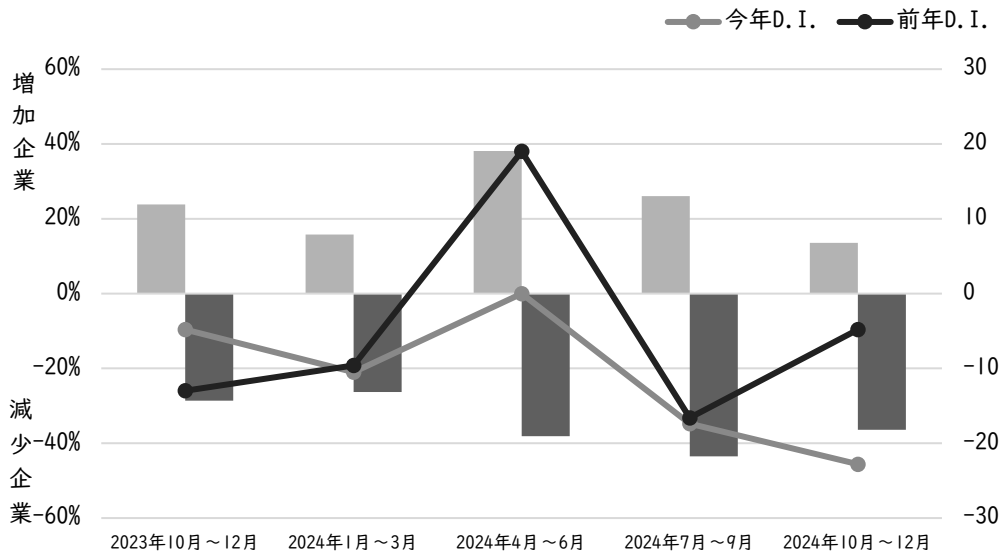
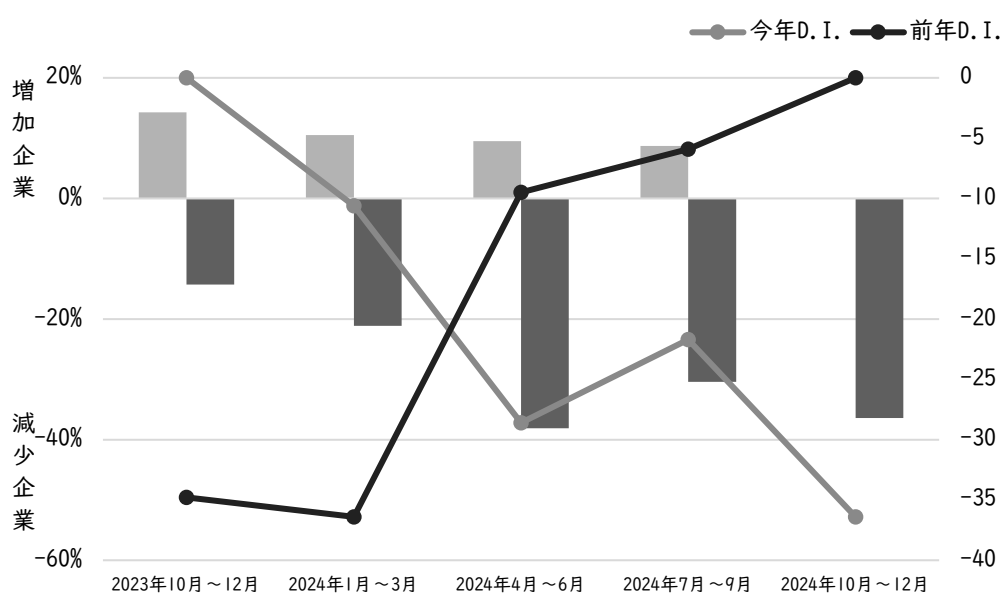


図 2－9 採算の状況－前年同期比－



小売業の動向

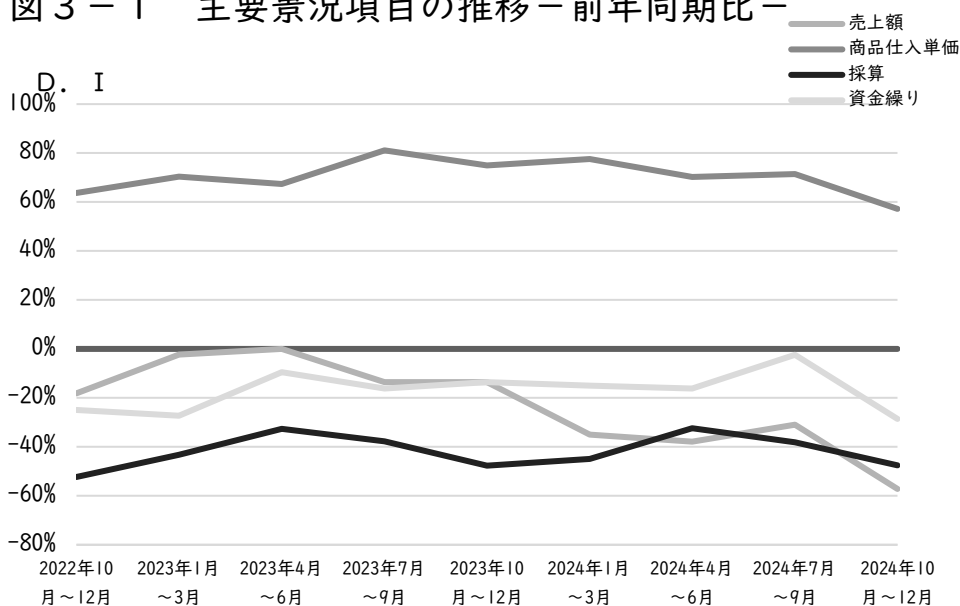
○主要景況項目から見た概要

- ・売上高DI値は、 $\Delta 31.0 \rightarrow \Delta 57.2$ と26.2ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 21.5 \rightarrow \Delta 26.2$ と4.7ポイント下降)
- ・採算DI値は、 $\Delta 38.1 \rightarrow \Delta 47.6$ と9.5ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 30.3 \rightarrow \Delta 33.7$ と3.4ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 2.4 \rightarrow \Delta 28.6$ と26.2ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 19.0 \rightarrow \Delta 22.6$ と3.6ポイント下降)

今期は、売上高DI・採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

来期は、売上高DI・採算DI・資金繰りDIでマイナス幅に縮小が見込まれる。

図3－1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	$\Delta 20.9$	0.0	$\Delta 18.6$	$\Delta 18.2$	$\Delta 2.3$
原材料仕入単価	48.9	68.2	62.8	63.7	70.4
採算	$\Delta 32.6$	$\Delta 34.1$	$\Delta 42.9$	$\Delta 52.3$	$\Delta 43.2$
資金繰り	$\Delta 25.6$	$\Delta 13.7$	$\Delta 23.3$	$\Delta 25.0$	$\Delta 27.3$

図 3－2 売上額推移（月別指数）

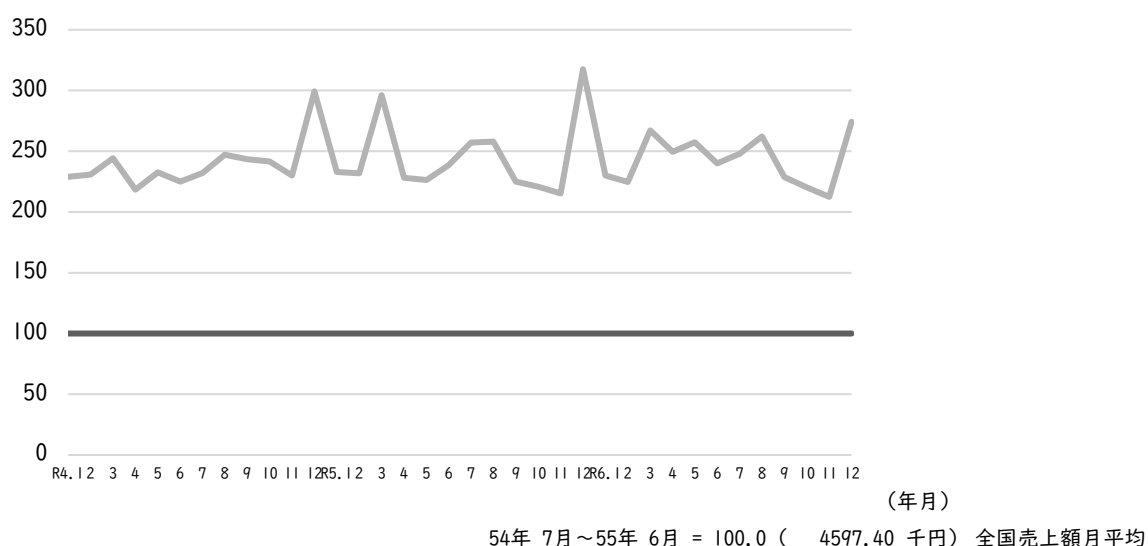


図 3－3 売上額の状況－前年同期比－

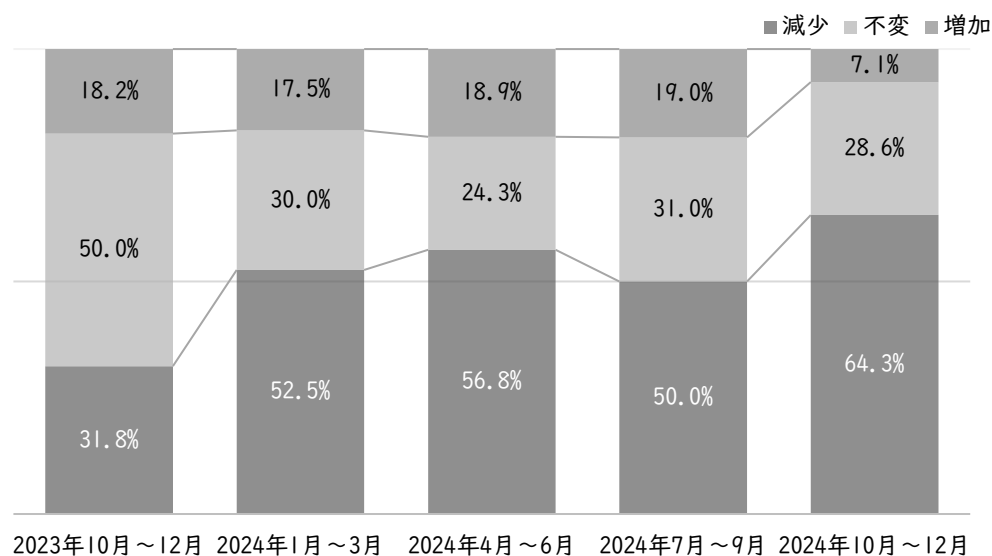


図 3－4 採算の状況－前年同期比－

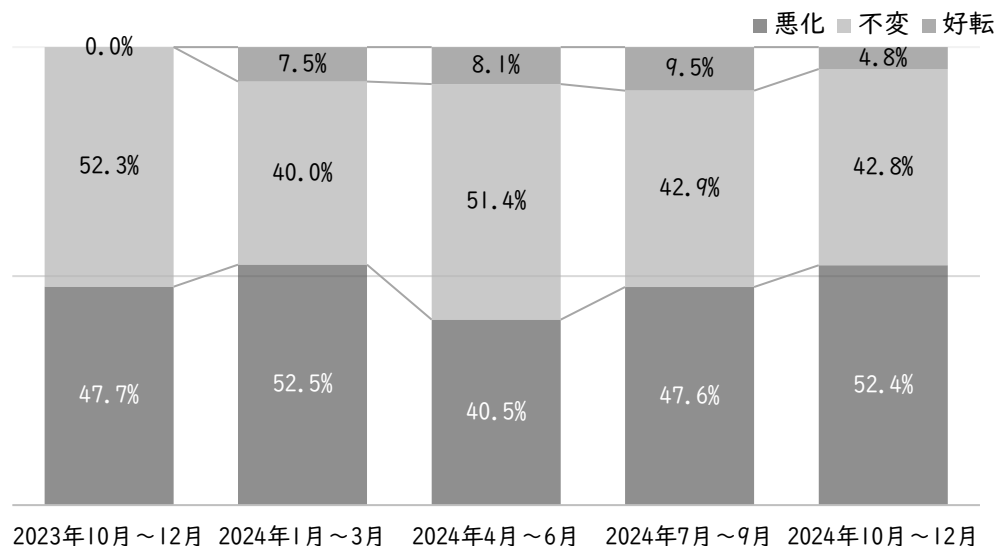


図3－5 設備投資の状況

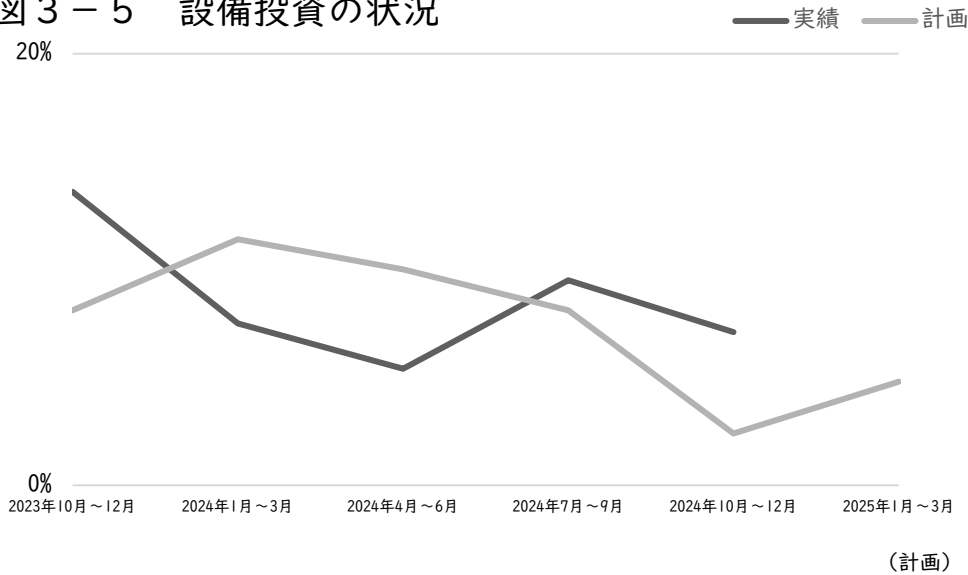


図3－6 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

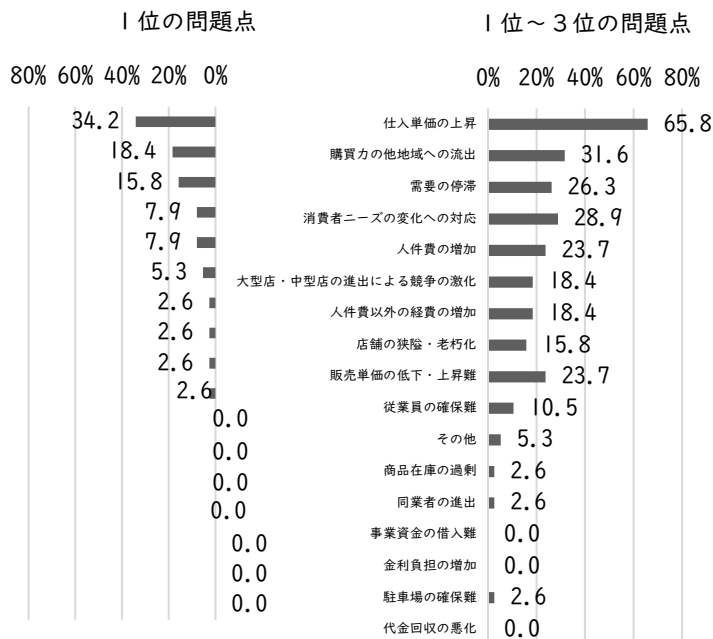


図3－7 経営上の問題点の推移
（1位の問題点・上位5つ）

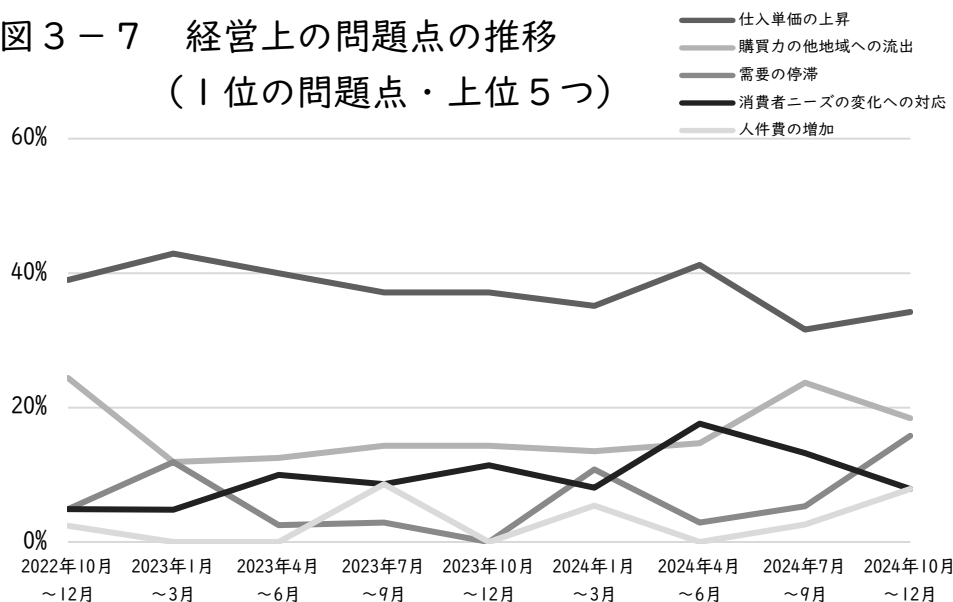


図3－8 売上額の状況－前年同期比－

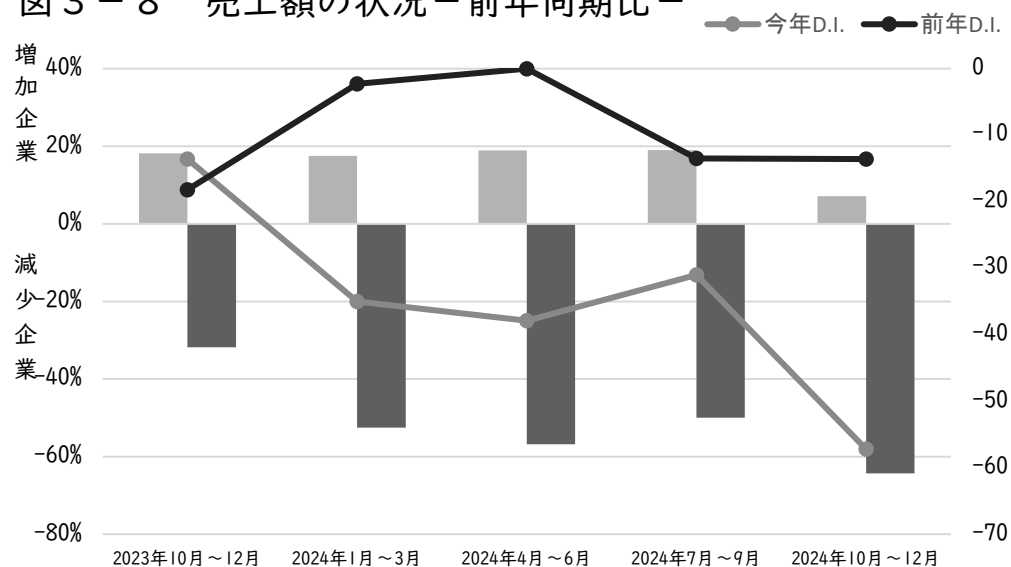
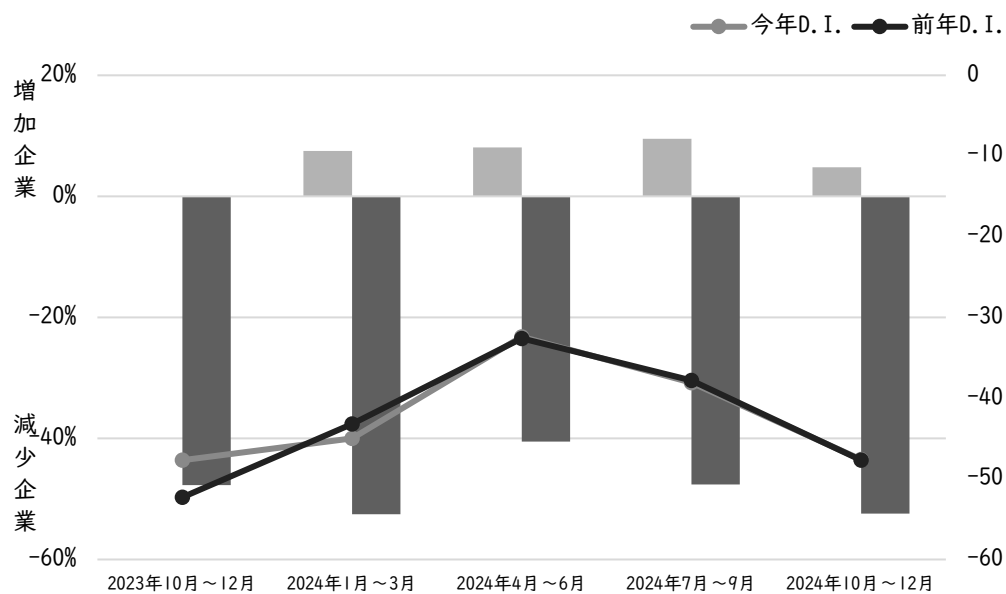


図3－9 採算の状況－前年同期比－



サービス業の動向

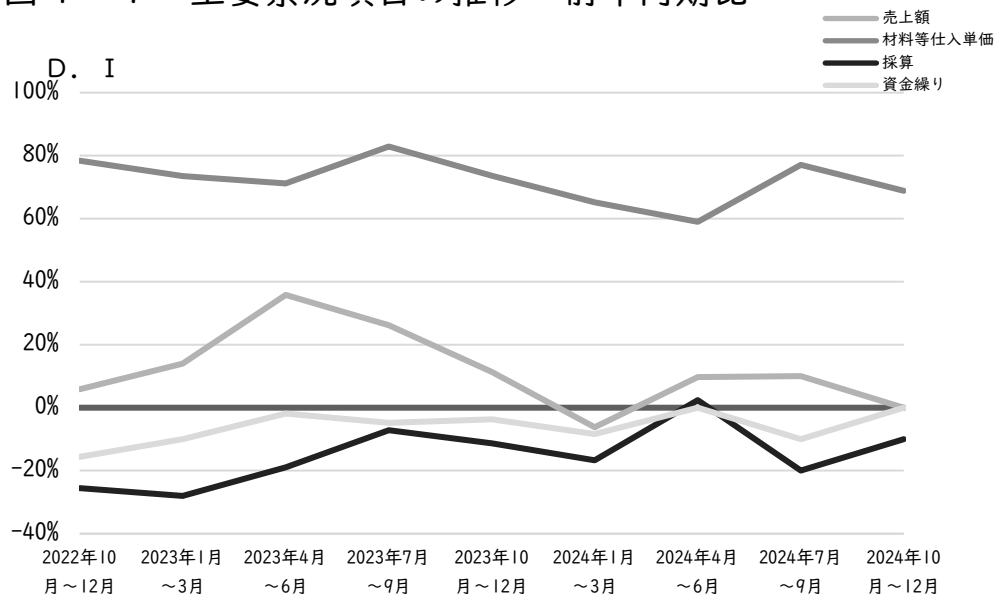
○主要景況項目から見た概要

- ・売上高DI値は、10.0→.0と10.0ポイント下降
(同全国値は、△1.0→△6.1と5.1ポイント下降)
- ・採算DI値は、△20.0→△10.0と10.0ポイント上昇
(同全国値は、△22.1→△25.5と3.4ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、△10.0→.0と10.0ポイント上昇
(同全国値は、△11.3→△12.7と1.4ポイント下降)

今期は、売上高DIでプラスが悪化し、採算DIでマイナス幅が縮小し、資金繰りDIでマイナスが改善した。

来期は、売上高DIがマイナスに悪化、採算DIでマイナス幅が拡大、資金繰りDIでマイナスに悪化が見込まれる。

図４－Ⅰ 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上高	△ 43.1	1.9	0.0	5.9	14.0
原材料仕入単価	38.8	64.0	75.6	78.4	73.5
採算	△ 46.0	△ 27.4	△ 30.0	△ 25.5	△ 28.0
資金繰り	△ 24.0	△ 5.8	△ 12.3	△ 15.6	△ 10.0

図 4 - 2 売上額推移（月別指数）

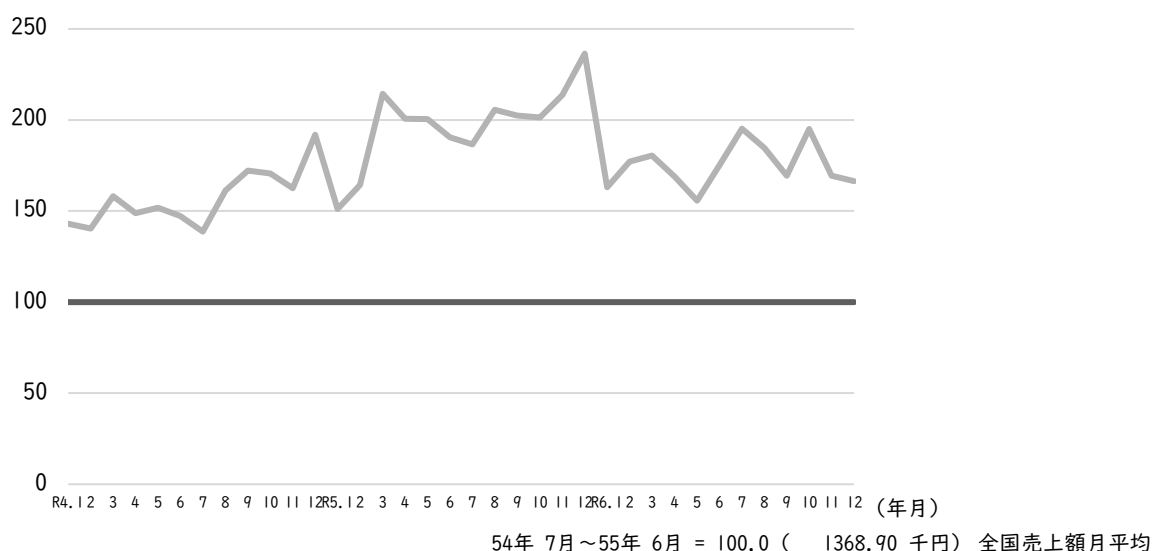


図 4 - 3 売上額の状況－前年同期比－

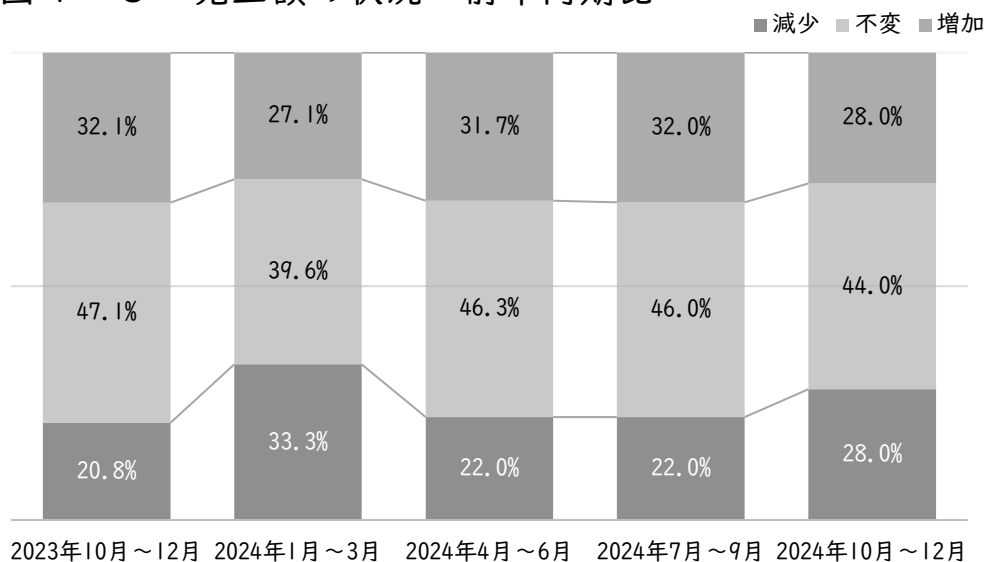


図 4 - 4 採算の状況－前年同期比－

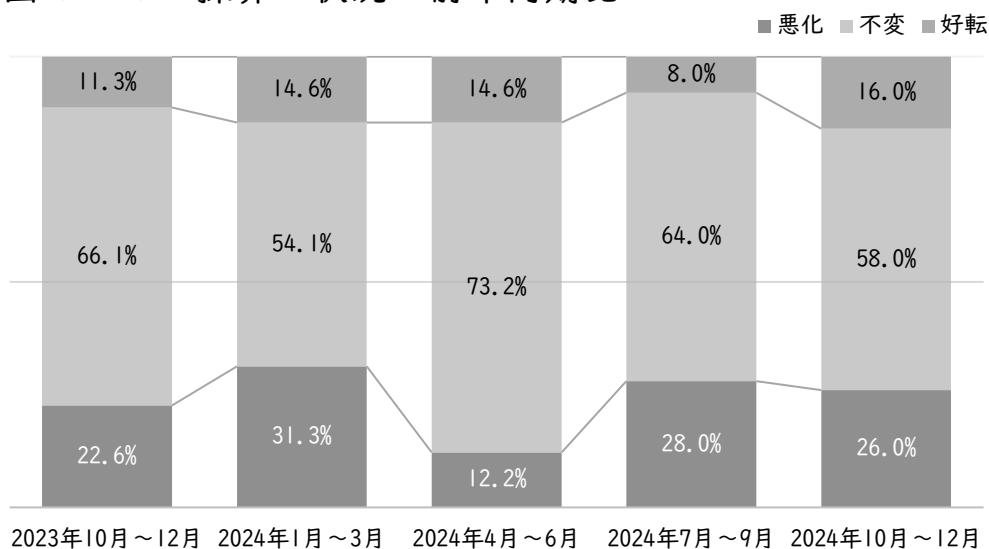


図 4－5 設備投資の状況

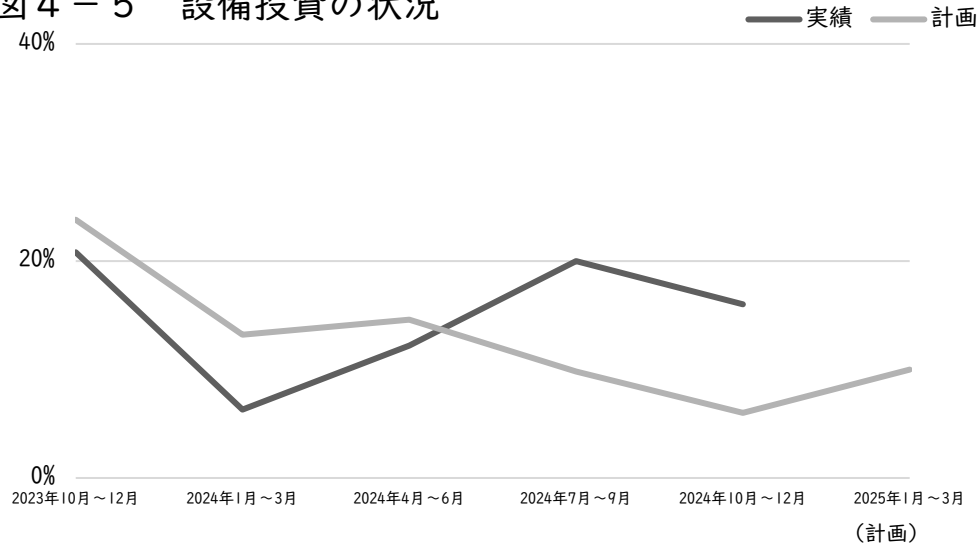


図 4－6 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

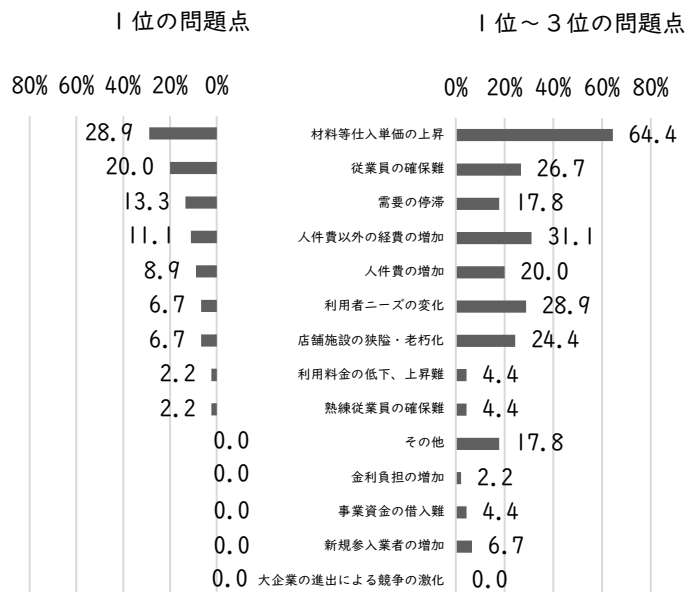


図 4－7 経営上の問題点の推移
（1位の問題点・上位5つ）

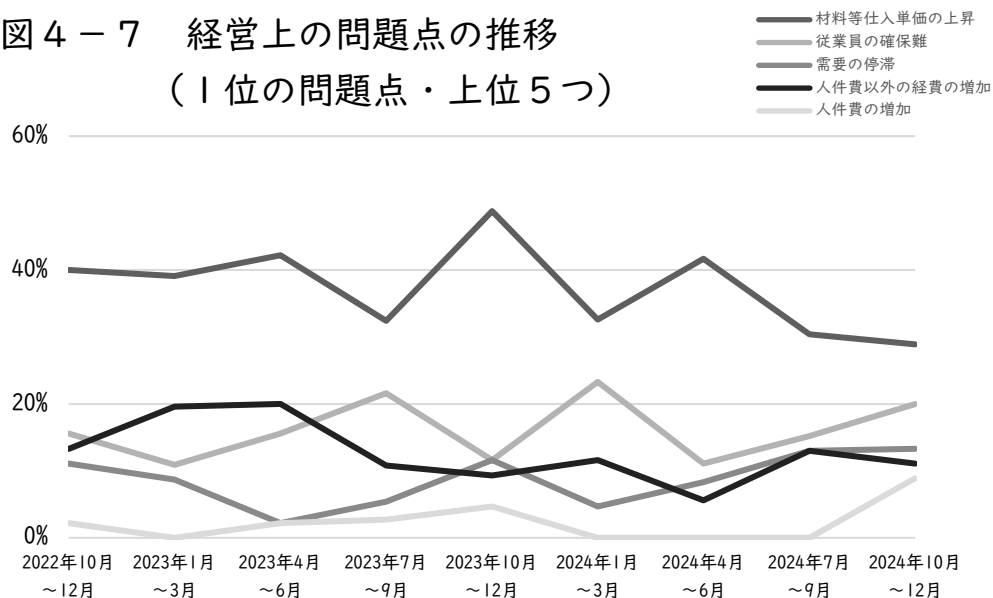


図 4 - 8 売上額の状況－前年同期比－

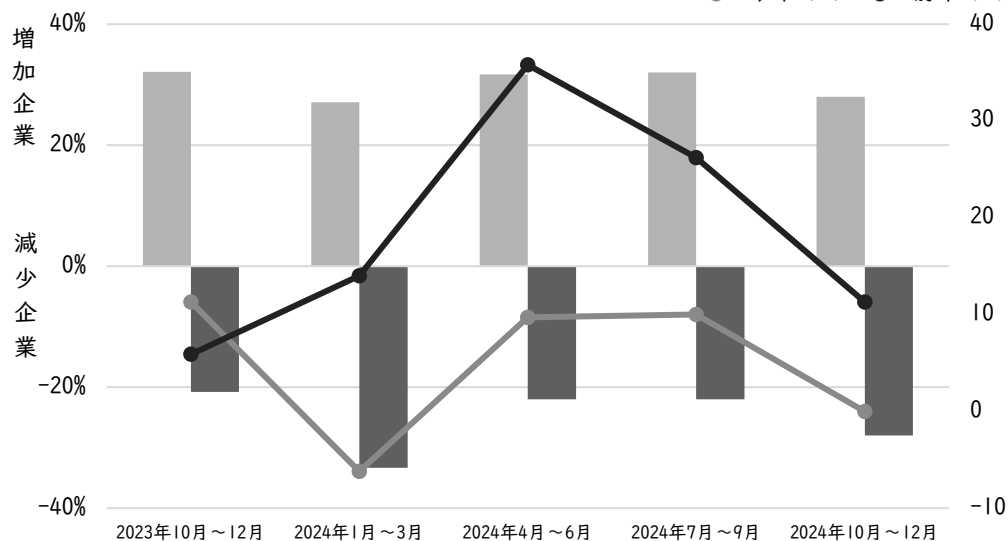
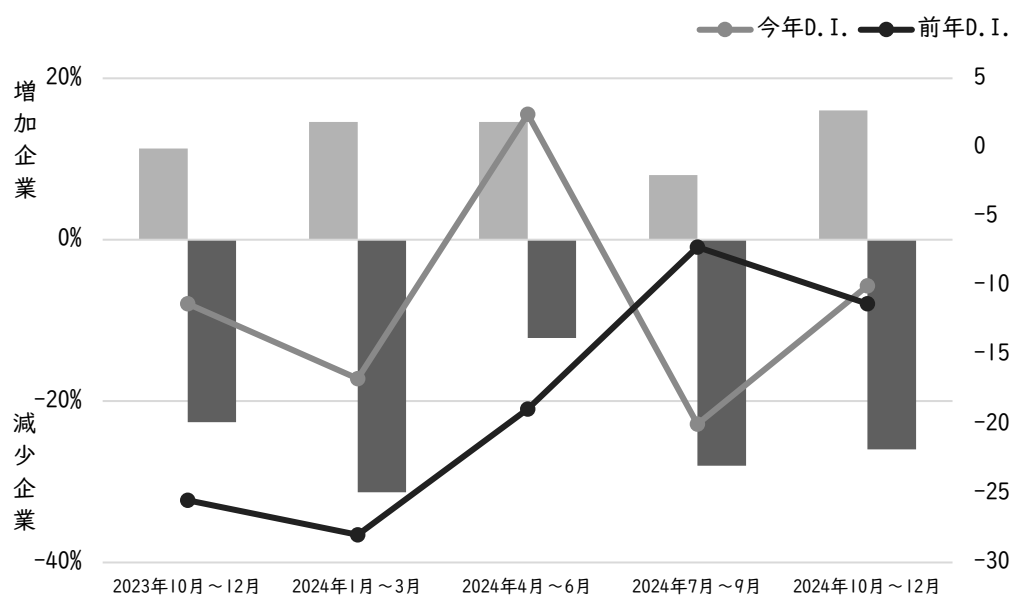
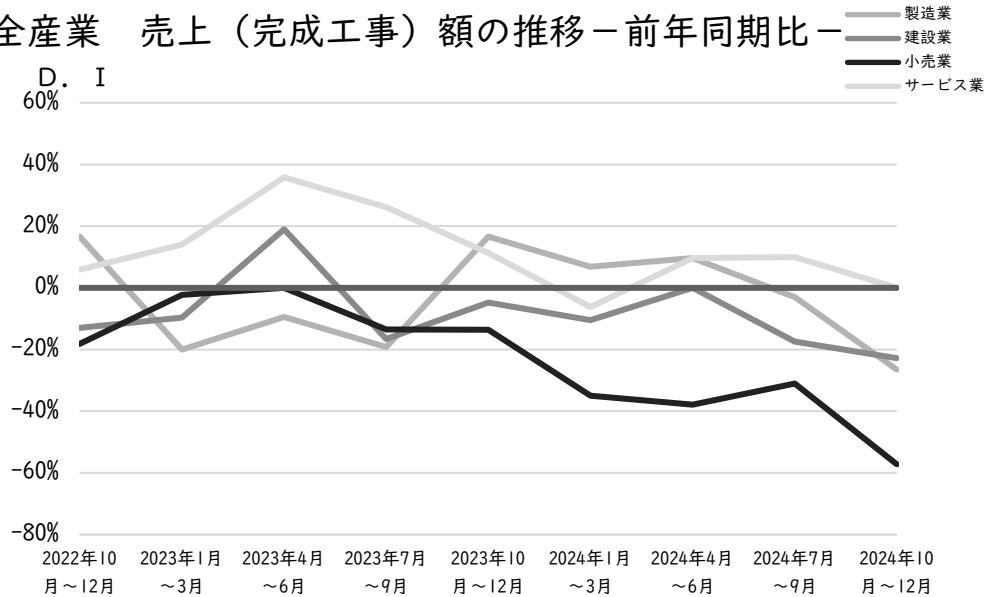


図 4 - 9 採算の状況－前年同期比－

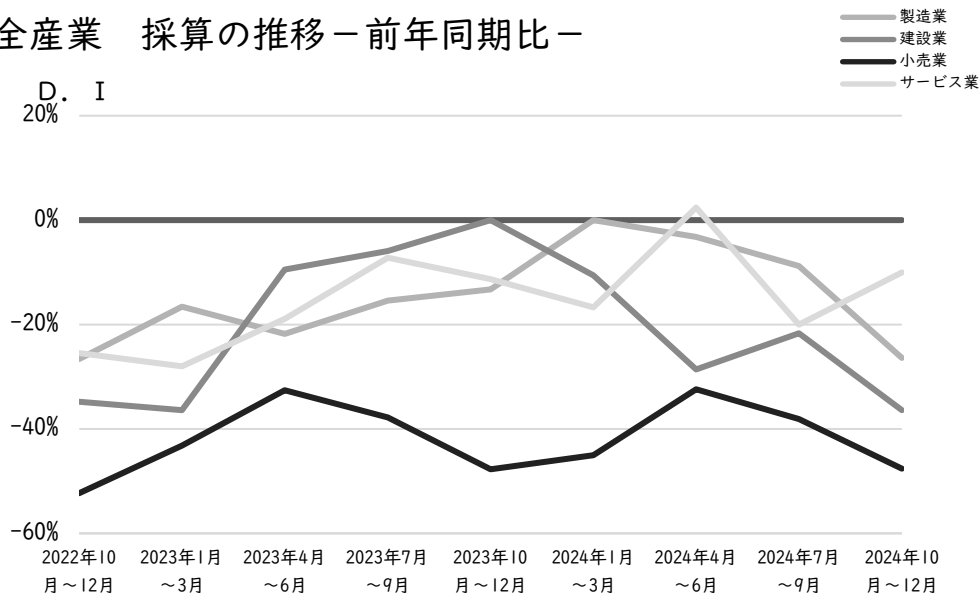


全産業の動向

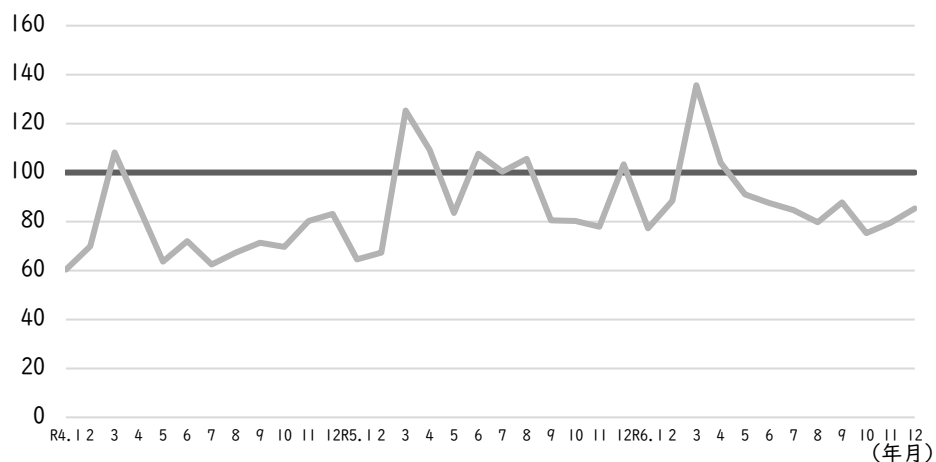
全産業 売上（完成工事）額の推移－前年同期比－



全産業 採算の推移－前年同期比－



全産業 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (8213.00 千円) 全国全産業売上額月平均